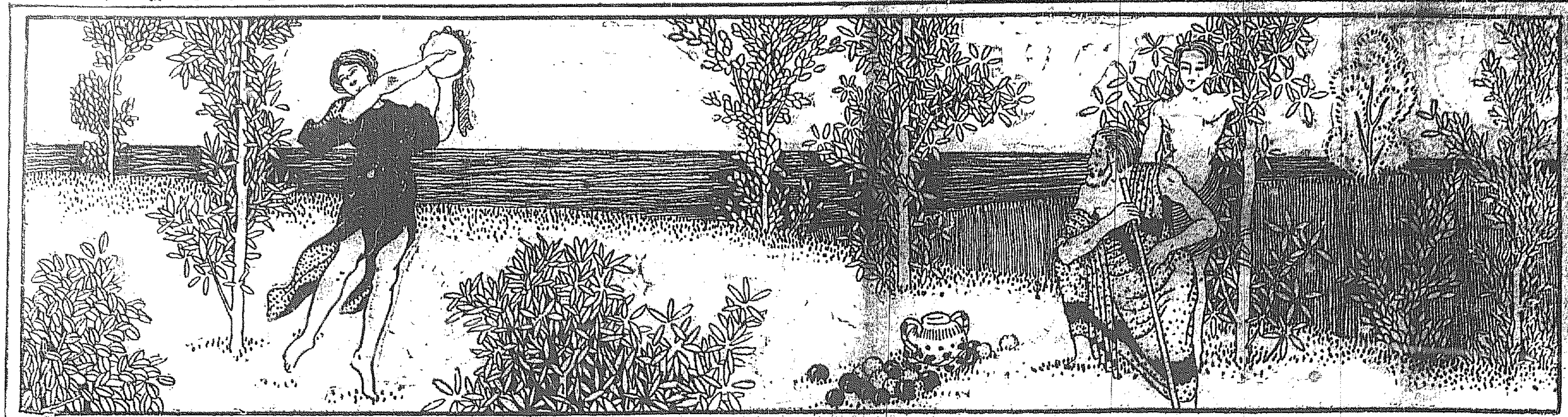
京城日報



年頭辭

悠久なる天地の運行を寸斷して歲月を劃し新年舊年を別つは兒戲の觀なきに非ざれど、地球の地軸が二十三度半の傾斜を有し橢圓形の軌道を描きて太陽を周り三百六十五日を以て一周する事實の存する限り、四季の變節は創世以來必然の循環にして、即ち謂ゆる一陽來復も亦自然の結果なり。いづこに一線を劃して新舊を分つべきかは固より人類の所爲なれども、[illegible]を改むると必ずしも不可ならず。

試みに大鵬の背に跨り九天の表に出でゝ遙に下界を俯瞰すれば、蠢爾たる動物が地面を限りて國を稱し自他互に相爭ふの狀、假笑に堪へざるものあり。殊に皮膚の黑白黃赤が同類間の和親を妨げ、有色無色相敵視する強烈なる野獸性に富むを見れば、此動物の進化は尚甚だ低級なるを知るなり。彼等が口に唱ふる『四海同胞』『永久平和』等の語調は耳に快適の感を與ふれども、兩耳を掩ひて其爲す所を諦視すれば其實際の諧和なるとは全く反對にして、到底高尚なる動物とは信じ難し。北斗星外に瞰望して坐すといふ[illegible]の如く、彼等は一年一回試みに人界を離れて同類の生活狀態を反省するの要あり。僅に一年一回の反省と雖も低級なる動物をして進化せしむる强大なる刺戟となるべし。

數年前此動物は地球の表に一大修羅場を現出して數百萬の同類を殺戮したり。此殺戮は四五年間繼續したるが遂に疲れ[illegible]みて彼等は再び『世界平和』といふ美しき音樂を奏し始めたり。然れども彼等は精巧なる殺戮器械を製造して之を貯へ、機會だに到來せば何時にても直に相殺戮するの準備を整へ居るなり。

彼等は近頃尚甚だ不徹底なれども、殺戮器械の製造近來その極度に達するを憂へ、今後は互に節り多くを製造せざるべしとの相談を始めたり。低級なる動物に取りては此位の事も非常なる進化なりと謂ふべし。然れども今少しく徹底的に同類生活の實際を點檢せざれば、到底萬物の靈長などといふ高級の動物には進化し得ざるべし。

人類の生存競爭は歲と共に激甚を加へ、三百六十五日衣食の爲めに煩はされざること殆ど稀なり。年頭和氣靄々の佳節に當り人類が其同類生活の實際を點檢するの慣習を作らば、恐らくは人類平和の上に急速の進步を將來せん。

年頭の感

朝鮮總督 男爵 齋藤實

朝鮮に於て第三次の新年を迎ふるにあたり、徐ろに過去を按じ、遠く將來を想へば、感慨轉た禁じ得ざるものがある。

最近に 皇太子殿下には萬里の波濤を凌いで御外遊の途に就かせられ、親しく歐洲諸國の文物を御觀察の上、芽出たく御歸朝遊ばされたのであるが、歐洲大戰の餘波猶未だ歇らず、各國其の傷痍を癒さうとして焦慮苦心しつゝある狀勢をみそなはして、將來の御治政の上に御參考と爲させたまひしこと幾何であつたらうかと拜察し奉り、七千萬同胞と共に慶賀の情を捧げた次第であつた。而して 聖上陛下には久しく御不例に渉らせられ容易に御快癒に趣かせられぬことは、誠に恐懼に堪へざることであるが、併し 攝政に宜らせらるゝ皇太子殿下を攝政に戴き奉ることゝ相成つたのは、實に國家の幸慶である。一般國民は克く 攝政殿下の御旨を奉戴し、國運の進展に努むると共に 陛下御健康御回復の一日も速かならんことを祈念し奉るべきである。

自分の就任後一視同仁の[illegible]に浴せしめんとしたまふ聖旨を奉體して、其の實現を期せんことを冀ひ、日夜汲々施設の文化的政策を行はんことに努めたのであるが、當時に於ては齟齬混亂せる世界的思潮の波に襲せらるゝあり、又統治に對する自分等の眞意の未だ一般民衆に徹底せざる所あり、殊に滿洲其他に在る不逞の徒の煽動迫害に依り、民心も自ら安定を缺くを免れなかつたので、一般の福利を增進すべき施設が動もすれば阻害せらるゝ有樣であつたのであるが、昨年に至りては一步々々進展する文化的施設の實效と共に[illegible]に安定[illegible]、[illegible]を惹起せんとした者が、海外には無いでもなかつた樣であるけれども一般民衆が之に乘ぜられなかつたので、[illegible]漸次穩健[illegible]の傾向に[illegible]

世界の大勢

茲に光輝ある大正十一年を迎へ、國民と共に其の慶喜を分たんがため一言所感を述ぶることゝする。

歐洲大戰亂の後を承け、物質的精神的の各方面に大動亂を生じたる時代も、今や漸く平靜に歸せむとし、茲に眞正なる平和の曙光を仰がんとするの大正十一年の新春を迎へ得ることは[illegible]に堪へない次第である。

昨年十一月より開かれたる華府會議に於て[illegible]日英米佛四國[illegible]の成立を見るに[illegible]

と理想との上に、秩序と[illegible]との基礎の上に、眞の平和と自由とを建設する覺悟を要するのであらうと思ふ。

更に朝鮮に對しては益々內鮮融和、同胞相愛して、太平を[illegible]たい。自分は內地人と朝鮮人とか相[illegible]を讓ることが出來るやうに致し、同胞の愛と一家の親とを以てし、以て聖明に奉答し併せて人類文化の進展に貢獻せんことを希ふて已まないのである。

歷史上の新紀元

熟々世界の大勢を觀るに、歐洲大戰は東西の民心を震撼し、人類の生活を脅威し、其陰慘狀態、社會の思潮沸たること數年に亘り、一般文化の進展或は著しく阻止せらるゝの虞なきかを憂へしめたるが、星霜の遷移と共に、漸次平靜に歸しつゝあるのは[illegible]に堪へない次第である。這回の大戰は實に曠古の出來事であつたと共に、人類をして戰爭の慘禍を痛切に感ぜしめ、將來戰爭を避け恒久平和の理想を實現せしめたいといふ願望が、各國民の間に盛んとなり、殊に巴里の講和會議に於ても國際聯盟より參加せる多數の政治家が之が對策について[illegible]たのであるが、未だ各國の滿足すべき適案を得ることが出來なかつたところ、客冬華盛頓會議が開かれて、軍備制限、太平洋問題等が世界列強の間に圓滿なる協議を遂げられ、加ふるに日、米、英、佛の四國協約も成立し自今步調を一にして世界平和の基礎を鞏固ならしめ、人類の福祉を增進することに協力するに至つた。斯の如きは實に世界の歷史に新に一紀元を劃したるもので、平和の曙光が今正に地平線上に登りつゝあるの觀があるのである。

國策順調に進捗

翻つて國內の狀況を顧みるに、世界思想の混亂に伴ふて思想界の趨勢未だ定まらず、端無く幾多の不祥事を見たのは實に遺憾に堪へないことで、殊に原首相の兇變の如きは、如何に不健全なる思想が社會の一隅に潛み居るかの消息を傳ふるものである。世の識者は宜しく適切なる對策を立てゝ之が善導に努むべきである。斯の如き不祥事があつたにも拘らず、早速內閣の首班が決定せられ、我が對外對內政策が何等の動搖を見ることなく、順調に進行されつゝあるのは喜ぶべきことである。尤も朝鮮の統治に至りては國內政情の變化如何に依つて影響を蒙るべきではないのであるが、たゞ現首相は前首相と同じく最も能く朝鮮を理解して居られるのは、朝鮮統治上好都合であると謂つて宜い。

祝福すべき現象

朝鮮の情勢に付て一言せんに、[illegible]

齋藤總督試筆

水野政務總監試筆

希望に輝く平和の歲を迎へて

朝鮮總督府政務總監 水野錬太郎

[illegible]戰が多大であり、如何に人類幸福の基礎を破壞したかは、當時の歐洲大戰亂の實例に徵して明かである。故に能ふべくんば戰爭を絕對に防止し永久平和の基礎を築き、人類幸福の增進に力むべきは、單に宗教家の理想に止まらず、政治家としても之が實現を企圖せざるべからざることは勿論である。併し之は言ふことが易くして行ふことが難しいのは歷史の證明する所であつて、是迄平和確保のため數回開催された平和會議が、其目的を達することが能はずして、遂に過般の歐洲大戰亂を惹起せるは人[illegible]

東洋は從來世界列強の角逐場と爲り動もすれば世界爭亂の發生地たる觀のあつたことは何人も周く知る所である。我西隣の支那は內政紊亂して既に[illegible]を去り、又强大國として一時世界に飛揚した露西亞は、歐洲大戰亂の結果國情混亂し、其存立すら危まれんとしてゐる狀態である。此際東洋諸國と接壤の我帝國も亦自ら其餘波を蒙るに至つたことは爭ふべからざる事實である。然るに極東問題が太平洋問題と相並んで今次の華府會議に際し、朝鮮問題に於て適當なる協定を爲し、圓滿に解決せらるゝことは、東洋無上の幸福である。由來我帝國は世界列強の中心に立ち、或は好戰國なりと目せられ、或は東洋の獨逸なりと稱せられてゐた。是全く各國が我國を理解せざるに因るもので、露に我國が其運命を賭して起てる日淸日露兩役の如きも、我國が自衞上已むを得ざるに出でたものであつて、我國は決して侵略的野望を爲したものではない。單に防禦を講じたまでゝある。當時優勢なる強國が我國を脅威したことは多言を要せざる所、又彼の强大なる露國が南[illegible]

眞の平和と自由

思へば大正十一年は平和と希望とに輝ける目出度い年である。吾等は一太白を擧げて之を祝福すべきであるが、然し自分は全國民が新なる使命と理想とに覺醒する所あらんことを希ふのである。蓋し世界平和の曙光の認めらるゝに至つたのは喜ぶべきことではあるが、[illegible]干戈の戰爭が終つて文化の戰爭が始まることの烽火である。戰略や武器の戰爭が止んで商略と商品の戰爭が始まる時である。科學文化の猛烈なる戰爭の始まる時である。吾等は之に對する準備に於て萬遺策無きを期すべきである。

平和と自由とは放縱と奢侈と不節を許容し勝である。平和を希ひ自由に憧るゝ一面には恐ろしき人心の弛緩と道德の廢敗とが隱れて居ることを知らねばならぬ。奢侈と放縱とに蝕せられた國にして衰亡しないものはないのであるから。吾等は[illegible]

至つた。歐洲大戰亂前は勿論、大戰亂後も列國は繼續的に軍備の擴張を競ひ、殆ど其の底止する所を知らざる狀態で、甲國にして戰艦一隻を增さんか、乙國は更に二隻を加へ、[illegible]といふやうに、相互に軍備擴張に汲々たるものあり、各國民は年々歲々增加する軍事費の負擔に苦しむの情勢であつた。軍備は固より國防上已むを得ざる所なるが、同時に人類の幸福を增進する上に於て障礙となることは、各國民の齊しく認むる所であつた。[illegible]の意味に於て、華府會議の軍備制限の問題の解決は、實に人類の幸福の爲に[illegible]ざるを得ない。予は衷心より其成功を歡迎して已まないのである。

[illegible]の周く知る所である。幸ひに歐洲大戰後[illegible]各國とも其の慘禍の大なるを自覺し、[illegible]茲に平和的基礎の確立を見るに至つたのは、各國民の共に歡迎する所たることは疑を挾むの餘地がないのである。而して軍備縮小の結果は、或は國民負擔の輕減となり、或は一般文化の施設に使用せらるゝことは、各國民の利福增進の爲に[illegible]史に一紀元を劃すべき有意義の年なりと謂はざるを得ない。而して日英米佛等諸強國が相互に誠意を披けて、人類の幸福を理想として協調的に努力するに至らば、世界の平和は確かに招致し得らるゝことを期するのである。是に於て始めて各國民が全力を文化的施設に傾け得らるゝのである。

東洋の現狀

翻つて東洋の現狀を按ずるに、[illegible]下して東洋を[illegible]せんとするに當り若し我國の之が防禦に努むることなかつせば、我國の地位を維持し得られざりしは勿論、東洋の平和は常に攪亂せられ、東洋諸國は之が運命の如何に[illegible]所である。一度思ひを此に致せば、我國が東洋及世界の平和に貢獻した功や頗る大であるにも拘らず、不幸にして此の事實が各國の認むる所とならず、却て誤解を招くの因を爲したので、[illegible]第二の獨逸なりとの[illegible]が、華府會議に於て我全權委員の[illegible]殊に我國も軍備制限に付いては大體に於て英米兩國の主張と合致し、而して極東問題に關しても我國は率先して英米と步調を一にせる事は、[illegible]所である。斯くの如くにして軍備は制限せられ極東問題も亦漸次解決せられ、太平洋問題も[illegible]茲に世界平和の實現を見、人類の幸福が確立されたのである[illegible]

朝鮮の狀勢

更に眼を轉じて朝鮮の狀勢を觀るに、日韓併合によりて朝鮮人の福利を增進せしこと莫大なるは[illegible]知る所である。民衆の生命財產は保障せられ、產業は開發せられ、教育は振興せられ、之を舊時の苛政誅求何等與ふる所なくして、單に人民を搾取することのみを旨とする政治の下に在りたる時代に比すれば、實に雲泥も啻ならざる差異がある。見よ鐵道、道路、港灣等の交通機關は漸次整備に向ひ、林業、漁業、鑛業、工業等は益々發達し來り、教育は進み、言論信仰の自由は認められ、地方自治制度の基礎は築かれ、一切の施設に於て總て文明の恩澤を蒙りつゝある事實は、一部の人々の不平を鳴らさんが爲の攻擊や、誤見に因へられたる批難をもつて抹消することは出來ないのである。總督府施政當時僅々三億圓に過ぎざりしもの、今や十八億圓に上り、鐵道網は倍加して千三百哩餘に延長し、[illegible]の要素を具ふる道路が[illegible]今や一變して[illegible]、各重要地間の聯絡を保つに至り、一に天然の狀態に放置せし諸山林は漸次[illegible]れ、農耕地は益々擴大せられ、從前の山林は漸次資源を添へ來り、從前は不完全なる教育機關に滿足せし教育も、今や略整備せる機關を有するに至つたのである。虛心坦懷之を觀察し、公平なる批評を下さば、既往十一年間の朝鮮統治は新附同胞の福利を增進せること決して寡少でないと謂ひ得るのである。

今後の施設

併しながら、吾々當局者は徒らに之を自負し、之に滿足するものでない。今後倍々各方面の施設を試み、永遠の長計を策しつゝあるのである。此の意味に於て過般教育調查委員會を設け、朝鮮に於ける教育の大方針を決定し、又產業調查委員會を設けて朝鮮に於ける產業方針を確立せしめたのである。吾々は此等大方針の下に著々之が施設の步を進めんと努めつゝあるのである。從前は此等の計畫實行上十分なる資源を得る能はずして、自然施設の遲々たる譏を免れなかつたが、幸ひに今次の華府會議の結果、軍備縮小に伴ふ剩餘財源の要部を朝鮮に於ける文化的施設の途に充當することを得ば、朝鮮統治上少からざる效績を擧げ得ることゝ思惟するのである。此點より觀るも、華府會議の成果は、文化的施設上多大の影響を與ふるものと謂ひ得られるのである。從來朝鮮人中の一部不逞分子が、無謀なる排擊を敢てし、共同胞の福利を阻害した如きは、實に思はざるの甚だしきものである。が、彼等も今次の華府會議の實況に依り、各強國の平和的協調に想ひ到らば、今後前非を悔いて自覺し、我統治の恩澤に浴せんことを[illegible]に至るであらう。斯くすることが固より當然の道理にして、朝鮮人全體の福利增進上最も必要であると思惟せられるのである。

國民の責任

此趣旨に依り、內地人も朝鮮人も共に帝國の東洋に於ける使命の偉大なるに鑑み、一致協戮我が國礎をして益々鞏固ならしめんことに努められたいと切に望むのである。

上述の如く、大正十一年は實に希望に滿てる年であつて、東洋の平和延いては世界の平和に一大曙光を認むる年である。余は此の意義ある本年の新春を迎へ、非常に欣快を感ずると同時に、其の責任の一層重大なるを自覺し、官民協議して我が帝國の偉大なる使命を完うすることに力を致さんことを冀ふものである。

新年懸賞文藝 漢詩

新年雜吟

第一等 (賞金三圓) 咸南洪原 韓 翀 錫

時節推移報新年。到此人情倍悵然。三元淑節交換日。萬物發姸春始天。桃符驅鬼時無敵。柏酒傾觴酒有權。健筆今朝翻感古。太平歌舞伶相傳。

評曰。寫想典重且見筆力非老手段不能如此矣

第二等 (賞金二圓) 京城 江口 冷洞

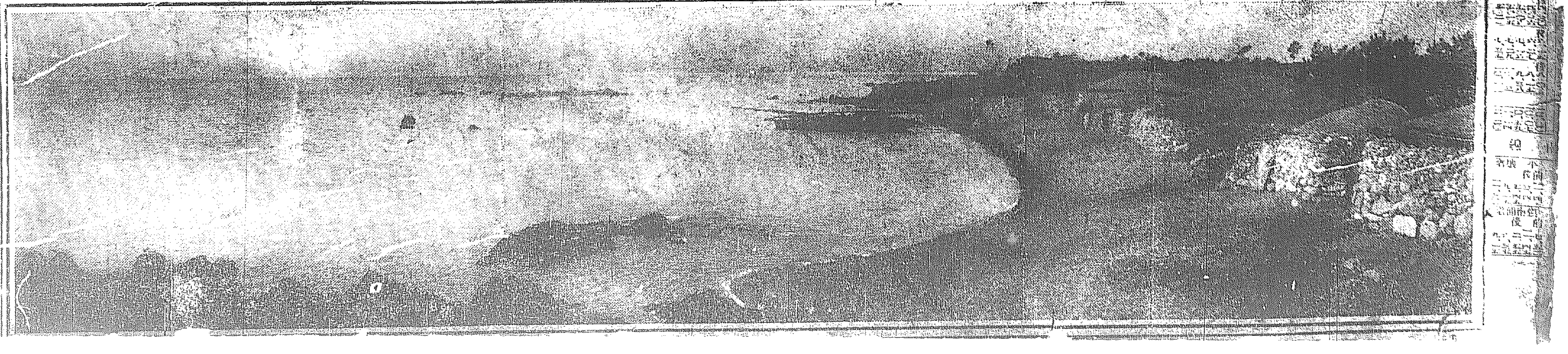
[illegible]

第三等 (賞金一圓) 京城 江守 桂子 / 京城 大塚 醉山

[illegible]

右漢詩の選者は京城漢詩界に於ける權威者にして其の名以に[illegible]たるものあるも唯本人の希望に依り其の姓名を發表するを得ず甚だ遺憾とする所なるも其の批評の嚴正にして選評の精細なるは言ふ迄もなく敢て茲に附記して大方の諒解を仰ぐ

發行兼編輯人 泥谷良次郎
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話長六千九番・長六千九番二 振替京城三〇〇番



最近の攝政宮殿下

海軍協定の運命今や危し

潜水艦制限問題破裂の結果英國は補助艦艇無制限建造を聲明し斯くて全體の海軍協定の運命今や危まるに至れり

【華盛頓二十八日上田特約員發至急報】

四國條約批准されん

【倫敦特電】四國協約に就ては米國上院は修正案を破棄する様なことをせず結局に之を批准することは殆ど疑ひを容れない又山東問題交渉が停頓したに就てヒューズバルフォーア兩氏は今日迄未だ其調停を依囑されて居ないが兩氏の調停も其効なく協約成立が失敗に歸した上でなければ危機を叫ぶのは早計である會議終了前に日本が山東還附を決行しまい等と眞面目に信じてゐる者は華盛頓には一人も居ないと某消息通は語つてゐる山東問題の背後には亞細亞本土に關する九國條約なるものが伏在して現に九ヶ國代表は右條約案を作製中である又日本が華府會議の成果を鍵據に纏めんとする一協約の成立を妨害するだらうといふ懸念を立證する様な事件は今迄の處一つもない

齊多政府實權消滅

【浦鹽電報】チタ國民議會の閉會は莫斯科の指圖にしてチタ政權はチタに來れる勞農政府代理官の手にあり且其內意に依りニキフォロフ内閣は瓦解し極東共和國の獨立は緩衝國たる意義全然なきに至れりニキフォロフの殆ど純民主聯立內閣組織說行れ居るに各派は共產黨を除き政府を組織し浦鹽政府と妥協し政情安定を圖らんとの意思ありと傳へらるゝも結局は露國の指揮を受くる共產黨の態度如何にある若し共產黨にして何處迄も讓歩せざらんか極東の內亂は到底終熄せざるべし

攝政宮御就任 第一の新年

特命全權大使男爵 伊集院彦吉

一陽來復、瑞氣靄々、大正十一年を迎へ人として誰も祝福しないものはない。とは卽ち我が攝政宮の第一年である。我が日本帝國が一時攝政宮を迎へ奉ることに遭遇したのであるが、一面に於て、聖上陛下の御不例にわたらせらるゝことは悲しむべきことで、一日も速かに御快癒遊ばさるゝことを、吾々國民として衷心より祈り奉るところである。

然れどもまた一面に於ては、攝政宮に於かせられては、天資英邁にして頗る聰明なる英材に渉らせらるゝを以て、吾々は衷心より此御風格を仰ぎ奉る次第で、之れ以上求むることはできないのである。瑞祥なる今年は卽ち攝政の初年である。

この初年は、恰も攝政宮が天日の昇るが如く光輝八紘を照らし、御健康が彌々勝れさせ給ふと共に、この多幸なる初年のすべてが洋々たるものであることを吾々は疑はないのである。

而して平和は、凡そ人類として何處迄も求むるものである。同時に、平和の過去の歷史に顧みるときは、其所に容易ならざることを自覺するものである。彼の幾多の人命と巨億の資金とを犧牲としたる歐洲大戰の如きも、平和を求むるが爲に外ならぬのであつた。大正八年六月二十八日平和條約締結に當つて、世界各國代表は悉くベルサイユに蝟集し、その調印するところ永遠の平和確立をもとめたのであつた。併しながら、その際に於ては、世界を包括しての平和、並に大戰が極めて擴大して、悲慘、破壞を極めた後のことであるが故に當時、講和會議に際して世界各方面の政治家等が、充分にその期待に副ふ丈けのことは容易に得られなかつたのである。卽ち世界各方面に於て完全なる安定が得られなかつたのである。

併し、此れは已むを得ざる當然の成行で、之れ以上期待するは無理であつて、其後、平和を追うて之を求むることが判つて來て、所謂ウイルソン氏の理想に基き主として國際聯盟が成立したのである。この聯盟は平和の鍵鑰であるから、世界の人民も亦同様に之を期待して永遠平和の基礎を確立したのであつた。然れども、つて益々世界の形勢を通觀すれば、未だ全世界の完全なる安定を得るの時期に到達しない。故に各國民は國際聯盟をして完全なる發育を遂げしめ、且結局に於て其恒久平和の目的を達成せしむべく、一層盡力しなければならなかつたのである。

然るに其後、國際聯盟の發頭者たる地位にある米國は、國內に於て種々なる政治上の事情から、聯盟に加入することが出來得なかつたことは更に一層國際聯盟の權威を減殺して了つたのである。これは世界の齊しく遺憾とするところであつたが、米國は其の聯盟の不備の部分を補ふ目的の爲に、華盛頓會議なるものを開催するに至つたものと觀測せられるのである。

現下、歐洲方面の事態を觀察すれば、最早大戰亂の後を受けて以來、これより以上の破壞的禍亂の發生する虞れある程の餘地はないのである。が併し、一轉して眼を太平洋及び極東方面に放てば、歐洲方面のそれの如く必ずしも同一事態でないことが觀察し得られる。卽ち太平洋及び極東方面に於ては、歐洲大戰の中心より遠く隔絕してゐた結果、從つて其の影響の及ぶ程度が少なかつた。それが爲に太平洋極東方面に於ては、多少各國の關係に於て[illegible]

[illegible]遂し、且太平洋極東問題に關して稍々なる騷意なき意見を交換しつゝあり、而も諸般の經過の然る場合であつて、而して極めて順調に運びつゝあるが故に、遠からずして目的の彼岸に達し得ることが充分に期待せられて居る。斯くしてこの間に於て完全なる諒解が出來得れば、從つて全世界の永遠平和の爲に、貢獻することが出來るのである。此れは各關係者の齊しく念に基く所の意志である。

吾々日本人として、一面に於て斯かる世界的重大なる主たる一員として、參加することを得たるは國民として大に喜ぶべきことである。華盛頓會議の結果は今や既に全世界に向つて、平和の一大光明を發揮し、こゝに我が攝政宮第一年を迎へ、愈々日本國民の責任の重大なるを感知するものである。

而して英明なる攝政宮を仰ぎ奉りて、上下一致、國力の發展に向つて努力奮闘し、以て太平洋及び極東の安定は勿論、全世界に對して恒久的平和の好影響を與へなければならぬ。大責任あることを互に自覺し、以て帝國の完全なる責任を盡すことを期せなければならぬ。

産業振興の要諦

唯だ人事を盡すに在るのみ

總督府殖産局長 西村保吉

始政以來朝鮮産業の發達の顯著なることは、大正八年の生産高が始政當時の三億四百萬圓に比して十七億七千七百萬圓に進み、同年の移出高も始政當時の六千萬圓に比して五億二千萬圓に進み、既往十年間に於て生産高は約六倍、移出高は約八倍かの多きに達したる一事のみによりても明瞭なことである。併しながら是等の進歩は畢竟草創の基を見るも極めて明瞭のことである。初期に屬するものであつて、其基礎は尚極めて薄弱であり、前途發展の要件に缺くる所も亦甚だ少くないのであつて、將來發展の餘地は非常に多いといふよりも寧ろ其の發展は賴がつて將來にあると言はなければならない。嚴格に言へば今日は僅かに朝鮮

産業開發の端緒

を開いたといふに過ぎない。試みに見よ朝鮮の土地は總計一萬四千三百十二方里餘であつて、內地の本州と略其面積を均しうし、海岸線は四千三百里であつて內地本州の沿岸よりも却て一層の長さを有するに拘らず、其水陸總生産額は僅に十七億餘圓に過ぎないではないか。十七億餘圓といへば相當の巨額には相違ないが、內地の愛知縣一縣丈けでも十億圓以上の生産があり、人口二百萬に過ぎざる北海道でも六億圓の生産があつて、朝鮮の總生産額は僅に愛知縣と北海道とを合せた丈けの生産しかないのである。朝鮮にありては農業は最も普遍的の產業であつて、人口の約八割以上が之に從事して居るのであるが、現在の農業生產額は一戸當たり僅に三百餘圓であつて、內地農民の一戸當に比べると漸く三分の一に過ぎない。而も內地の農民一戸當反別約六七反なるに比して朝鮮農業一戸當約一町八反卽ち平均約三倍の耕作地を有する事實に想到すれば、如何に其反當生産額の貧弱なるかを察するに餘りあるではないか。山林の生産に至つては尚一層甚だしい。內地の山林も今尚相當の荒廢地があり、造林法も未だ十分に發達して居るとは言はれないが、それでも最近一町歩平均生產額約十九圓に當つて居ると言ふことである。然るに朝鮮山林の生産額は最近一町歩當り約二圓內外であつて之を內地に比すれば同一面積の生產額は僅に

內地の十分の一

に過ぎない。統計の不完全や誤謬もあらうけれども、或は以て如何に朝鮮山林生産の貧弱なるかを想像し得て餘りあるではないか。其他各種の産業に於ても內地より稍々の異同はあるけれども、大體類推するに難くはあるまい。

然らば朝鮮の生産が今尚斯様に貧弱なのは一體どう云ふわけであるか。氣候とか土質とか云ふ天然の素質が元來宜しくないのであるか。換言すれば朝鮮は內地に比して天惠が乏しいのであるか。否々決してさうではない。試みに農業の方面を一瞥しても朝鮮の土地が決して內地よりも惡いとは思はれぬ。朝鮮の耕地には大體窒素分が乏しいといふけれども、是は概ね山野の荒廢や畜類利用の不十分等種々なる他動的原因から來るのであつて、土地その物に窒素分を吸收し若くは保存する能力がないからではない。のみならず一方からいへば風化作用の強い爲に、內地の如く故らに力を加へて耕地を深耕するの必要も少く、米作等に付ては一般に風雨の少き爲、內地に於ける米作の強敵たる二百十日の如き年々の災害も殆どない。林業の方面に於ても岩石風化の度の內地よりも約十倍以上にも達するが爲、如何なる禿山にも容易に地表に土壤が出來て人爲的に之を破壞さへしなければ、換言すれば

相當の保護撫育

さへしてゆけば、忽ち林相を成すといふやうな特別の天惠もあるのである。水産に於ても、鑛業に於ても、將又各種の工業方面に於ても、天然の要素に於ては極めて豐富なる資源を有するのである。斯くの如く天然資源の[illegible]

教育施設と改善

其の完璧を期して努力する

總督府學務局長 柴田善三郎

最近數年間朝鮮人の向學心の頓に勃興したるは欣喜に堪へず、當局としては此趨勢に順應し施設其宜しきを得しめん事は一日も念頭を去らざる處にして最近既に實行したる事項を擧ぐれば即ち

(一)學校費令の改正(二)公立普通學校及官立高等普通學校の增設(三)官立女子高等普通學校の收容力の增加(四)普通學校の修業年限延長並其の教科課程の改正(五)高等普通學校及女子高等普通學校の教課科程の改正(六)實業學校の修業年限改正(八)官立專門學校の設備及內容の改善(九)官立師範學校の設置(十)在外研究員の派遣(十一)中等教育委託生の派遣(十二)教員養成講習會の開設(十三)私立學校規則改正(十四)鮮人視學官(十五)鮮人公立普通學校長の任用(十六)鮮人視學及郡視學の任用(十七)公立普通學校國庫補助金の增額(十八)在外鮮人教育の施設の補助(十九)臨時教育調查委員會(二十)教科書調查委員會及諺文綴字法調查員の設置

等は其主要なるものなり本年の事業としては此上

(一)教育令の根本改正(二)官立大學豫科建設(三)官立高等商業學校の新設(四)官立工業專門學校の增設(五)官立高等普通學校の增設(六)官立師範學校の新設(七)官立高等普通學校師範科增設(八)公立普通學校三面一校計畫完成(九)教育功勞者表彰(十)社會教育的施設助成

等を計畫中なり

抑も現行朝鮮教育制度は併合當時の朝鮮文物に照らし適切實用を旨として制定せられ當時にありては極めて適切のものなりしが爾來十年間朝鮮の文化は歲と共に長足の進步を致せるに依り更に時勢に順應する新制度を樹立するの要ある次第にて、改正案は朝鮮に於ける內地人及朝鮮人の教育制度を內地の教育制度と同一ならしむる趣旨にして普通學校は修業年限六年を本則とし五年又は四年の學校をも認むる事とし、高等普通學校は修業年限[illegible]

指導奬勵に努力

するといふやうなことも無くなり、其上人心の變化も著しい今日に於て、鐵道治安の極度に努める事と共に、之一層産業の經營の指導に[illegible]

財政の過去と將來

飽迄內地の援助を求めたい

總督府財務局長 河內山樂三

朝鮮の財政を經理する事は政府當局の重要なる職分でありまして、朝鮮の爲には同情と援助を與ふべきでは無いのである。

補給金の支出

帝國政府は併合前既に朝鮮の財政に對して約二千萬圓の補助を爲せるのみならず、併合後に於ても到底朝鮮に於ける歲入のみを以てしては其經費に不充分である事を認め、明治四十四年度以降中央政府は一般會計より補給金は大正三年度迄一千二百三十五萬圓を支出し、文化促進の爲め經費を支出し來つて居る。其後政府は年々一百萬圓を遞減し、大正八年度に於て一千萬圓、同十年度に於て一千五百萬圓の補給を仰ぎ、機關的文化施設及治安維持の爲め諸般の施設に要する經費の幾分を支出して來つたのである。然るに此以外に於て中央政府は莫大なる軍事費を支出して半島の國防と治安とに任じて居るのである。

朝鮮の租稅

朝鮮の租稅は三千二百萬圓で、朝鮮の人口千七百萬と見て人別二圓足らずの負擔である。本年度の內地補給金は千五百萬圓で朝鮮の租稅の半額に相當する金額である。之を內地の人口五千萬人と見て內地在住者は朝鮮の爲に人別三十錢の負擔を爲してゐる事になるので、斯くの如く內地に於ては直接利害を受けぬ朝鮮の爲にかゝる負擔を負はなければならぬのであつて、之を朝鮮在住者の租稅負擔に比するならば決して輕からぬ負擔と見なければならぬ。大正十年度は以上の如くであるが十一年度に於ても補充金は十年度に比し百萬圓增加し千五百九十餘萬圓となり公債金三千萬圓も等しく內地の援助を受くる事となつてゐるのである。而して內地政界及實業界は近年非常に朝鮮を理解し、朝鮮の爲には同情と援助とを吝まぬ現狀である。故に我等は何處迄も內地の援助を求めて財政に充分の努力を爲し、今後に於ても出來得る限り內地の援助を要望すると共に、叙上の如き同情及び援助に對しては充分の感謝を拂ふ事を忘れてはならぬ。

一般事業資金

更に朝鮮各般の事業資金に充當した一億數百萬圓の事業公債は殆ど總てを內地市場に於て求めたもので朝鮮は當局官府殿中央政府に向つて二千萬圓の補給金を要求したが、一般歲計の關係上其全部を容れなかつた事は如何にも遺憾とする處であるが、又一面一般會計の現狀をも考慮し、補給金の全部が容れられなかつた事に對しては[illegible]

外國郵便規定改正

大正九年十一月三十日西班牙馬德里に於て締結されたる萬國郵便條約に基き大正十一年一月一日より外國郵便に關する從來の諸規定改正實施せらるゝ事となり通常郵便小包郵便及郵便爲替等の料金をも大部分引上げられるに依り右不案內の人々に於ては各自郵便局所に直接問合せの上改正規定に基き右料金の不足等を生ぜしめざる樣注意ありたしと

華府だより

華府にて特派員 土肥常温

近來華盛頓會議のお蔭で日本への電報はドエラク輻輳し何んでも四五日は掛るらしいが郵便と來てはイクラ焦つた所で船便を待たねば何うにも致し方のない代物だ倫敦今頃出す郵便は新年匆々にヤット間に合ふかと思ふが屠蘇の一杯機嫌の矢先き如何に世界平和の爲とは申せ一〇一〇一六と切出したから七に値上げして與れこの囃數と鑑識で翔出す數字が何分の幾つになるのと數學の試驗みたいな事も聊か興が無い。今度は華盛頓在住のお方には少々お氣の毒かも知れないが二三笑話も紹介に及びたい。先づ以て三全權では御座らぬ牧原次官所謂米國ではミスター「ハニ」で有名な新全權へての四全權から搬げしを申し上げれば世界ではブッキラ棒で無愛嬌の標本のやうに思はれて居る加藤全權が意外愛嬌があつて記者團の好評を博し來られたのは只に此の[illegible]

普成專門學校認可に就て

普成專門學校は明治三十八年故李容翊氏が設立を爲し海外留學生を講師として經濟法律學及經濟學を朝鮮人に教へ同校の卒業生を以て司法界の需用に應じたり故に同時代の法曹界には殆ど同校の出身のみなりしと云ふも過言にあらず然るに爾後時代の變遷又は同校々主李鍾浩氏(李容翊氏の孫)が朝鮮を去りたる等の事由に因り同校の維持に付一時困難を生じたる處今を去る十二年前卽ち明治四十二年に天道教が同校を引受け今日迄引續き維持し來れるが過般總督府の專門學校令の發布に因り來る大正十四年三月迄に財團法人の認可を受くるにあらされば專門學校としての存在を許されざることゝなりたり

同校長高元勳氏は之が爲めに日夜苦心を爲し慶尙南道晋州郡金琪邰氏其他篤志家と相謀り四十餘萬圓の基本金を作り總督府に財團法人認可申請を爲したる處遂に今日此度認可の指令を受くるに至りたり抑々普成專門學校に對する認可は實に朝鮮人職に對する篤實なると同時に朝鮮の如き同校の講師たるものに取つては一層欣喜の情に堪へざる次第なり

東西南北

▼本年度の酒は不良?、低氣壓の影響であつた爲め本年度は收穫米が多くて優良米が少いから優良米と酸敗米との價格が從來より大きくなるのは必然であるそれで酒造家は採算に捕はれて値の安い米を以て多くの仕込をするかも知れない、酒といふものは元來優良米で造らなければ出來が惡いんだが右のやうな有樣だから本年度は不良酒許り多くて良酒が缺乏するかも知れぬとは某支人の話

▼滿洲に於ける馬賊の被害、奉天總領事館の調査によると十年一月一日から十二月上旬に至る間の馬賊被害は日本人丈けでも滿鐵沿線四十五人、沿線外百六十六名計二百十一名に達して居る、此外熊龍江、吉林、間島方面に於ける被害中記錄に現はれて居ないものも澤山ある見込みで之等を合すると頗る多數に上るべく近日中滿鐵調べ報は再度の警告を發する筈

▼大阪の遺失金二百萬、十年一月から十一月末迄に大阪市の各警察署に屆け出でられた遺失金額は約二百萬圓、其內拾つたと屆出のあつたのは約四十萬圓である

▼支那の歲出入、支那の歲出入は大正の關の割に少い、民國成立以來今日迄に於ける歲入の最高は五億五千七百餘萬元、歲出の最高は六億四千二百二十餘萬元で日本の三分の一にしか當らないが是は文明の程度が低いのと各省の會計は或程度迄獨立して居る爲めである

▼大阪市の給料調、大阪市社會部では商事會社、機械、纖維染織、化學、飲食物其他の會社に働いて居る三千五百八十一人(內婦人二百七十)名について月給の調査を行つたが二十五歲以下は五十圓乃至六十圓、二十五歲から三十歲迄は六十圓乃至七十圓、三十歲から四十歲迄は百圓乃至百三十圓、四十歲以上は六十圓乃至七十圓のものが最も多數を占めて居た

高等小學卒十八、中等學校卒九百五十二名の給與

九星觀

大正十一年

一白水星 [illegible]

三碧木星 七、十六、廿五、卅四、四三、五二、六一、の人 ……今年此星の人は震宮に移り[illegible]

四綠木星 八、十七、廿六、卅五、四四、五三、六二の人 ……[illegible]

五黃土星 九、十八、廿七、卅六、四五、五四、六三の人 ……[illegible]

六白金星 十、十九、廿八、卅七、四六、五五、六四の人 ……[illegible]

八白土星 十二、廿一、三十、卅九、四八、五七の人 ……[illegible]

九紫火星 四、十三、廿二、卅一、四十、四九、五八の人 ……此星の人は今年は誰も鬼門に入つたのぢや。[illegible]

謹詠旭光照波

全北 朴 榮 喆

元朝旭日出扶桑。遍照無私洽萬方。乾德恢々普施物。波平卓瑞太平洋。

(本紙共十八頁)

謹賀新年 東京市麴町區內幸町一ノ五 長島弘

年賀缺禮 不得已儀禮廢止之向者 全南 亥角仲藏

病氣に付歲末年頭の禮を缺く 京城 李容汶

謹賀新年 東京市外原宿町一九六 日本電報通信社々長 光永星郎 電話芝西靈錢〇番

東京市牛込區辨天町七 早稻田大學教授 平沼淑郎 電話番町三ノ七壹四番

東京市牛込區市谷加賀町ニノ廿一 松平直平

東京市芝區白金臺町一ノ二五 朝鮮京南鐵道株式會社重役 立川芳 電話高輪二四五六二七番

東京市日本橋區濱町三ノ五 化粧品卸 パール化粧料本舖 中尾銑也 電話浪花百拾番

忠淸南道天安 朝鮮京南鐵道株式會社 取締役社長 長島弘 常務取締役 秋本茂 取締役理事 立川芳 取締役支配人 神田長平

東京市麴町區內幸町 朝鮮京南鐵道株式會社東京支店 主任 番場研

本店 東京市京橋區南鍋町四番地 電話銀座特長二九七〇番 支店 東京市芝區烏森町壹番地 電話新橋長二六〇番 吾妻屋旅館

東京市京橋區北槇町拾八番地 株式會社 漢城銀行支店 電話京橋四二三〇番

謹近火御見舞 京城府元町三丁目 和洋家具 秋山勝太郎

謹近火御見舞 京城府元町三丁目 眞木商店

謹近火御見舞 京城府龍山元町三丁目 時計 貴金屬 眼鏡 蒲原時計店

謹近火御見舞 京城支店龍山工場 株式會社 朝日精米所

謹近火御見舞 京城府元町三丁目 丸中吳服店 電話四四〇番

謹近火御見舞 龍山元町二丁目 袋物 化粧品 大阪屋 奥川金助

謹近火御見舞 龍山元町二丁目 銃砲自轉車 玉井工場 電話長九三八番

旅行中に付年末年始の禮を缺き申候 京城 志岐信太郎

實兄の服喪中に付年賀御挨拶缺禮仕候 平壤 福島莊平

賀正 石田旭花 生駒天雷 南卿公利

元旦より特別名畫 工社高級連續 エルモリンカーン力演 猛獸王 全十八編卅六卷 毎週四卷上場

問題の映畫 故ロツクリヤー中尉決死撮影 空中の飛行機 全七卷

高級喜劇 リーモーラン主演 ララルシル 五卷

洋劇專門 黃金館 兄弟興行部

は壬戌で、六白金星、大海の水星に相分の願望はどうでも遂げられるが、……決して損のない年であつたこ……吉年……がするのだ。マア大器晩成を期することもある。今年はいくら骨折つてただの豹尾だのといふ荒い神様が廻つ……

攝政宮殿下大陸に勤しむ人々へ深き思召

朝鮮滿洲の事情を御研究遊ばさる

川村拓殖局長官謹話

我攝政宮殿下が天資聰明に在はしまし其盛徳を稱ひ奉るべき幾多の事實は既に廣く內外に知られて國民が普く感激渇仰するところであるが殿下には近來政務御多端寸暇も在はしまさぬ御身を以て苟もあらゆる方面の御研究に勵まれると承はるだに恐懼の次第である今余が茲に新年の劈頭に當りて

滿洲其他大陸に在りて我が國民の發展並にその地方の開發の爲に努力せらるゝ諸君に告げたいのは、

殿下が余が支那視察を終りて殿下に拜謁を賜はつた後四五日を經て東宮職から再び御召しの御沙汰に接し旅行の經過に就て言上せよとの思召を拜した時のことである當日は青山御所の御殿で東宮大夫以下侍立の中に約一時間半に渉りて支那民族の特性我が國民が支那大陸の發展の爲めに盡める事業の大要特に滿洲、關東廳等のことを言上したのであるが殿下は終始御熱心に御聽取を賜はつたのは恐懼に堪えない次第であつた殿下には既に西歐文明の精粹を親しく御視察になり明敏なる御觀察御判斷を下され我が國民の前途に就して東洋の平和、東洋民族の繁榮に關して必ずや深い思召が有ること、拜察する新聞には或は殿下が御見學の趣旨を以て朝鮮滿洲に視察を進められるといふことを傳へ且つ期待するものもあるが、目下の重大にして御多忙なる御地位から左様なことが急にあらうとは拜察されないしかし、殿下の思召は必ずや、一歩海を渉りて、大陸にある國民の上に深いものがあるのであるから

在鮮千七百萬の民衆は勿論、遠く大陸に入りて開發の事に從ふ人々は此際層一層奮勵

して東洋の平和的發達のために努力せられんこと切望に堪えぬ。

陸軍大將の御正裝眩ゆく

李王けふ總督官邸へ御成

輝かしい昌德宮の新年

昌德宮では故李太王殿下の御喪期滿了後始めての輝かしい新年を迎へられた、五色の彩雲ほの〴〵と明け放れ初曙の黃金色に光れば秘苑の松の翠一しほ鮮かにお濠の丹鳥は嬉らかに『瑞鶴の歌』をうたつて王家の御繁榮を祝福する、御門の內は隈なく掃き淨められて、穩恬の風雨に鎖た殿堂の紅木の影礎石のほとりにもゆたかな春の氣分が漂ふ、この日午前九時李王職附任官以下の職員は仁政殿東行閣に參集、長官李完用に對して年頭の賀を述べ李長官は直ちに此の旨李王殿下へ言上し同時に東京の王世子邸へ電報を以て同樣の趣きを傳達する午前九時半李王殿下には紋緞子の朝鮮服の上から黃龍袍を召されて仁政殿に御成りあり、此處で奏任以上の高等官、御親戚、朝鮮貴族達の祝賀を受けさせられ、午後から陸軍大將の正裝にお召替へ、二時と云ふに昌德宮御出門時半の轅を通られて久し振に總督官邸に御成りあり、兩陛下並に攝政宮殿下へ賀詞言上方御依頼の上三十分の後御退出三時半御歸還の御豫定であるが殿下のお附には贊侍司長韓昌洙男御陪乘申し上げ李長官、上林次官、李禮式課長、今村庶務課長等がお供申し上げる事になつて居る、斯くて新年第一日を過ごされる譯であるが、まだ御喪を本位として居られる關係上此の外には殊更に御慶ひなど云ふ事は遊ばされぬやに承はる、尚李王職では三ケ日中は東行閣玄關に署名簿を備へ付けておいて一般參賀者の便宜を圖ると云ふ。

戌歳の李王

御日課は讀書と玉突 平和な御生活

李王職贊侍司長 韓昌洙男謹話

李王殿下は明治七年戌歳のお生れ、明けて四十九歳になられる、夙に我皇室の特別なる御待遇を受けさせられ松の翠に包まれた昌德宮の奥深く極めて平和な月日を送つて居られるのみならず、其の御繼嗣たる王世子殿下には梨本宮方子女王殿下と御結婚後間もなく王男子を擧げられるなど御一門の御繁榮之に過ぎたるものなく、萬代ゆるぎなき其の礎の上に梨花の御紋章彌々燦として光り輝くを拜するは目出たしとも目出たし、李王殿下の御日常について李王職掌侍司長韓昌洙男は斯う語つた。

お目醒めは

御朝十時頃であるがいよ〳〵御起床になるのは十一時である、それから正午十二時に御朝食午後四時に御晝食同十時に御晩食を攝られて十二時にお寢みになる、是が先づザッと定まつた一日のプログラムである、御食事は朝と晩は朝鮮料理晝は洋食であるが何れにせよ御膳に差上げる時には女官が一々お毒味をする、スッカリお毒味の濟んだところで始めて御膳に取りかゝり朝鮮料理ならば之を本膳、二の膳、三の膳に盛り分けて御前に差し上げる、こゝで又お附の女官がお毒味をするのだが是は萬一の危險を防ぐ爲めと云ふよりも寧ろ今日では

一種の儀禮

として行はれるのである、何しろ三の膳まであるので品數の多い事は驚くばかりでお漬物まで添へると三十種からあり御飯ばかりでも三通り付く、然し此三通りの御飯の內殿下が本當に召し食るのは『紫粉飯』と云ふのに限られあとは時によつて一箸か二箸位ツマ中の方をホンのちよつぴり召し食るだけだ、寒白殿は殿下のお目の前で炊く事になつて居る、御食事が濟むと御運動の爲め仁政殿東行閣の玉突場へ成らせられる、是は殆ど御日課と云つてもよい御技倆は

六十點位で

何時も女官や贊侍達がお相手申上げるのだが何しろ非常な御趣味を持つて居られるから御熱心で御技倆もメキ〳〵と上達して行くやうである、玉突の外は大抵御讀書で殊に『登錄』と云つて何王の時代には何々王はドンな事があつたとか或は何々王はドンな事をしたとか云つた風なものを好き集めた謂はば王家の記錄を好んで御讀になる、新聞は毎日申報を非常に御愛讀遊ばされるが非常に御熱心でソレこそ始めから終りまで一字も落さぬやうにお目をお通しになる、若し御自身御閱讀の出來ぬやうな場合は女官に讀ませてお聽き取りになる、此の位であるから大は世界の大勢から小は

市井の雜事

に至るまで何んでも御存じで下情にもよく通じて居られる、然も御記憶力の強大な事は驚くばかりでよくい一つ幾日の新聞にはドンな事が載つて居た、ドノ本の第何頁には斯んな事が書いてあるなどと側近者を恐縮せしめられるやうな事が少くない、是はひとり雜文の上ばかりではなく一度しか謁見を許された事のない者の顏までチャーンと御記憶になつて居るから驚く、御性格は溫厚で仁慈の心に富ませらるゝなど眞に王者の風がある、閔妃の斐綜室斯も近來大いに輕快に向ひ漸次健康を增されたのは李王家の爲最も慶賀に堪えぬ次第です。

李王殿下の御俤に似通はせ給ふ

李王孫晉殿下の御近影

片時もお手を放し給はぬ母君殿下のお慈み 麻布鳥井坂の李王世子邸のみ榮え

新年の芽出度い中にもとり分け麻布鳥井坂の李王世子邸に於ては世子殿下の御誕生を初めて御加除の新年の事とて邸內を擧げて喜ばれの內から新年の御準備に忙しく表門から大玄關等にも松竹、注連繩の御美々しく裝ひを凝らし給ひお元日には之に成らせられた晉殿下は新に水戸からお召しあげに成つた乳人細川氏の代子に抱かれ麗はれの御紋服にてお父君世子殿下母君妃殿下と共にお祝ひになる筈である、晉殿下は元日を以て御生後百三十五日に成るが世の常の幼兒には揭りて御發育良好で容姿二十日頃既に身長二尺餘り體重一貫八百目もあり昨今は父君殿下母君其の他近侍の人々の顏を見覺えられ時々お笑ひになり限りなくお愛くるしい母君殿下には片時も御手を放し給はぬほどの御いつくしみであるが近頃は稍々御世話の外に御結婚の御宮家にも御出まし遊ばさねばならぬ事も多く先月お乳人を雇入れられた李殿下の御誕生は宮內省御關係にて御生後始めて撮影遊ばされ兩殿下又顧父に當らせ給ふ故李太王殿下に御甲、日元など非常に良く御通はせられて居ります御寫眞は客多妻山御用邸に在す貞明皇后陛下京城の李王殿下にも御奉呈になりしと

年賀郵便百萬通

二十九日までの引受總數 到着の方は非常な減少

年賀郵便の特別取扱は愈二十九日の到着數は五十六萬七百八十三通で以て締切つた流石に同日は最終日の事とて一時に殺到し昨年に比し十五萬二百六十三通殖ち郵便事務員は徹二郵一分也厘の減小を示して居る內地方面からの到着數が減じた賑いのは不景氣の押捺器も亦最大馬力を出して大に如何なる原因であるか今の處では不明であるが或は財界の不況から年賀狀を手控へた結果ではあるまいか尚內地の二十九日までの引受數は百十八萬四千八十一通で昨年より三萬四千七百九十四通即ち四分强の增加である京城局管內では百三十二萬六千九百七十四通で昨年より二十七萬千百六通元旦の一號便で配達すべき年賀郵便即ち二割五分六厘の增加だと云ふ

本社主催 臺灣視察團

團員諸君に告ぐ

豫定通三日午前十時南大門驛出發に付き定刻二十分前迄に必ず御集合を願ふ途中乘車せらるゝ向きは其同列車に御乘車の事未だ御申込なき方にても參加御希望の向あらば同日南大門驛にて受付け御希望に應ず

京城日報社 臺灣視察團

名刺交換會

けふ午前十時から 京城公會堂にて

今一日午前十時から京城公會堂で催される府內官民合同の新年名刺交換會は申込者總數千二百二十名に達したが其次第は左の如くである(一)開會、(二)發起者の挨拶、(三)祝詞、(四)萬歲唱和、(五)閉會

府內各校の拜賀式

午前十時より 其校講堂にて

南山の公立高等女學校、西小門女子技藝學校の兩女學校及び府內公立小學校、日出、南大門、鐘路、櫻井、西大門、東大門、三坂、龍山、元町の各校とも一月一日は午前十時より各校講堂に於て拜賀式を擧行された

京城神社の歲旦祭

今朝八時から

京城神社では元旦午前八時から歲旦祭を執行し又三日は午前十一時から元始祭を執行する筈であるすがしく神々しいお神樂の音や參拜者の群の絕える時は無いであらう

五日午後一時 こども大會

府內本町三丁目淨土宗開教院では五日午後一時より子供大會を開催、本社こども會より八島嗣寛氏出席し愉快なる教育お伽講演を……

大祓の式

京城神社では恒例により去卅一日午後七時から嚴肅な大祓の式を執行し參拜者には厄除け開運の御守りを授與した

謹賀新年

大正十一年一月一日

京城日報社

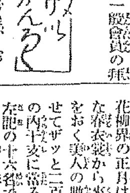
社長 秋月左都夫

社員一同

赤十字本部の新年拜賀式

日本赤十字社朝鮮本部では一月一日午前九時半より倭城台同事務所に於て新年の拜賀式を擧行一般會員の拜賀をうけると

三井物產株式會社石炭部代理店
藤谷商店
京城府若草町八四番地
電話一九六六番



京城劇場(寶塚蝶々會一行) 豫て噂の蝶々會に數名の新加入を加へた陣容稍多既に到着して稽古を勵んでゐる信蝶香蝶房子などは內地寶塚界でも定評あるもの女優の友子君子國子、秋子の新加入も活躍する演し物は▲第一『色紅葉』▲第二『エプロン』▲第三『八島の女』▲第四『旭光照波』

喜樂館(東京歌劇協會) 今春から京城に腰掛げする常設オペラハウスの一隊である到着後十二日を過ぐる迄まで猛烈に練習を積み女優達は新著のまゝでピアノの音律につれてステージでダンスの練習をしてゐる、三日までは晝夜二回の興行する喜樂館の改造と新藝術の宣傳を標榜するこの一隊は爾後一週間宛に演し物を替へる筈である新年興行は

▲京歌劇『都子と金二』▲バイオリン獨奏及舞踊▲新劇『通はるゝ人』▲獨舞踊『パントマイム』バレー▲喜歌劇『女軍出征』

▲浪花館 東京落語大一座

▲黃金館 ▲スエーデン運河實況▲愛の勝利▲高級喜劇『ラルミル』

▲大正館 喜劇『戰鬪港神』新派悲劇『女の力』七卷『亞中活劇』『航空百萬哩』喜劇『辨天小僧』全六卷

▲喜樂館 實寫『印度風俗』滑稽『雛行者行』舊劇『深川八』五卷新派『まごゝろ』全六卷

▲中央館 實寫『ボンペイ市の現狀』滑稽『垣根を超へて』新劇『宇和島騷動』四卷活劇『サレリネット』四卷新派『鐘の音』四卷

▲京龍館 實寫『佛國マルチヤ河の實況』ニコ〳〵喜劇『浮浪者ジョン』二卷新派『俠艷伎』五卷連續活劇『最後の勝利』三四篇 舊劇『大久保彥左衛門』七卷

戌歳の美人

花柳界の正月は紅や紫の麗やかな春衣裝から來る府內各券番に籍をおく美人の數は藝者、娼妓を合せてザッと二百名以上もあるが此の內干支に當る戌歳生れの美人は左記の十六名である

中券番 ▲新花月 吉波(廿七歲)▲布袋 青田 お多福 ▲京城券番 ▲同 メ香▲清水 小奴 ▲大和家 京子 ▲同 米八 ▲同 千丸 ▲桃 駒 三升家 美津也 ▲伊勢 新席 駒 檢 ▲漢 梅香 ▲吉家 ▲京 直奴 ▲紅家 久次 ▲秀次 ▲清華亭 小芳 ▲いせべ 成八

内の松

▲一日=四方拜、賀會(名刺交換會(午前十時公會堂)總督受賀(午前九時より)、昌德宮受賀(午前十時)、各官衙學校拜賀式、歲旦祭(午前九時京城神社)、總督府拜賀式(午前十時龍山本局)▲二日=元始祭(午前十一時京城神社)▲三日=消防出初式(午前八時本町)、▲四日=軍人勅諭御下賜記念祭(午前十時朝鮮憲兵隊司令部及び京城憲兵隊)、各官衙御用始、總督總監夫人昌德宮伺候▲五日=總督官邸新年宴會午後六時、新年歌留多會(午前十時京城俱樂部)▲六日=各學校始業式、愛國婦人名刺交換茶話會(午前十一時京城ホテル)▲七日=總督記者團招待(午後六時)▲八日=陸軍始觀兵式(龍山)▲九日=昌德宮新年宴(午後零時半)總督夫人の招待(午後二時)

旅行中に付歲末年始の禮を缺く

住井辰男

龍山練兵場で師團觀兵式

奧田少將諸兵を指揮し 淨法寺中將觀閱官を代理

朝鮮軍の新年諸式次第

朝鮮軍に於て擧行すべき諸式の日次次第等左の如し

一、御眞影拜賀式(一月一日)(イ)朝鮮軍司令部、陸軍倉庫、衛戍病院、步兵隊在勤將校同相當官高等文官同待遇、軍司令部附准士官下士判任文官同待遇者職員は午前十時軍司令部に參集(ロ)服裝は正裝とし高等文官は官等相當服以下之に準ず(ハ)下士判任文官以下は軍司令官に對し賀詞言上(ニ)將校同相當官高等文官御眞影拜賀(ホ)終了後偕行社に於て祝賀宴

二、勅諭奉讀式(四日)午前十時より朝鮮軍司令部に於て勅諭奉讀式終つて精神訓話

三、陸軍始觀兵式(八日)(イ)京城駐在各部隊兼に朝鮮步兵隊は午前十時二十分迄に龍山練兵場所定位置に集合(ロ)閱兵終りて分列式(ハ)八日の觀兵式は大庭司令官東上不在中に付龍山師團司令官代理淨法寺中將觀閱官を代行すべく諸兵指揮官の步兵第四十旅團長奧田少將其の任に當るべしと

最近の李王殿下

『助けて呉れ』猛火の中から悲鳴

憐れ親子は相抱いて燒死し 妻は滿鐵病院で生命危篤

三十日午前一時四十分頃龍山元町二の三滿鐵經理課雇員畑內義男(三五)方より出火したのを南大門消防隊龍山義勇消防隊、龍山消防隊と協力して消防に努めたる結果同二時二十分延燒家屋一棟を全燒して鎭火した、被害家屋は七間あつて義男夫婦と長男照男(二)の外に一家族同居し居つて出火と同時に義男方より『助けてくれ』と絹を裂く如き女の悲鳴が猛焰の中より洩るゝので救助せんと同居の者は義男方の室に入らんとしたが雜音開きの戸は內部より堅く錠にて閉され手のつけやうもなく其中火焰は益々猛威を揮ふて自身も危險に迫つたので止むなく其場を避けたが折から駈けつけた消防隊の福田、田尻及び末廣外數名は猛火を冒して寢室に飛び込み瀕死の狀態にある義男一家三名を向家なる石子基二氏方に擔ぎ出し醫師を迎へて種々手當を加へたが義男及び照男の兩名は遂に絕命し妻は直に滿鐵病院に收容したが之亦生命危篤である家屋の損害は一千圓位で發火原因取調中であるが義男の妻は目下妊娠九ケ月であると

愛婦の名刺交換茶話會

愛國婦人會朝鮮本部では恒例により一月七日午後正一時半より旭町京城ホテルに於て名刺交換茶話會を開かれる筈にて當日は役員有志の餘興數十番催されると聞して當日の服裝は自由紋付に不及隨意とし會費一圓五十錢一般會員には特に通知狀を發せざれば出席者は準備の都合上普通會員役員何れとも一月五日まで京城本部宛申込まれたしと

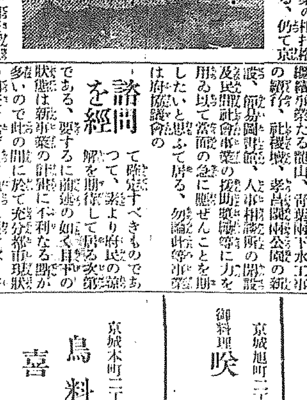
吉松府尹が現像する『大京城』の寫眞

大正十一年度の府の――新事業

(一)水道擴張(二)兩公園新設(三)簡易圖書館(四)人事相談所の開設(五)社會事業獎勵

京城府事業の將來を考へて府財政の狀況に及ぶ時は何となく一種の眠覺を感ぜざるを得ない、それは府事業として爲すべき事は多くある、其の間に處して克く府民の負擔力が是に伴はないからである、緩急按排し財政の運用を調整して行く處に行政官としての手腕がある譯である、吉松府尹が頭の中の乾板に納めた『新京城』の寫眞―それは果してドンなものであらうか、府尹は語る

都市の改善、生活の向上と云ふ問題は年毎に科學的智識を濃厚にして今や都市的施設其ものは單に外形的の都市の成容とか美觀とか云ふ贅澤的色彩に於てでなく、極めて深刻に生命の保護、生存の安寧と云ふことが要求さるゝのであつて、是が對策に忙殺されつゝあることが東西都市の……現狀であるが、京城府は遺憾ながら……のも何等都市事業としての施設……れて居らぬから、甲乙事業の相打格鬪を見る樣なことも往々ある、仍て京城府に於ては遺憾ながら都市問題に於ては全く



處女都市であつて、まだ何等の見るべき光たも見えて居らぬ或は多少の施設あるも……城に於ける都市事業も目下調査研究中の……されつゝある『都市計畫案』の決定を俟つて進むことを相當とする、從つて茲兩三年間に在りては努めて應急的の事業に專らにして併も將來の事業に支障を及ぼさないことを期したいのであるから、新年度府事業と云つても特に新なる計畫を立つると云ふことを

避ける方針

を採つて居る、が併し外府の事業と、事業の性質上差措き難いものに就いて計畫の概要を語れば第一は國營京城水道の移管により之れが經營に伴ふ水道の擴張及び動力變更に關する調査をなすこと、又前年來の繼續事業たる龍山、獎忠兩公園の新設、簡易圖書館、人事相談所の開設及民間社會事業の援助獎勵等に力を用ゐ以て當面の急に應ぜんことを期したいと思ふて居る、勿論此等事業は府協議會の

諮問を經

て確定すべきものであつて、素より府民の諒解を期待して居る次第である、要するに前述の如く目下の狀態は新事業の計畫に不利なる點が多いので此の間に於て充分都市狀態の調査を遂げ以て他日に應すべく內部的事務の方面に於ては別に相當の努力を拂ふの決心である云々

謹賀新年

京城鍾路入 南大門通一丁目 食道園 電話三三九一

本園ハ大正八年春頃ニ光化門通リ元明月館ヲヤメテコレカラハ新規ニ食道園ト云フモンテゴザイマス此處ニハ新羅伊辨ノ朝鮮美術的料理ヲ專門ニ供進スル料理店ハ當園デゴザイマス

一度御來園アリテ御賞翫ヲ願リマス

漬物〇饗宴其他賓物〔副食品〕各種 御用命の向ハ朝鮮料理券〇各種

賀正 京城府御成町 漢陽旅館 電話二七四四番

京城消防組 組頭 伊藤友松 小頭 安達久治郎 消防手一同

活動常設館 京龍館 電話龍山三一番

京城旭町二丁目 御料理 京喜久 電話一九三六一七五番

京城黃金町三丁目 御料理 淸華亭 平井トク 電話八二五三番

京城旭町二丁目 御料理 吟芳 電話二一〇〇番

京城黃金町三丁目 西洋御料理 銀松亭 電話二六一七番

京城南山町二ノ三〇 花仙 電話長二一〇七〇 四八

京城旭町一丁目 靜陽軒 電話一〇〇七四 〇三番

賀正 御料理 千歲 京城旭町一 電話七〇七 二八二

京城旭町二丁目 御料理 唉良喜 電話一八二八番

京城本町二丁目 鳥料理 喜久家 電話一三八三番

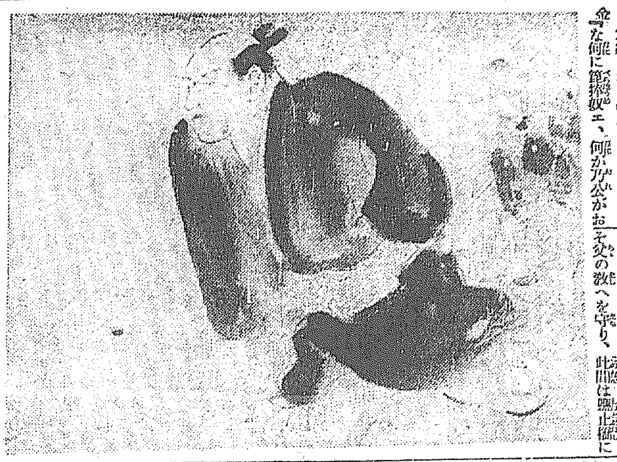
京城南山町二丁目 御料理 會席 一日園 電話一四九番

寛永御前試合

小金井芦洲講演

第一八五席

長『時に彌太先生、貴方の御勘當が許りました、今日御膳蔵や行司が参りましてお詫をいたしましたところが、勘當を許して遣ると仰いました、そのお言葉の終らぬ中にお早く入来しやいまし』伴『ウム左様か、夫は忝けない』突然梯子をドン〳〵ドンと飛んで降りると、下の根太を踏み抜いて縁の下へ落つこつた 伴『金六、いづれ縁に盛るぞ、左様なら』跣足で、彼那大きな身體で飛ぶ佛ドン〳〵表へ馳出す、金『な、何んと云ふ騒ぎだい、縁側に根太板を抜いて、二階から飛び降りられて堪るもんぢやアねエ』長谷川團蔵の兩人も伴五郎の後を尾いてドン〳〵馳出す 女房『お前さん、本家にお目出度いぢやないか』金『な何に篦棒奴エ、何が乃公がお目出度えんだ、何處がお目出度えんだよ』女房『アラお前さんの事を言はつもお目出度いと云やアしないよ、若先生の勘當が許りたからさ、夫れで若先生が泡を喰つて二階から飛び降りて根太を外したんだよ』金『然うか其つア大變だ』女房『呑氣なんだねエ』金六其處にあつた笠服を突掛けると伴五郎の後を追つてドン〳〵馳て往く、金六の大家が驚いて飛び出して來た 大家『オイ〳〵金六、何うしたんだ、何をしたんだ、何うも大變な音をさせるぢやねエか、……ヤイ〳〵何んてエ事を爲やアがるんだ、何んだまあ這那ところの根太を抜きやアがつて』女房『大家さん、御倘に濟みませんでございます、勘當が許りたもんでございますから』大家『篦棒奴エ、勘當が許りたつて根太を拔かれて堪るもんか、蠻エ音をさせやアがつて、乃公ンところなんざあ一時グラ〳〵ッと來たぢやアねエか』女房『御倘に大家さん濟みません、何ね、ホラ大家さんも御存知の通り品川の蠣殻町先生のところの若先生が家の二階に勘當されて居たでせう、彼の若先生の勘當が許りたといふ報せがあつたものだから、慾いて二階から飛び降りたんですよ』大家『篦棒奴エ、彼那大きな角力取兩人も一選に盛上げるやうな蠻エ力のある人に二階から飛び降りられて堪るものか……オヤ〳〵根太も何にも粉な微塵になつてるぢやねエか、彼ん那人を置いた日には年中根太を抜かれて居なきやならねエ、乃公ン處の赤ン坊が三尺も高く飛び上つたぢやねえか……其那事は嘘だが、何にしてもまあ勘當の許りたのは結構だつた』伴五郎へ挨拶して同様をして與れる、サテ伴五郎高野長谷川金六の四人は蠣殻町の道場へ馳付けて吻といふ一息、伴五郎はお父上蠣殻町殿の前へ恭しくピツたり兩手を仕へ頭を低げて居る 鍋『オウ伴五郎、其方は好うこそ父の教へを守り、此間は蠍止總に於て、喰べ酔つたる仲間兩人に喧嘩を仕掛けられ、夫れを其方が飽まで耐へ忍び、斬られ毆られたり惡口雜言をされたりいたしたが、能うこそ恥を耐へて手向ひをいたさんであつた……アヽ蠣殻町は善き伜を持つて安心をいたした、また二人の關取が組打をいたし、既に心氣の吊緒が切れて死んで終はうといたしたるを自分の勘當の許りるのを犧牲といたし兩人を救ひ、生命を取止め遣はしたる段、蠣殻町嬉ばしく思ふ、能うこそ他の爲めに己の身を犧牲にして然う云ふ事をいたした、以來は力業をいたさず術を勵み、身を愼み、蠣殻町の許に年期いたし與れよ』伴『ハヽッ、有難う存じます、御勘當をお許し下されたる上は、不肖ながら伴五郎御傍に在つてお父上に孝道は勿論、門人衆へ對しても大切に代稽古を仕まつりますでございます』鍋『オウ、好くぞ申した、決してとの心を忘るなよ……サテお關取衆お年寄さんお行司衆、その他御一統の方々、貴殿方の御骨折に依つて今日改めて伜伴五郎の勘當を許しました、是れは微んのお禮の印、何は無くとも粗酒一獻……』一同『有難う存じます』爰で伴五一統の者へ酒を振る舞ひ 鍋『サテ金六や お前は私が家の爲を買つて遣はしたるを眞意と心得、遣座は何の勘當に就て、能くこそ我慢つて三年の間面倒を見て與れた、蠣殻町他より悦ばしく思ふ、何うか一杯飲んで與れますやうに……』



家庭療法

乾鰯は感冒の藥

感冒に罹つて喉が腫たり頭痛のしたりする時は、乾鰯二枚位を少々焦げるほどに焼いて器に入れ水二合を注ぎ之を一合に煎じたのを湯呑茶碗に二杯位飲み夜具に潜り込んで寝てしまひますと翌朝目醒めた時は頭痛もせず、咽喉の腫れも治つてしまつてゐます

京日暦

▲一日 四方拜、日曜、己巳
▲三日 元始祭
▲五日 新年宴會
▲六日 小寒(午前十一時十七分)
▲七日 上弦(午後七時二十四分)
▲八日 日曜
▲十三日 望月(午後十一時三十七分)
▲十四日 三隣亡
▲十五日 日曜
▲十六日 十方暮
▲十八日 土用
▲二十日 下弦(午後三時四十分)
▲二十一日 大寒(午前四時四十七分)
▲二十二日 日曜
▲二十五日 天一天上
▲二十六日 三隣亡
▲二十八日 合朔(午前八時四十八分)
▲二十九日 日曜

一月二日

(舊暦十二月五日) ▲月曜日 ▲庚午 ▲四緑 ▲暗劔 辰巳 ▲佛滅 ▲心 ▲破

▼四緑▲始終騒々しくて心に暇なき日、旅行又は遠くへの旅行は見合せ
▼五黄▲何事も不如意がち、根負けする日、新規の取引は不利、時節を待つが有利
▼六白▲概ね平穏なるも、動もせば間違ひ生じ易き日、午前中は凶、午後は吉
▼七赤▲喜憂共に相半する日、何事も控目にさへすれば結局利益となる
▼八白▲中途で抛手投のする事ある日、静かに辛抱しなければ大損を招く
▼九紫▲意の如く發展する日、力を注げば注ぐほど有利、開店、求職、結婚等吉
▼一白▲元氣發溂たる日、轉じて幸ひともなるべく進んで吉、待人來る
▼二黒▲概して平運なるも短氣にして友を失ふ日、言語と遊興を愼むべし
▼三碧▲世間の同情に依つて何事も順調に運ぶ日、旅行、商談、金談、婚姻等吉

一月三日

(舊暦十二月六日) ▲火曜 ▲辛未 ▲五黄 ▲暗劔無し ▲大安 ▲尾宿 ▲危 ▲元始祭

▼五黄▲諸事何とか喰ひ違ひ易し、慢心深く八方に氣を配らねば失敗する
▼六白▲正當な事なれば何事も心の儘に行うて大きな儲けを占める日
▼七赤▲投機宜しきを得て發展する日、移轉、求職、金談、訴訟、出產等一切大吉
▼八白▲調子は宜しきも利に疎き日、他人の世話事には口出しせぬが安全
▼九紫▲多大な利益を得る日、勝まず撓まず攻撃的態度に出でゝ上々首尾
▼一白▲面目を失ふ日、氣鬱りのする事もあれば約束事等は見合するが利
▼二黒▲押付けがましい事ある日、強硬な事は避くるが勝ち、新規取引見合せ
▼三碧▲内にも外にも難れ事の生じ易き日、常の事は不拘新しき事見合せ
▼四緑▲諸事滞り勝にて終日氣の浄立たぬ日、無理に進んで大損を招く

謹賀新年

自働車、寢臺車 荷車、人夫受負
京城南大門通 太平組自働車部 電話二九六番
南大門驛前 太平組本店 電話三九六番
旭町三丁目 太平組支店 電話八五七番

京城太平通一丁目四〇ノ二
多田順三郎
電話 二一一九番

京城南大門通五丁目
中山洋紙店
電話一三四一番

京城長谷川町一丁目
ㅆ 河野本店
京城出張所
電話二〇七五番

京城府貴金町一丁目一九九番地
日本建具株式會社
京城支店
電話長一七〇五番 振替京城三七二八番
資本金五拾萬圓 本社 大阪西區南堀江上通三丁目二〇 支店 釜山大廳町三丁目一四ノ六

人力車製造 自働車修繕
堀商店
京城太平町二ノ二 電話一二九〇番

韓翼教

京城南山町一丁目
御料理 松葉亭
電話三三五番

內外雜貨卸商
玉植商店京城支店
京城南大門通三丁目 電話二五二二番
○本店 仁川外里○

龍山倉庫株式會社
電話一四八番

京城漢江通一二五
東亞蠶糸株式會社支店
電話長七一三五番

京城本町二丁目
中村再造
電話三六五番

京城本町三丁目三〇
松本製作所
電話長一四八九番

宮崎式ストーブ製造
宮崎組
京城龍山漢江通 電話長八四二番

京城本町三丁目九九
食料品商 下川益一
電話一四七〇番

京城本町一丁目四五
三中井呉服店
電話長三三四六番

京城府黃金町貳丁目七拾五番地
京城煙草元賣捌株式會社
社長 高木德彌
電話一〇四番 長一六五番

印刷 帳簿
犬養帳簿製造所
電話二二七九番 振替一五九六番

鮎貝房之進

京城南大門通五ノ一九
明治鑛業株式會社
京城出張所
電話長一六六番

京城北米倉町九三
ファミリーホテル
電話一二一八番

京城日丸水產株式會社
京城旭町一丁目二百二番地
電話一〇八番

京城本町二丁目三九
カフェーキリン
品川秋藏
電話三〇六番

京城黃金町百六番地
西村商會
電話三〇一番 振替京城八六六四番

京城若草町二ノ九七
朝鮮製綿株式會社
電話長一六五番

伊藤商行
京城府漢江通 主 伊藤三太郎
電話六四三番
工場 漢江通三番地

龍山質屋組合

月本政次郎商店

原金旅館

京城本町二丁目
御料理 清香園
北村清太郎
電話二三七六番

土井一義

京城 女髮結組合

京城黃金町二丁目
東京建物株式會社
京城支店
電話長一三六八一番

京城南大門通五丁目六三
早川商會
早川利正
電話一七六四番

京城南大門通五ノ一九
安川松本商店
京城支店
電話長二六六番

京城本町一丁目
山岸天佑堂
電話三七二番 長一〇六番

◻洋紙 印刷
京城長谷川町七四
近澤茂平商店
電話二三九四番 二三七五番

京城本町二丁目
建築金物商
井原京城支店
本店 安東縣

貸家業 大坪文吉
京城府明治町十七番地

京城本町二丁目
貴生堂藥房
電話二三八番

時計 自轉車寫眞機類
野田時計店
京城本町二丁目 電話二八七四番

京城本町二丁目
和洋金物 橋口金物店
電話百四拾貳番 振替京城四七九三番

京城本町二丁目
諸雜貨卸商 森久商店
電話長三五〇番

京城本町一丁目
和洋金物商 佐野彥商店
電話二六番

京城旭町一丁目
齋藤齒科醫院
電話一四一四番

資本金參百萬圓
諸積立金貳百萬圓
日支兩國政府合辦 鴨綠江採木公司
營業科目 木材ノ伐採、資金ノ貸付、木材ノ買收販賣、漂流木ノ整理、貯木寄托保管
總局所在地 南滿洲安東縣
分局所在地 長白、十三道溝、帽兒山、八道溝、通化

朝鮮郵船株式會社 新義州代理店
日本通運株式會社 安東縣取引店
國際運送株式會社 安東縣取引店
滿洲安東縣大和橋通り
松原運送店
安東縣支店
電話番號 長三四〇番 六七〇番

安東株式商品取引所仲買人
安東縣市場通六丁目
公債株式金銀兩替
原田市松商店
電話 長四〇番 長八六〇番 二十四番 二二三番

貿易商 倉庫業
安東縣五番通八丁目
齋藤進商店
電話 五一七八番 五六三番

安東縣の仙境
五龍背の靈泉
五龍閣

新義州府本町
長澤紀代司
電話 一二番

新義州
朝鮮材木株式會社
本社 新義州
京城支店 京城
分工場 同
支店 京城
出張所 義州

製函 木材製販賣
滿鮮製函木材株式會社
本店 新義州府鴨川町 電話二三六番
工場 安東縣江岸通 電話三五二番

王子製紙株式會社
朝鮮分社
平北新義州府外

大連汽船株式會社
安東縣出張所
安東縣市場通二丁目 電話三番
安東縣倉庫 電話六〇番
新義州倉庫 電話五七番

安東輸出貿易商組合人名(イロハ順)
育田商店
日陸公司
日東洋行
朝鮮肥料株式會社安東出張所
原商店
具本商店
柿木商會
合名會社竹本商會
逕磨商會
村木洋行
滿洲商工株式會社
丸一商會安東縣支店
興東公司
三井物產安東出張所
三菱商事安東出張所
三井物產
三菱
三井
紀陽
安東縣
之西
合資會社西播洋行
合名會社安東縣出張所
株式會社鈴鹿商店
安東縣出張所

朝鮮總督府營林廠
木材
各種

京城日報

其一

來るべき經濟戰に備へよ ＝年頭に際して＝

內閣總理大臣子爵 高橋是清

茲に大正第十一回の新年を迎ふるに際し、謹んで國民諸君に賀意を表し尙此機會に於て聊か所懷を披瀝して諸君の注意を煩はしたい。世界大戰は人類生活の種々の方面に大變化を與へたが列國の對外方針を殆ど根本的に變更せしめたことは殊に顯著なる事實である。

抑も世界大戰前に於ては、列國互に軍備を競ひ、武力によりて領土を擴張し以て民族の發展を圖ると云ふことが國家の主要なる任務とされて居た。獨逸の如きは其最も代表的のものである。然るに大戰の經驗により武力を以て民族の發展を期することの不可能なるを知ると同時に寧ろ戰爭の悲哀を味はつたのである。是に於てか各國民は互に國際的共同扶助の爲めに努力し、國民的利己主義を脫して他國民の正當なる權利を尊重しなければならぬと云ふ思想が醞釀せられ、此思想が國際聯盟となり、四國協約となり、海軍制限として現れたことは言ふまでもない。私は今後戰爭の起るべき機會を豫想したくない、否各國民は戰爭を絕對に防止すべく協心努力しなければならぬ、而して外交の要諦は正しく相手國を解釋し、率直に自己の意見を述べ、人類相互の同情心を以て互に協調し、正義の觀念を持して世界の公道を步するに在り、猜疑心を以て他を曲解し陰險の策を構へて我利を圖るが如きことは各國相戒めて絕對に之を避けなければならぬ。

併しながら正常なる個人間の競爭を止むることが出來ないと同樣に、國際間の競爭も絕對に之を制止するは不可能なことで、今や武力的競爭が其勢を冷卻した代りに、經濟的競爭が一層熾烈とならうとしつゝある私は此際に於て特に諸君の猛省と覺悟を促したい、私の信ずる所に依れば、此の經濟的戰爭に處する要諦は誠實努力以て良品を廉價に供給することである、誰にも利益さへ得れば宜しいと云ふ考へは武力を以て他を征服しやうとするのと同樣な人類社會に對する罪惡であり、且到底終局の成功を見る能はざるものである、之に反し良品を廉價に供給すると云ふことは、即ち共同扶助の理想に合し人類社會の文化に貢獻する所以であつて、同時に自己を幸福にし、民族發展の基礎となるのである、殊に國內に於ては、一層共同扶助の理想を以て事に當らなければならぬ、故意に生產の量を減じて價格を釣り上げ或は買占め賣惜み等の投機的手段によりて自己一人の利益を多くして驕ぶ如くは、社會に對する罪惡である又金錢を有するに任せて奢侈の生活をなすのも社會に對する罪惡たることを知らねばならぬ、又資本家が勞働者を酷使して利益を壟斷することの不都合なるは申すまでもなく、勞働者も亦其能率の增進に心掛けず、勞

極めて意義ある歳

學制頒布後滿五十年

文部大臣 中橋德五郎

歳も改まつて玆に芽出たく大正十一年の正月を迎へることになつた。而して本年は明治五年に學制が頒布されてから滿五十年に相當することを、先づ注意して置きたい。學制は明治維新後教育法令として第一に制定せられたるもので、爾來時勢の進步社會の推移に伴つて幾度か改正せられ、今日行はれる所の法令となつた次第であるが、大體に於て我國の教育特に普通教育の基礎は、此の學制に依つて築き上げられたものと見てよい。斯くも我國教育の歷史上重要なる意義を有する學制の頒布滿五十年に當る本年のことであるから吾人に適當なる時期に然るべき方法を講じて之を記念しなければならぬ

次に本年はワシントン會議の協定を實行すべき第一年である。ワシントン會議に關しては彼此の批評を聞かぬでもないが、何れにしても軍備の制限を協定して、世界平和の實現に一步を進めたものであることは、何人も異論のない所である。凡て國防は國家生存上の消極的施設であつて、教育は其積極的政策の重なるものであるが、從來のやうな國際關係では、どうしても全力を國防の充實に傾倒しなければならなかつたので、勢ひ積極政策には不行屆の點が多かつたのである。然るに今回ワシントン會議が開催されて、國防の制限が協定されたのであるから、これからは充分に教育の徹底に努力することが出來る譯である。而して本年は世界列强を擧げて實に此平和政策の實現に進む記念すべき第一年たることを忘れてはならぬ。斯の如く本年は教育史上から見て記念すべく、國際的文化的見地から見て喜ぶべき意義多き年であるから、是非朝野共に懸命に努力して切角の意義を無にしないやうにしなければならぬ。

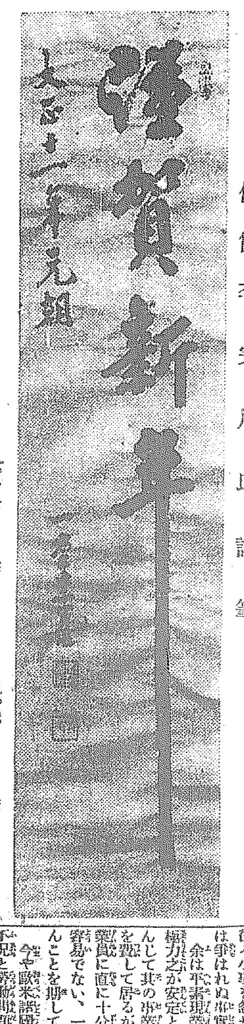
さて學制頒布から今日に至る五十年間の過去の事實を回想して見ると、啻に教育のみならず、政治產業の何れも長足の進步をなしたのである。比較的短き年月の間に、如何にも迅速によく斯樣なる進步をなし得たかと怪まれる程である。此の事たる固より大政を總攬あらせられる聖上の御稜威に因ることではあるが、國民一般に興國の氣分が滿ち緊張した態度を以て各自其職とする所に努めたことも亦大なる原因をなして居ると信ずる。東洋の一隅に久しく閑眠を貪つてゐた國民が、一たび世界的風波の襲來に覺醒せられてから、宇內の形勢を察し、自國の現狀を省み、一時も早く舊態を脫して新風潮に乘じなければならぬと覺悟を極め、一同緊張して眞面目に熱心に社會百般の事業の改善に努力したので、其間幾多の難關を突破して、よく今日の盛運を致すことが出來たのである。

併しながら我國現時の文化を精察すると、形式上相當に整備してゐるやうであるが、內容上尙未だ大に備はらざる點が多い。此點は將來に於て更に一層の努力を要する次第である。殊に最近世界の風潮は文化政策に非常に重きを置くやうになつてきた。而して此風潮に順應して益々我國の世界に於ける位置を進めるには、根本問題として國民の德性を涵養し知能を啓發し身體を剛健にすることを要し、又此の目的を達成せんが爲には、國民一般に明治初年以上の緊張せる態度を以て事に當らなければならぬことは、恐らく有識者の一致する所であらう。若し最近の進步發達を以て志滿ち意驕るといふやうであつたならば、小成に安んずる國民、將來の望みなき國民と評されても致し方がないであらう。此點に關して國民は相共に深く警むる所がなければならぬ。

尙當今の思想問題に付いても、其取扱ひに關して、國民は特に慎重なる所がなければならぬ。元來精神文化の問題は物質に關する問題と違つて其傾向何れの社會にも通じて實現し得られるものではないのである。一時に一つの教理一つの思想が傳播する場合、或る社會では全然取入れられず、或る社會ではその社會に同化されてるといふやうなことになるものであると思ふ。そこで歐洲戰後に於て擡頭した歐米の思想が我國に傳へられてゐる今日、我が國民が徒らに其皮相に眩惑されず、また徒らに之を排斥せず、よく研究し、よく批判し、取るべきは取り、捨るべきは捨て、常に我國の實情に照してその實現の道を講じ、如何なる場合に於ても我が國固有の文化の向上をはかることに最も好ましく、且つ正當な態度といはなければならぬ。しかも斯くの如きは我々の祖先が旣に古に於てとつた態度であつて、現に佛教の如き、儒教の如き、皆今日のやうな佛教、若くば儒教として傳へられて居るのは全くこの結果に外ならない。是々も思想に對しては鵜呑みにせず盲信せず批判し、その取捨を嚴にしなければならぬと云ふことを國民は忘れてはならぬのである。

之を要するに、歐洲戰爭以來世態漸く一變せんとする樣子が見える此極めて大切な時機に於て、我が國は眞面目に緊張した心持ちと、細心周到な注意とを以て、すべてのことに當らねばならぬ。しかも其程度は明治初年と同樣若くば其れ以上でなければならぬと信ずるのである。

滿鐵總裁 早川千吉郎氏試筆



侯爵李完用氏試筆

郵便、電信、電話

文化の一反映

遞信大臣 野田卯太郎

通信事業は一國文化の反影であつて、其の狀況の如何は社會の進步を測定するの尺度と謂つて好い。我國の郵便電信及電話は創設以來社會の進步と共に年々發達し來つたのであるが、昨年は恰も郵便創設以來滿五十年に達したので、本年四月紀念祝典を擧行し過去の發達を紀念すると共に、將來の進展を期した譯であるが、今近業創設當時の狀況を現在と比較するとは、其間餘りに懸隔が甚だしいから之を略し、最近の狀況を述べて見る。

一年間の取扱物數通常郵便七十六億通、小包郵便八千八百萬個、電信二億六千九百萬通を算へ、電話加入者の數は既に三十三萬に上り、之を取扱ふ局所の數九千八百、從事員の數十八萬餘の多きを數へ、內全國に遍在し外諸國と連絡を保つて文化の振興及產業の開發に寄與しつゝあると頗る多いのである。勿論社會の進步は常に通信事業の發展を必要とするものであるが故に、政府では年々之に應ずる施設を爲すことに盡力して居る。昨年中に於ける局所の新設したものが二百四局、集配事務の開始が卅四局、電信及電話通話事務の開始が四百五十九局、又電話交換事務の開始が百七十三局に達し、交通機關の完備に付いては財政の許す範圍內に於いて極力之れが實現に努めてゐるのである。

次に國際通信關係に於ては、昨年西班牙「マドリッド」に開催した萬國郵便聯合會議に、日本政府よりも委員を派遣して議に與らしめたが、其結果決議した改正條約は旣に批准の交換を終つて正に本年一月一日より實施せらるゝこととなつた。此により我國と列國との通信連絡は益々良好となり通信貿易業に資する所多いものと信ずる。又電信にあつては昨年七月には遞信省中線用電柱の高さ六百六十尺、四百キロワットの電力裝置を有する磐城無線電信局竣工し四千餘哩を隔つる北米と直接交信し得る世界有數の無線電信局を加ふるに至ること思ふ。斯くして對外通信上一大新紀元を劃するを得るは喜ばしいことである。

右の如く通信事業の發達に伴ひ施設の擴張改善に努め、又常に事業に關する學術的研究を怠らずして文化の進步に伴ふ施設を講じて居るのであるが、總つて之を歐米諸國に比較すると尙及ばざるもの少くないのである。例へば歐米各國に於いては、航空事業の發達に伴ひ郵便物の空中輸送が行はれつゝあるのに、我國では昨年中漸く二回、東京大阪及金澤間に郵便飛行を試行したばかりで、未だ一の定期航路を有せない有樣で、一は民間飛行術の未熟なるによるのであるが、甚だ遺憾とする所である。其他地下線の普及、電話自動交換機、印刷電信機の利用、自動電話機等、高速度通信機械の設備等幾多の施設を要するのであつて、機械力の利用は今後充分に努めなければならぬ。然し又一面から云へば、通信事業の運用は結局人にあるのであるから、從業員に其人を得なければ凡百の物的施設も完全に其效用を發揮するを得ないことが明かである。それで從業員の待遇の改善及地位向上に付いては、終始一貫苦心熟慮してゐるので、給料勤勉手當等諸給與の增額、慰安、訓育、保健、衞生等の諸設備の擴張改善を計つてゐる次第である。今後も充分從業員の福利增進の方策を講じ、從業員をして安じて事業に專心從事出來る樣にしたいと思ふ。

國有鐵道の目的

從事員の責任は重且大

鐵道大臣 元田肇

多忙なりし大正十年を送り、玆に新年を迎へたる吾人は、更に一層其職分に和協精勵以て聖代に答へ奉らんことを期せねばならぬ。

顧みれば昨年は大戰の餘映の爲經濟界財界共に稀有なる不況を持續し鐵道經營又決して容易ならざるものがあつた。此間にあつて余は熱誠忠實なる職員及び從事員と共に營々積極的に事業を進捗せしめ、議會に提議せる重要案件は大部分法律となつて其の實現を見るに至つたのは、洵に欣幸に堪へざる所である。會期切迫時間制限の爲に、鐵道敷設法案は當時議了するに至らなかつたが、今四十五議會に於ては是非共之が可決通過を見るに至らんことを希望する。國有鐵道の目的は鐵道を全國に普及し交通機關の完備に依つて國民に其便益と幸福とを均霑せしむるが爲に其職たるものでなければならぬ。されば當局は鐵道電化其他幾多緊切なる改良事業と相俟つて事情の許す限り鐵道を建設普及せしむるに腐心して居る次第である。之が目的の達成は固より一般民衆の諒解と同情を要することも勿論であつて、特に戰後の國民的生活の現狀に鑑み一層其切要を痛感するのである。

最近に於ける財界の變動は思想界の動搖と相俟つて人心を脅かし、資本家を罵り、上流階級の人々を蔑視し甚だしきは之に向つて危害を加へんとするものをさへ生ずるは、人の寵栄措く能はざる所である。青年の徒が、皮相なる外來思想に誑かされ、熱狂の餘り、不穩の言動に及ぶが如きは余の痛切に遺憾とする所であつて、此の如き妄擧を敢てするの餘暇を以て各其志す所に努め、强壯の身體と聰明の頭腦を以て自己の運命を開拓し、功名富貴手に唾して取るの雄志と氣魄あらんことを切望して止まないのである。徒らに他人の榮位大成を羨み、嫉み自ら之を獲得するの手段方法を講ぜざるが如きは丈夫の潔しとせざる所である。然りと雖も誤解してはならぬ。資力家並に其他上流階級の人々は單に自己の位置と利益とに汲及し、勞働者及び一般社會事業を閑却して宜しと云ふ譯ではない。只余は玆に青年有爲の人々に向つて其心掛けを云ふのである。抑々人生の成功は必ずしも高位に非ず、富貴にあらぬ。只之を求むるものは宜しく高尚なる修養と獻身の努力に依つて之を贏れと云ふのである。余をして云はしむるならば現代の青年が動もすれば、數位貴金其他物質的方面に憧憬するは、却て其身を害し、延いて國家の前途を危くする所以であつて、苟くも一身一家の幸福と國家百年の長計を思はば、物質以外別に、精神的生活の重んずべきものあることを覺得しなければならぬ。

思ふに世間一般の事業に於ても、之に從事する者の誠意と努力とに俟たざる可からざるは今更之を贅說するを要せざる所。況んや鐵道事業の如きは其最も重且大なるものにして、一に當局職員從事員の責任を重んじ、一致和合奮鬪努力するに非ざれば、得て其完全を期することは出來ぬ。殊に我國有鐵道に於て之を痛感するのである。國有鐵道は云ふ迄もなく國家的事業であつて、之に從事するものは總て私情を捨て公に奉ずるの誠意がなければならぬ。其職は人に依りて異るべきも、其の任務に對する人格の認識と、其の最も重要を盡すの責任に至つては何等の差異は無い。されば苟くも其職を[illegible]者に寄するものは各自の思想言動が如何に社會國家に波及する重大なるべきに想到し、常に自重自愛しなければならぬ。

鐵道事故の原因の如きも亦多種多樣であつて、一概に斷言し得ざるも從事員の家庭の事情の如き其一因を爲すは蔽ふべからざる事實である。從事員たるものは此點に留意し、…を旨とし、努めて家庭に風波あらしめざる樣に注意しなければならぬ事は頗る卑近であるが、大なる失態が往々小事を忽せになすに結果する事は爭はれぬ事實である。

余は平素現業員の實生活に留意し、極力之が安定と和樂の道を計り、安んじて其の事業に勵り得る樣に考慮を致して居るが、何分十數萬人の從業員に直に十分の滿足を與へる事は容易でない。一步一步理想に近接せんことを期して居る。

今や歐米諸國の鐵道事業は戰後の不況と勞働時間制限等の爲め、頗る經營難に陷つて居る。再び光明を仰ぐ迄の措置と等とは想像の及ばざるものがあらう。吾人は之を對岸の火災視してはならぬ。只幸ひに我國有鐵道は國家的事業であつて、官民相俟つて之を助長すべきものであるから、財界の變動に伴ふ影響の如きは之を突破するに難からずとするも、然も決して樂觀する事が出來ぬ。

何人と雖も風潮に掉すは易く逆潮に抗するは難い。而も逆境を經來つて初めて各自の人格が玉成せられる。余は此秋に當つて吾が從業員が、國家民衆の爲に其職全を盡し、私情を棄てゝ公に奉ずるの念慮を一層振起せられん事を希望して已まぬのである。今や新年にして帝國各般の事業の改進に一段の進捗を期せざるべからず。吾人は愈々奮勵以て斯業の改善發達、從業從事員の福利を增進するに努力せんと欲す。茲に新年を迎ふるに方り一言すること此の如し。

東拓總裁 石塚英藏氏試筆

朝鮮に於ける第一印象

先づ產業開發に留意したい

大藏省理財局長 小野義一

朝鮮及び滿洲に就ては職掌柄、或は個人としての趣味からしても、迅速に之を視察したいとは、豫てから希望して居たが、機會がなくて果すことが出來ずに居た。偶々昨秋朝鮮產業調査會が開かれて、自分も其一員として渡鮮することになつた序でに滿洲をも飛脚旅行して歸つた。漸く多年の宿望を遂げたものであるが、種々雜多なる感想が浮んだ。先づ其中でのファースト・インプレッションとも云ふべきは、將來朝鮮なり或は滿洲なりに實際問題の起る度に、いろ／＼衝動を受けるし又は衝動洗練せらるゝことと思ひしのみならず、當局者の關係よりして腹藏なく所見を述べることは困難なりとするが、其內の二三に就いて述べて見たい。

第一職務としての調査會に對する世人の期待と云ふことに付いて一言したい。總督府には客年中教育調査會を開いて精神的方面に就いての內地人朝鮮人の意見を聞かれたのであるが、今回は物質的方面に進み產業調査會の設置となり、朝鮮產業に關する意見を諮問せらるゝことになつた。產業調査會は世間の人殊に朝鮮に利害關係の深き人は或は產業調査會が開かれたることを動機として、急激なる速力を與へらるゝであらうとか、或は朝鮮に於て產業資金は恰も水の低きに就くが如く內地から朝鮮に流れ込むであらうとか、或は中央政府は朝鮮に對して將來資金を融通して政治上の負擔を課せないであらうとか云ふ位に解譯する人があるかも知れない。然しながら之れは餘りに產業調査會を買ひかぶるものと云はざるを得ない。何となれば、產業調査會は調査機關にして、調査會議の結果を朝鮮の當局者に答申するに過ぎないのであつて卽ち執行機關ではない。今回の會合は朝鮮人に內地人の參會に過ぎず、而も日數僅々五六日の短數に止まりたるを以て、調査會の開會を以て天來の福音を與ふるが如きものなりと思ふは早計であらう。勿論朝鮮の產業と云ふても其中では有望なるもの或は確實なるものもあるであらうが、中には未だ試驗時代にあるものもあらうし尙將來の運命は確定せざるものも多い樣である。然るにも拘はらず世間では朝鮮產業の成功を通じて一部の急速に發展せしめんと希望して、今回の產業調査會は此の方面に於ける[illegible]の如くに考へたらば、其期待は總じて失望となるなからんことを恐る。

夫れであるから產業調査會に對する吾人の意見も斯の如きことに決して地理的關係、內部の事情或は時政上の關係等を斟酌して之を確實にするものであつて之を實現するに當つても事の大小、緩急よろしきを按配して、徐々に產業發達を期せざる可からざる所以である。卽ち通俗に云へば一つづゝ謹殺しにやつて行つて食ひ殺しはイケナイと云ふことに歸著したのである。

朝鮮に滯在したことは十日位に過ぎなかつた。朝鮮及內地の方から內鮮融和とか或は內鮮一致とかの必要論が頻りに論議せらるゝことを耳にするが、之は一面に於て政治上の大問題であると同時に、社會問題であらうと思ふ。勿論之が解決は種々の方面より施すべき事であるけれども歸する處は經濟生活の安定と云ふことに因つて解決せらるべきものであつて、卽ち之が前提としては產業の開發と云ふことに意を用ひねばならないと思ふ。(東京支局)

余の觀たる朝鮮の產業

將來に多大なる期待を有す

農商務省工務局長 四條隆英

昨秋產業調査會委員を嘱託され余も會議に列したが、會議の內容は唯將來の朝鮮に於ける產業開發に關する根本策を確立する事を目的とした各自の意見を打合せたるものに過ぎなかつた。具體的決定事項等は別にせなかつたのである。勿論此う云ふ具體的な產業の種類等に付ひては夫々專門家の技術や智識を要する事であるから、余は所謂其抽象的根本論に付いての意見を開陳したのに過ぎなかつた。

余の見たる現在の朝鮮では產業中何々の工業を最も緊要とするか、何々の點に付いては述べ難い。何となれば未だ朝鮮は凡ての點に於て幼稚な時代としか云はれないからである。さりながら將來に於て果して工業に適當せりや否やと云ふものならば、余は充分に工業を起すに適當なりと斷する事を躊躇せない。所謂其起本工業とも云ふべき原料たる石炭、鐵の資格ありと信ずるからである。其れよりは最も緊要なる問題として刻下に迫り居るは農業の開發であらう。朝鮮の農業は之に改良を加ふるに於ては現在の收穫に比し遙に增收の見込確實なりと云へる。尤も[illegible]問題の根本策よりしても將に此の重要問題であるは云ふまでもない。

次には朝鮮は土地乾燥して雨量に乏しきを以て、之を緩和調節するには是非とも植林事業の必要を痛感したる所以である。[illegible]は植林事業の缺陷たるを語るものである。

次には水產事業である。朝鮮は水產的事業には極めて豐富である。現在にても頗る之が收穫はあるけれども今後一層之を獎勵せば其成績良好なりと信ずるからである。要するに朝鮮產業の開發策としては色々多多なる問題があるだらうが、何よりも前述の三事業を先決として充分に發達せしめたる後に於て、工業の發達を企劃する事が肝要であると信ずる。

近頃勞働問題等が頻出する樣であるが、元來勞働問題は家庭工業時代に於ては起るべきものでない。工業が發達して社會問題が複雜になつてから、勞働者が自覺して起る現象であるから、現在朝鮮の如き幼稚なる工業時代に於ては決して起るべき筈はないと考へる。假令あつたにしても其れは勞働問題と名くべきものではあるまい。唯朝鮮は比較的農業は發達して居るから勞働問題は都合に小作爭議に關する勞働問題はある樣だ。之等の點に付いては充分慎重に考慮して、適當なる解決法を得る事に努めなければならないと思ふ。

京城黃金町二丁目 旭旅館 主 田中タミ子 電話長六四五番

京城水標町五十四番地ノ二 中村材木店 電話四一四番

京城府本町二丁目四五番地 陶器商 久保田貞藏 電話一五五三番

京城本町壹丁目貳拾壹番地 帽子卸商 淀屋商店 電話八百十一番

喪中に付き年始缺禮仕候 京城南米倉町貳百拾壹番地 立石幹

京城明治町二丁目 都染 たまや 京染吳服出張所 電話二一九六番

京城黃金町通一丁目 醬米菜商 食料品 石田商店 電話二七一八番

喪中ニ付年末年始缺禮 貿易商 關繁太郎 京城永樂町一ノ一六 電話四七一六番

建築材料 德田商會 京城永樂町二ノ六 電話二三三〇・二五〇番

京城南米倉町二四 食料品 池尻商店 電話長三五一番

京城府公平洞八七 大昌貿易會社 電話長二三七二番

京城黃金町二丁目 岩田寫眞館 電話長五五六番

京城櫻井町二ノ一三 みのや京染店 電話長一四六四番

シンガー裁縫機械會社 黃金町分店 立盛太郎 電話一五四二番

京城府漢江通七番地 龍山信用組合 電話一〇一番

富士盛健一

京城本町二丁目 村上寫眞館 電話四二番

京城本町二ノ八一 北村帽子店 電話二四二七番

京城太平通一丁目十三 浦上申三 電話七一三番

京城黃金町一丁目一六七 兆昌材木店 電話二八五一番

時計眼鏡貴金屬商 中村時計店 京城本町一丁目 電話二七番 振替京城三四六番

京城府黃金町二丁目一五〇 京江自動車商會 電話長三八三番

京城府本町一丁目四八 和洋紙小間物文房具商 印刷工場 江里口和吉商店 振替口座京城 電話

京城本町二丁目 和洋紙文具店 增田利作 電話四二五番

京城旭町二丁目 土木建築請負業 佐藤組 電話四七九番

京城本町二丁目 硝子商 三田政商店 電話一四〇番

日本活動寫眞株式會社 京城出張所 京城本町二ノ八 電話二九三番

京城明治町一丁目 金銀白金印章指輪彫刻專門 八谷西海 特別御註文の時は一週間餘にて調製仕候 振替口座四三三番

日本足袋株式會社代理店 アサヒタビしまやたび 輝松商會 京城府南大門通五ノ五九 振替口座

笑福旅館 京城府南大門驛前 電話長一五五一番

和田常市

賀正 秋吉富太郎

森辰男 京城府南山町壹丁目六番地 電話一五六番

京城府義州通二丁目六六 海陸物產食料品精米業 石田商店

京城府南大門通五丁目八 機械商 木村商會

京城府南米倉町七五 京城製油所 出張所 新義州 平壤

京城府本町二丁目 時計及附屬品 貴金屬美術品 寶石入指輪眼鏡 各種 御注文品ハ御好ニ應ズ 木島時計舖 電話二三九番

朝鮮京城長谷川町 綿布雜貨卸商 鬼頭支店 振替京城

藥品及醫療器械商 東京島久商店京城代理店 藥劑師 坂井峰太郎 京城明治町二丁目 電話

世界産業の趨勢（上）

西鮮殖産會社專務取締役　賀田直治

十九世紀に於ける歐米の産業は、科學的發明及機械の進歩に依り漸次大企業組織となり、同時に殖民地獲得競爭に海外販路の爭奪となり、所謂經濟的帝國主義を惹起し、内には所謂資本勞働問題の紛糾となり、外には所謂國際戰爭の誘因となり、其弱肉強食的世界戰爭の大勢を形成したものと思ふ。

大戰中には數多の人命の犧牲を生じ、到底容易に恢復し得ざる程度の財産上の損耗に陷り、一方には戰爭中勞働者の功勞多かりし丈け勞働者の勢力は益々高まり、勞働問題は國内的及國際的に一層の重要を加へたのである。婦人も亦戰時中種々なる職務に當りて男子に代りし丈け或は女權の擴張を叫び、或は參政權の要求を唱へ、而も男女間職業の爭鬪も熾烈となりつゝあるのである。且又大戰中露國に勃發したるボルシエヴイズムの運命も其經濟上の實際的失敗ならざりしと、其後各國戰後の秩序もつき、暫く平和を得たるも、戰爭の傷痕に勝きて[illegible]ことは出來ぬ。

戰後英吉利は海外に非常に發展し、殆ど其の天地に、公々然と延長するを容るさず、徒らに大國となり、上は火となりつゝある。只露國に於ては勿論之が生存を續け、國命に乘じて再び擡頭せんとする狀況にあると思ふ。

する傾向である。佛蘭西は實際條理上歐洲の位置に在り、財政上にも不安定なる獨逸の償金をあてにせざるを得ず。而も將來の國境的防備に關する苦心は容易ならざるものあり、伊太利も亦佛蘭西と同様の事情を有し、而も兩國とも戰後次第に良化しつゝある趨勢を示しつゝあり。獨逸は戰後國民の窮乏と勞銀の低廉と物價の低落と軍備上の費用を要せず。而も戰時中工場破壞の事少かりし等の原因に依り、戰後各種工業の狀態は非常に旺盛である。勿論國家が財政的に恢復するに至るは決して容易の事にあらざるも、國民の回復的經營は驚くべき事實である。墺太利の如きも露西亞の如き現狀にては最も悲觀すべき國狀なるも、將來に於ては獨逸の回復と共に其勢力の恢復を見るに至るべく、其の豐富なる未開天然資源を利用するに至りて、將來世界に於ける經濟上の地位は頗る重要なることは出來ぬ。

亞米利加は大戰中最も利益を占めたる最大成功國なるが故に、財政の大膨脹となりて既に容易ならず。工業も大組織となり生産は過剰となり、而も販路は狭小なる歐羅巴には財政的の關係に依り殆ど杜絶し、産業上決して容易なる時機にあらず。これ即ちワシントン會議を迎へて第一に軍備制限を協定して財政上の休養を圖らんとする所以の一つであらう。

らしめ給ふ事と相成りしは實に恐れ多い次第であつて、今や内外の形勢に鑑み國家多難の時、攝政殿下御心勞の程も拜察せられ恐懼の至りである。茲に年頭に當り我等は[illegible]して聖上陛下の御平癒を祈り奉ると共に、攝政殿下を奉戴して國民に盡さるべきである。[illegible]海外萬里親しく戰後の歐洲を御視察遊ばされ、今や至上の先覺として國民の御指導の下に在る事を至幸とし、一意專心各其分に應じて國運伸張の爲に最善の努力を期すべきである。

歐米列國は未だ戰後經營に汲々として居り世界の經濟界は何ほ整理の時代に在る。從つて我日本の財界も將來一陽來復を望む日に待つべきやは疑問すべからざるものがあるが、貿易は逆勢を加へ、事業界は沈滯し、物價は依然として騰貴し、財政經濟界には種々の大問題が伏在して居る。而して社會には奢侈浪費の弊風滔々として、民心は弛緩して較もすれば勞を厭ひ安逸を貪らんとする有様である。加之不健全なる思想は野獸の如く驀進し來りて社會の安定を脅かさんとして居る。昨年中に生じたる各種の出來事に徴しても、國民の思想徴候の基礎が動搖しつゝあることを知るであらう。

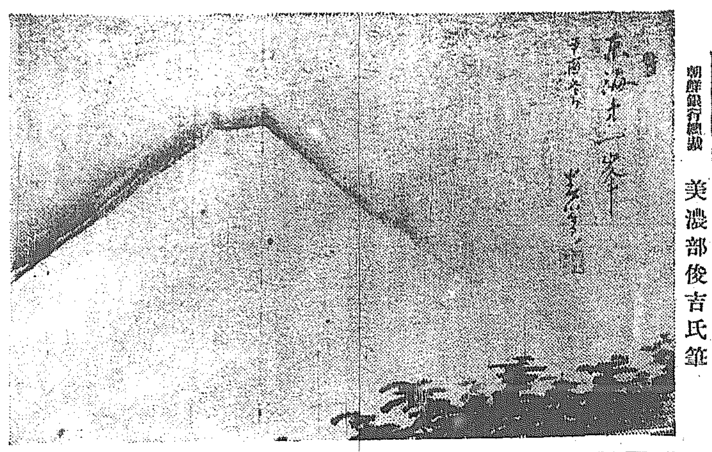
今や太平洋の彼岸では國策に變動を及ぼすべき重要なる會議が開かれて内外國際的環境が極めて機微に變遷しつゝあるの時、吾人は内に省みて甚だ憂慮に堪えないものがある。今日の日本は歐洲戰時中に比し遙ろ大なる艱險に面して居るのであつて吾人の精神は頗る緊張を要するであらうと思ふ。若し國民上下を通じ、鐵心石腸を鎔ひ、一致協力して國運の自力的發展を策するに非ざれば、吾人は世界的風濤を凌ぎ行くこと困難であると申さねばならず。浮華を避け、奢侈を去り、節約を旨とし、勤勉を事とし、質實剛健なる大國民生活を營むと云ふ事は現下の急務であつて、此の基本生活の下に政治經濟社會萬般の根底は盤石の如く國運は光輝ある發展を告ぐるであらう。吾人は決して現狀を悲觀する者ではない。既り我國のみならず列國皆な大なる試練を受けつゝあるので、之に堪え之を凌ぐ國は總て組織せられたる國家であらねばならぬ。既に吾人は國民的一大試練の時期に遭遇して居るのであつて、一大決心、一大努力、一

正義の大道を踏め　而して半島の文化に貢獻せよ

朝鮮殖産銀行頭取　有賀光豊

大正十一年の曙光を輝かしく迎へ、過去の事實を顧り去ると共に、新年の曙光と共に致す事は容易でない。殊に今年は前途一層の多難の年である事を豫想せねばならぬ。

過去一年の曙光を顧り、殊に今年は所謂[illegible]の深きを覺えるのである。即ち昨年は[illegible]に印象の多い年であつたが、而して又幾多の[illegible]が走馬燈の如く相繼いで過ぎ去つた。年は改まつたが、今年も申すも畏き事ながら聖上陛下の御違例を慰め奉り、聖上陛下の御平癒に[illegible]せられ、東宮殿下をして攝政の大任に當らせ給ふ



朝鮮銀行總裁　美濃部俊吉氏筆

正米の前途觀

眞の活躍期は青田前途から天災期までの間か

大正十年度の米價曲折を顧みると政府の米價引上げ着手と内地の暴風雨被害や朝鮮方面の水害不足に鑑を打して茲に漸く形勢轉換の機運に向つた。大正十年度の米價曲折を顧みると操陽發の轉換期として從來の大勢を一變したが、事實は豫期に反し上半期は依然として低迷に終始した。下半期の初期に至り幾多の新材料突發して狂騰を演じた。殊に米界に取つては隨分多事の年であつた。今京城の正米成行きの經路を辿つて見ると、

新作初相場　の二十三圓七十錢を高値に漸落を續け、翌年は二月に二十五圓に下落し、三十錢迄低落して當年の底值を作つた。其後米穀法案の通過と軟材の出盡しで人氣を持直し爾來六月迄は二十一圓臺に一高一低を繰返したが、

漸次頽勢に　傾き続めて、新米の出廻り増加や阪地大豐況後の米穀相場を招來した上、政府の古米拂下げ等もあり急激に人氣を惡化し、十二月に入り遂に卅二圓臺に墜落した人氣不振の裡にも前年當時と凖備を異にし供給不足といふ

十九萬の供給不足となる譯である。

內地米實收

を政府當局の豫想として十一年度の需要を觀る時は左の如き結果になる

供給の分

百萬石、政府所有の外米八十六萬石、端境季持越季五百萬石合計五千六百八十六萬石

消費の分

百萬石、海外輸出高十五萬石、酒造米二百萬石、菓子工業用五十萬石合計六千二百六十五萬石

右の數字に依つて見ると差引五百七十九萬の供給不足となる譯である。

物の騰はつて居る丈け、人氣の輿廟に釈居觀念も稍々一般に豫想の如き米價の騰貴は望まれないが、十一年度の米價は如何であらう、騰貴は誰の鑑として鮮米の騰貴を誘致したが、十一年度は如何であらう。騰費は繭縮小に擬ふ失敗や物價引下げ問題、鐵の緊縮又は不景氣等を誘致して、不足米の自然調節等を不可能として居るが、之を米價品騰の上に思を及ぼす上の米價品騰を不可能とし、試みに一度需給關係の上に思を及ぼすと決して前途樂觀すべき程のものでない。

之を差引く

其處で豐作の鮮米如何といへば、十一月一日現在の豫想千四百七十九萬石を收穫高と觀て鮮內人口を千五百萬人とし一年一人當八斗五升を消費するものとせば千二百七十五萬石となり、前記の千四百七十九萬石より二百〇四萬石の過剰で、之に殘存米を加ふると鮮外の移出力は三百萬石內外であらう。之を全部內地の移入米とし、鮮米の移入を八十萬石と見積る時は、內地の供給量に猶百九十萬石の外米不足を生じ、之に二百萬石の外米輸入を得て漸く手一杯となる狀態である。此點から前途を推すと强氣の先高觀は當然の歸結で、相場の實勢も又斯くあるべきが順序である。併し強氣の豫想に近い高値が何日出るか之は要するに時期の問題とせねばならぬ。殊に昨年度の新米は內鮮を通じて出後れの傾向上、米出時代も之に伴ふて次第後れの觀がある。

春高豫想は　相當の可能性があるか否やは疑問である。現に本年は米價引上げ又は朝鮮の不作を祈りに米價の回復を見たのは一時的にも過ぎない。十一月四日の五萬千石より年末に至り十二萬石餘に激增して居るが、備蓄及其他の保管米が漸次豐富に出廻りて居るから、內地米の出廻りに伴ふ相場は一時的にもせよ可なり大なるものがあらう。從つて早晩內地古米の處分時代が來るであらうから、道程の小波瀾は別として米價の向上分岐は之等が先に安定するに至る迄は以上のものとの開きであらう。

更に變質季　に伴ふ軟質米の關追といふことも無視出來ないとすれば、結局眞の活躍期は青田の前後より天災期に亙りての時代である。

經濟界の一進展

株式市場設立＝信託業務の隆興＝其の運用に就て

京城商業會議所副會頭　釘本藤次郎

鳥兎匆々茲に大正十一の春を迎ふるに際し、世紀が新に發展を示し來るべき機運の域に向はれんことを希望する次第である。思ふに歐洲大戰の結果現在世界の狀態を顧ると戰亂から平和へと急轉しつゝ各國一齊に和光に浴せんことを希望して居る。今や人類の幸福の爲に華府會議は開かれ太平洋問題より軍備縮小となり四國協約が議定せられた。

斯くの如き結果は各國ともに一國の殖産興業に其全力を傾注し、國力の競ひより經濟へと轉化して行くは聊かも疑を容れぬ所である。而して帝國の如きも殆ど軍備に多額の經費を計上して居る關係上、軍

縮の結果は、勢ひ其大半を節することが出來ると同時に産業開發の爲めに其力を注ぐ事は言ふ迄もない次第であらうと思ふ。

斯くて各國の經濟戰は愈々白熱し、大海嘯の如き競爭を惹起するのは理の當然であらねばならぬ。吾々實業界に身を置くもの正に此の大勢に自覺して、我國産業の將來の爲めに官民協力以て其努力を致せねばならぬ秋であらうと信ずる。

顧つて我朝鮮の事情を顧みると、併合後總督府時代には內鮮人其に協ため、徹力にして何れの事業を問はず資源に振ふにしてはなかつた嫌ひ已ならず、新に企業せらるゝ者も尠かつたが、其後世界大戰後の好景氣に伴ひ續々多少企業

大戰の結果は各國ともに殖産興業に、吾々實業家は大勢の[illegible]

られて我朝鮮事業界は漸く勃興の機運に向つて來た。時恰も官制改革と同時に現總督の赴任を見、以來民業の發達を促進せられ、全く實業の爲めに大なる文化的政治を布かれ各種の施設は着々として完成の域に向ひつゝある。尚ほ朝鮮の文化は益々躍如として見るべきものがあり、殊に最近にあつて昨年四月事業界の實情を調査せられたる際には、吾々の希望も容れられ、一部を除き實施せらるゝ事となり、又は全部撤廢を見るに至つた。外務省と各種の事業の施設せられ勃興的に發展しつゝあるが、本年は益々該方面の事業を全部撤廢し、既に一般の新設されたる會社の多く、從つて其資本金額は激增し、今や全鮮に於ける其總額は四億圓を突破するの盛況を示すに至つた。

朝鮮の勃興を見たのである。而して近く朝鮮總督時代好意的に非難を緩和されて、遊休資本の配置されることを希望し、又一面會社令の廢止による事業の勃興を見たのである。今や會社設立の情勢は慶賀すべき事である。而して此の結果は一面に於て總督府政治の諸政策に從ふ所があるのである。

從來の京城財界は或は未だ不備なりしに拘らず、東洋拓殖及び朝鮮の創立當時の事業界は整備に至らず、日本內地と比較して頗る不便を感じて居た。其後長谷川總督の時代に於て京城取引所の設立を以て之を整備した。此の好機を捉へて京城に一の取引所を設立し、京城物產取引所、京城株式現物取引所が開始され、斯くの如く整頓したのである。

乃ち我財界の趨勢は急轉して從來死藏されて居た株式價格を公定し、必要とする時機に向ひ昨年八月此の大使命を全うせんが爲に京城株式現物取引市場の開業を見るに至つたのであるが、之に依つて其等株券を容易に資金化するに至りて其等株式取引所の創設を行ふ必要を感じたのである。

京城株式現物取引市場の設立は我財界に一の新しき面目を與へ、株式市場の發展を促す所以であり、京城財界の健全なる發展と共に、京城の財界に多大の便益を與へるものであらう。今や信託業務の勃興に伴ひ、京城にも信託業務の設立を見るに至つた。而して朝鮮信託、京城信託、朝鮮殖産信託等の設立を見た。殊に京城の財界が如何なる變化を及ぼすかも知れぬのである。而して京城株式市場は我經濟界に大なる影響を及ぼす所以である。

き經濟界の進展と言はねばなるまい。斯くの如くにして我株式市場の進展に伴ひ、將來の京城財界の發展を期することだらうと思はれるが、動もすれば所謂射倖心を挑發し又は思惑を助長せしむると言ふ弊を受け易い事は京城財界は愈々多事を極める事となるのみならず、此際會社の經營方法の如何に依つては我經濟界に大なる變化を及ぼすかも知れぬのである。而して京城、否、朝鮮の財界に貢獻するなる鑑を興ふることは、誠に慶賀に堪えざることである。我々は其の指導と鞭撻の下に特に此點に關して愼重に考慮を要することだらうと確信すると同時に其運用宜しきを得、京城財界の爲に努力奮闘、以て大に貢獻する所がなくてはならぬと思ふ次第である。

蘇東坡と悟道

三笑生

一

壬戌の年を迎ふるに際つて、思ひ出さるゝのは、蘇東坡先生である。文章軌範を讀んだもので、赤壁賦を記憶しないものはあるまい。その蘇東坡先生の赤壁の夜遊が、大奮闘を以て打ち克たねばならぬ。忍ぶべきは忍び、耐ふべきは耐へ、正義の觀念を驅して大道を踏み所信を斷行しなければならぬ。

顧つて我朝鮮開發の前途を卜すると、吾人は洋々たる希望を認めるのである。半島の經濟思想は非常の速度を以て高まりつゝあり、殖産興業の精神は頗る擴充せられ、經濟界は駸々乎として進歩しつゝある。而して內鮮官民の協調力は益々强度を加へ來つたのである。茲に於て乎吾人の責任は一層重きを致した次第である。吾人は勤儉の氣を以て大勝に前進すべきであり、吾人の期する所は、自己の年頭感ずる所此に於ける貢獻を期すべきである。不息の精神を保持し、大に堪え難きに堪え、久しきに堪え、以て經濟界發展の業に當り、國運の隆昌に貢獻しなければならぬのである。

即ち壬戌の歲の秋七月の既望であつたのである。今年も七月十六日の紀念日には、文人墨客の船を浮べて、蘇東坡先生を追慕する者が少くあるまい。

二

蘇東坡先生が、宋の學者で、文章家であつたことは、既く世に膾炙する處であるが、先生が禪道の殿奧を極めて居つた人と云ふことを知つてゐる者は、或は多くないかも知れぬ。蘇東坡先生は、夙に當時の巨匠佛印禪師に參禪して、源に達して居つたのである。

三

一日、蘇東坡先生は、佛印禪師と共に某寺に詣つて、作詩遊行して居られたが、不圖觀世音菩薩が、手に珠數を持つて居られる像を見て急に不審を起されたのである。そして佛印禪師に向つて『觀世音菩薩と云へば、既に佛の境界であり乍ら、手に珠數を持つて居られるのは、一體何を念じ、何を願はれる意でせうか』と質問せられた。すると禪師は、無造作に『觀音は觀音を念ずるのさ』と答へられた。蘇東坡先生は、禪師の答へが一寸奇拔に聞えたので、愈々解らなくなり『既に自ら觀音であるのに、なぜ自ら觀音を念じ、觀音を唱名するのか』と反問せずには居られなかつた。すると禪師は、其時親切に『人に求むるは、己に求むるに如かず』と垂示された。蘇東坡先生は、此の垂示に豁く悟會して、直に佛印禪師に弟子の禮を執り、參禪苦修、遂に徹悟するに至つたのである。

四

『溪聲即是廣長舌、山色豈非淸淨身、夜來八萬四千偈、他日奈何擧示人』と云ふ詩は、東坡悟道の詩として『盧山烟雨淅江潮、未到千般恨不消、到得還來無別事、盧山烟雨淅江潮』と云ふ詩と共に有名な詩であるが、達道の士でなければ、斯かる詩境は、到底も湧き出づるものではない。此れ實に先生が已に求めて徹底已に得られた消息を語るものである。何人も只已に求めよ。己の寶藏の開くる處に受用姑盡さざるものがある。只己に求めよ、大悲禪師の語に『門より入るものは珍寶にあらず』と云ふのがあるが、吾人道に志すもの、深く味ふべきものである。（完）

壬戌の歲に緣深き蘇東坡

（京城洪鉉氏藏）

保險思想普及の要

朝鮮は是からが努力すべき時

朝鮮生命保險株式會社專務取締役　漢城銀行專務取締役　韓相龍

日本の生命保險事業は、近來長足の進歩を示し、殊に歐洲大戰後の好況時代に於て、其躍進に伴ふ結果なることは疑ひないが、一方內地に於ける官營の簡易保險の好成績を擧げつゝあるが故に、保險の特色は小口保險であるが、契約件數に比して契約高は[illegible]が多數に上る。最近政府に於ては勞働保險の調査を行ひつゝあるやに聞く。

由來保險は、中世紀歐洲に於けるギルド組合を起源とするを通說とすれども、古來世界到る所に保險類似の制度を有し、我朝鮮地方に於ても之れが實現さるゝことも決して遠くはあるまい。

保險業なるものを生ずるに至らなかつたが、今日の保險事業は、即ち危險を豫想して保險を設くる樣に、近代科學的研究に基礎を置き、營業として保險を經營するに至つたのである。一般に保險の發達は文化の程度を一致せしむる技術が進歩した結果、保險契約者の多數が共同團體となり、相互に協同して危險の分擔を爲しつゝあるものであつて、唯共同者自身が意識的であるか無いかの差異に外ならない。彼の相互會社と株式會社との別もある所以である。

斯の如く保險の根本觀念は、多數者の協同に依るもので又保險の公共的性質である。保險が信用の發達を助長し、社會衛生の改良を促し或は經濟的信用を固うする等は皆重要なる效用に屬す。併し遺憾ながら朝鮮は近代化學文明に遲れたるは事實であつて、此基礎的調査を確實ならしむることが困難であつたが爲に、最近迄朝鮮は一つの保險會社を有しない。從來內地諸會社が現に朝鮮に有する保險契約高は左の計數を示して居る

新契約	大正七年	一六、三四〇件	一六、四四〇萬圓
年末現在	大正八年	三二、〇三四	四四、四七二
新契約		一八、三五九件	三三、〇三六
年末現在		三一、八五六	四九、二五三
増加割合前年對比		一二、四	一二、一九
新契約	大正七年	二五七、一六一件	四四二、一八二
年末現在	大正八年	三、六九六、一四〇七	一、六八二、一九四
新契約		七四四、三三三	六八五、一〇〇
年末現在		三六四、九八一	二、八五七、六九四
増加割合前年對比		二三、四	二〇、一二

契約件數に比して保險金額の増加割合の高率を示し來るの傾向と、契約件數の増加割合が高率なることは、大に悅ぶべき傾向なりと謂ふを憚らない。更に內地に於ける諸會社が有する總契約高は

にして、朝鮮が國內總數に比し一千人に對し僅四人に過ぎず。即ち朝鮮は人口數を示して居る。之は日鮮人側に於ける增進が近來顯著なることを示しつゝあるは、大に慶賀の至りと謂ふに至つては、殊に要な縊りに昨年十一月、朝鮮に初めて成立した朝鮮生命保險株式會社に就て一言するに、朝鮮に於ける生命保險は二十有餘の內地會社に依り開拓せられつゝあるの狀況に在り、殊更に茲に新會社を設立するの要なきが如きも、目下の朝鮮に於ける狀態は言語を異にし習俗亦悉く同じからざる等の點から考ふれば、一部の朝鮮人には保險思想が徹底すると困難であるとも謂ひ得る。故に此點に特色を有する一會社を朝鮮に設くることは、全く時勢の要求に應ずるものであつて、恐らく何人も首肯することが出來る。從來も朝鮮に生命保險の發起計畫は無かつたのではないが、機運が熟しなかつたのである。併し今回朝鮮生命保險會社は出來て先驅たる內地諸會社の驥尾に附し、朝鮮保險界に努力することは緊要するに朝鮮人の生命保險思想は今日尚幼稚であるから、之より大に努力する時期に入りたのである。併し社會文化の爲に、將又個人生活の安定の爲に、之を一般に推奬することは實に急務であり又將來大に有望であると斷言できるのである。

謹賀新年

京城漢江通七　龍山工作株式會社　電話六二八番

京城明治町二丁目　パン木村屋京城支店　電話二八七〇番

京城明治町二　印刷紙文房具　瀨川中央堂　電話長一二八九番

京城本町一丁目　御料理　江戸川　電話九二八・一四六番

朝鮮土木建築協會員　石田建築材料店　京城黃金町一丁目　電話一一六一番

梶原末太郎

京城南山町三丁目　骨董部　佐々木聚古堂　電話貳三貳番

京城府本町一丁目　砂糖商　澁谷商店　電話七七一番

京城長谷川町九七　中華料理　和金谷園　電話一五二五番

京城南大門通三ノ八八　川勝支店　電話長一〇三一番

日本歐米各國特許專賣　ブランチヤードランプ　望月特約販賣店　龍山漢江通七番地　電話龍山二三番

龍山水産會社　電話一一五番

コリヤツキモンド號自轉車製造販賣　シロタイヤ◎オツクスタイヤ◎サウスタイヤ其他附屬品一切自轉車　清水自轉車商店　京城南大門通二丁目九十五番地　電話二八九番　振替京城三四一〇六番　專屬工場　黃金町一丁目

何首烏精　發賣元　富木兄弟商會　朝鮮京城旭町一丁目　電話三六三番　振替京城四二七

朝鮮京城本町二丁目　日韓書房　電話四十五番　振替口座四十五番

各國漁網綿糸ロープマニラロープ棕櫚綱二燃糸絲糸テグス紐包裝用玉糸　京城本町二丁目　森政吉商店　電話八三〇番　振替京城一七五八番

南方半次郎

京城南大門通三丁目　農具工具金物肥料種苗　戸田農具株式會社　電話長三八六番　振替京城三〇七五番　工場　京城北米倉町　電話三三七〇番

京城黃金町一丁目　海陸用諸機械器具直輸入　米井商店京城出張所　電話一六九六番

小川旅館　京城明治町二丁目　電話長三五一番

各國時計類貴金屬製品眼鏡類販賣　測量製圖器械類修繕　朝鮮京城府本町三丁目百二番地　市川啓藏　電話七六五番　振替七〇五番

京城府林町三十四番地　今岡熊之助　電話三〇六九番

京城本町二丁目三十九番地　太平堂印刷所　電話二七〇二番　振替七六一番

京城本町三丁目三十八番地　松金　電話八六番

京城永樂町二丁目　鐵瀝　龜屋染工場　電話一五八次番

京城本町三丁目四二　近藤金物店　電話長一五六二番

京城永樂町一百五十六番地　朝鮮物産毛皮貿易　馬場商店　電話長九八六番

龍山元町三丁目　こまや　植西呉服店　電話九二八　店舖所在地　大邱元町　馬山京町　釜山幸町　鎭海

京城府本町三丁目　藤富國太郎　電話長三九〇八番

京城府古市町四十二番地　馬糧商　林菅吉　電話三〇六番

京城府黃金町一丁目　山岡時計店　電話一三四八番　振替京城三一番

京城黃金町二丁目　自轉車及附屬品卸商　高居瀧三郎商店　電話二九六二番

京城本町二丁目　森啓助商店　電話四三〇番

京城本町一丁目　內外教育玩具小間物雜貨品卸商　織田東洋館　電話二六九八番

京城本町三丁目　林田金次郎　電話六五番

京城太平町二丁目　西崎源太郎　電話長七二七

京城本町四丁目一四〇　金融業　大和屋　電話二五一八番

京城南大門通五丁目　朝鮮土地經營株式會社　電話三三九番

京城府旭町二　吳服商　金子商店　電話一〇五番

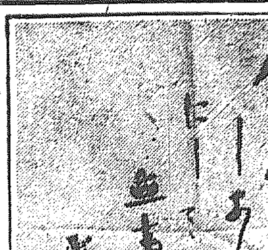
眼鏡寫眞器械卸商　美術サツク萬年ペン　京城南大門通五丁目　大學堂　店主　宮川太吉　電話長一九五八　振替京城一二九

各國時計、美術品　京城本町　田中時計商會　電話二五七番

京城明治町二丁目　辯護士　小川勝平　電話長四一番

和洋家具類　室内裝飾品　製造販賣　糸類一式　京城府本町三丁目　增田本店　電話長六〇九番　振替口座十六番

井上劍花坊氏試筆



新年懸賞文藝

情歌　編輯局選

惠方詣

一等【賞金三圓】京城吉野町一の六九　木村巴東
弓矢八幡國泰かれと惠方詣に祈る民
評　人心動搖の今日、祈るは眞に此の事。是國民の聲なり

二等【賞金二圓】京城警察官講習所　杉山生
惠方詣の願ひも知れて雪に優しい膝の跡
評　言外に情味溢る、優しい女の姿が浮んで來る

三等【賞金一圓】京城花園町六九　有賀花仙
添へば添たで飽れぬ樣と惠方詣に又祈る
評　云ひ廻しは巧みでないが、女性がはつきり出てゐる

選外佳作

京城　逃金寡亭
惠方詣しや今年は晴れて妻と云はるゝ名の嬉しさ
評　この奘、決して牛を賣り損はじ

平南順川　高光ときは
鴛羽與羽の重ね衣晴れて惠方詣での厚化粧
評　措辭は巧みであるが厚化粧が可厭味である

京城　有賀花仙
合す兩手に眞心こめて惠方詣でも裨ゆゑに

京城　中山一男
添うて初春惠方の戻り結うた丸髷なぶる東風
評　老巧

京城　神崎白樂天
嬉しいやら恥かしいやら連れ星戴きまずとまゝよ主と惠方に急ぎたい
評　熱情を要する

全南　渓羅
思ひ叶ふて惠方の宮にお禮心の二人づれ

京城　木村巴東
二人揃うて惠方の神へ去年の苦勞の禮心

京城　高野寶己
留守を賴りへ預けて隠いて惠方詣でも二人づれ

京城　有賀花仙
惠方詣も二人の巣籠過ぎた願ひの叶ふ今日

京城　逃金寡亭
末の末まで惠方の神に誓ふ嬉しさ遥かしさ

井邑　松本紅潮
惠方詣でに今年は晴れて御禮詣りに二人づれ

延安　初子
人に云はれぬ二人の仲を明けて惠方の神頼み

延安　研雨
惠方詣りは一人ですれど共に濱のないやうに

群山　ふく子
惠方詣での初結び島田主があるやらあらぬやら

京城　東海
思ひ叶うて持つ新世帶惠方詣りも二人づれ

京城　中山一男
ちよな世帶も樂しい惠方紋は比翼の番ひ鶴

京城　流東
惠方詣でのみ鐵も鳴し末は添うとの神の歌

京城　松尾苔州
苦勞仕とげて嬉しやけさは惠方詣の赤手柄

京城　神崎白樂天
惠方詣では觀音樣よ小船群れ來い豆をやる

仁川　島露子
心と心と打ち明け襲に拜む初日の惠方宮

京城　中村百姓
嬉し仁川惠方の宮に海はきらきら初日の出（御題）

東京　白井五百三
惠方詣での踊りに合はう見たい聞きたい話したい

館指柳　大黑鶴月
去年の恨みも今年の禮も添うて惠方に二人づれ

鐵山　果櫻
宵は初見の可愛い夢路惠方詣での若夫婦

全北　櫻原碧泉
惠方踊りの能手が輕い隔面はゝ惠む府の上

京畿道　野村節男
惠方詣でゝ今年の幸を神に願ひの二人づれ

京城　三村秋月
今年の惠方は亥の子の間坊の手を曳き神詣り

京城　江上清
惠方詣でがゑにしとなつて今ちや人目を忍ぶ仲

豚田　竹之爺愛花
今年や初探のしめの晴着寄せて目出度や宮詣り

龍山　鶴城
惠方詣りもわしや偶會ひ御樋廻りの海を見て

大田　啓謂
惠方どちらか故郷あなたまゐる氏神ない他國

京城　岸渓舟
結ぶ契りも嬉しく明けて共に惠方へ神詣で

義州　寒扇子
惠方詣での拍手さへも天下はれての音のよさ

平壤　門脇紫浪
苦勞した身の年期もあけて嬉し惠方詣での備姿

京城　小澤水陰
見せてやりたや邪魔した人に惠方の神詣で

仁川　甘坊
可愛い初子の行末祈る惠方詣でも一家中

惠方詣での方角さだめ勝縁る手に光る緋

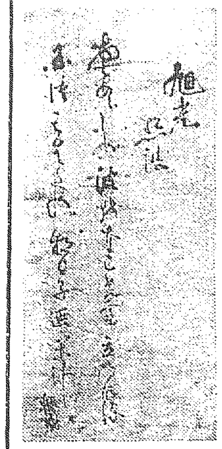
惠方詣りの社頭の杉にけさは嬉しい初がらす

願叶うたお禮を兼ねて惠方詣りを二人づれ

選後に

机上集る掛歌實に九百六十七首、且に於ては昨年より優れるも内容に於ては遠く及ばず選外佳作中三等に入るべきもの三首ありたるも終に「添へは添うたで」を取る、筆を加へたるはたゞとして調子のなだらかにしたるのみ妄評多罪

鮎貝房之進氏試筆



川柳

雙六　井上劍花坊選

一等（賞金五圓）函館蓬萊町四二　山村都登八
○雙六の仲間へ賴む啞の親

二等（賞金三圓）仁川府外里三三ノ七　長崎雪子
○美しく消て雙六に灯がともり

三等（賞金一圓）京城府仁義洞四八　下耶武彦
○何事か祈つて賽を輕く振り

佳作

○仁川　島露子　ハーチング萬國地圖に賽をふり
○仁川　紅短册　雙六の外は年始の下駄の音
○京城　石岡蝶々　賽の目を炬燵で笑ふ背い顔
○晋道　不知坊　双六の上り旭光照波なり
○平北龍川　稲田嘿氣郎　どの部屋も雙六へ寄るあでやかさ
○釜山　喜樂庵　六が出て上りのミカン通り越し
○仁川　田川富士香　お休みへ來て二人の目が笑ひ
○新義州　田島露晴　振出に離船をする華府會議
○仁川　迦牛　昨年の双六を持つ屑屋の子
○鳥致院　荒木吹竹　生醉の叔父へ雙六肱を張り
○函館　船井花童子　もう一度振れば上ると子を脅し
○仙鑑　小野寺俊郎　茶の間では雙六遊は論なり
○安州　松本木公子　お泊へ來て小便に立つて行き
○京城　寺田沈澱了　雙方で道中をする松葉杖
○開城　石崎貴禾　猿が來て總立になる離双六
○函館　田畑紫仙　一息で上る處を後退り
○京城　木谷青池　繪双六昔のまゝの日本橋
○京城　永田ゆたか　双六をする病弱の姉弟
○哈爾賓　大石麵牛　年の功でも双六の目は出でず
○不得止雙六をする店の者
○函館　能代黑ン坊　雙六を片手に乳を呑んで居る
○慶南河東　高橋糸瓜　鼻先の上りが取れぬもどかしさ
○函館　金野水營　別館と二人上らぬ繪雙六
○芙蓉　中村野螢　双六をかこつけにして今日逢ひ
○京城　松浦白根坊　雙六の上手舉校さつゝ下手
○濟州　加藤笠坊　双六に泊り合した筒井筒
○大連　木内機樂坊　双六の新婚旅行からかはれ
○仁川　甘坊　賽の目が屑屋に落ちて浮ばれず
○開城　峰の陽子　双六に雛妓と遊ぶ役者の子
○鎭南浦　大黑鶯目　雙六が先づ手始めと賦旗をし
○京城　神崎白樂天　賽の目に大の男のみじめなる
○京城　松永信　千松も双六だけは負けて居ず
○函館　落合洒落　雙六で滿鮮觀察して上り
○京城　中澤羅九洋　雙六の上りやつきと墨をすり
色男どうせ敗けだとさいを投げ

購買廣告

一、大豆　七千貫匁
一、大豆粕　六千七拾貫匁
右入札購買ス詳細ハ十二月二十二日ノ官報ニ在リ
平馬補充部雄基支部

謹告

實父東京に於て死亡の爲め旅行中に付年末年始缺禮仕り候
美座流石

賀正

大阪市西區立賣堀
日本一薬館
本舗主　塚田日郎

釜山府寶水町　高松熊五郎
大邱府京町　堺兼吉
仁川府花町　山本大中郎
元山府榮町　吉野吉次

釜山支局長　大邱支局長　仁川支局長　元山支局長

喪中ニ付年末歳首缺禮致候
大邱府　吉田英三郎

不健康ニ付年遺憾年賀ノ禮ヲ缺キ申候
黃海社　渡邊定一郎

●新春劈頭を飾る
中央館の映画
●誰れが何と言ふても
中央館の映画
●寫眞の鮮明と俳優の揃つた
中央館の映画
●日本と習性の酷似した伊太利劇は
中央館の映画
●活動俳優として記録を破る嵐璃徳や熊谷久保田中野の出演は
中央館の映画
●元旦劈頭より晝夜二回左の通り映寫致します。收容人員に限りあり何卒お早く御來舘希上候

鮮活直營
中央館
京城永樂町（商品陳列舘前）（電話三〇一四番）

舊劇　嵐璃徳一座最大努力
宇和島騒動（全五卷）

活劇　伊太利アルベチン社傑作
サンソネット（全五卷）

新派　久保田清中野信近合同撮影
鐘の音（全五卷）

日本三騒動の一　嵐璃德一座出演
○舊劇　宇和島騒動　全四卷
○新春興行新映畫提供　ボンペイ市の現状
伊太利アルベチン社作
○活劇　サレソネット　全四卷
○新派　鐘の音　全四卷
本町五丁目　浪花座
元旦より　大天一號　穆文慶一行
北京に於て大公使各位の御批評を得たる
入場料　特等一圓　一等一圓
黃金町　黃金舘
○エデイポロ主演　ララルシル　五卷
○喜劇　ヒ―ロー
○實寫　ユニヴァーサル映畫

演藝案内

松竹キネマ株式會社朝鮮特約店
櫻井町　電話八七三
大正舘
○寶寫　グランドキヤニヨン　大溪谷
○喜劇　クリスチ―　戰闘準備
大阪朝日新聞連載　破天荒の大好評
新派悲劇　女の力　全七卷
○空中の大活劇　航空百萬哩　全五卷
東京大歌舞伎大名題　澤村源之助出演
○大舊劇　辨天小僧　全六卷
正月十日迄晝夜二回あります

株式會社日活特約
京龍館
電話二一二番
新春特別大興行（三十一日より）
○マックセンネット映畫　浪者ジョ
新派悲劇　侠藝者　全五卷
日活向島派山本嘉一派連續大活劇　最後の勝利
日活京都派市川松之助大合同　大久保彦左衛門　全七卷

京城本町五丁目
喜樂舘
電話五九三番
十二月卅一日より
日活京都撮影所新作
尾上松之助大合同
深川庄八　全五卷
陸軍のパール　四卷
まごゝろ　全六卷

エルモ・リンカーン氏主演
無敵エルモ
空中の脅威
七卷

明治町
浪花館
電話二六〇
一月一日より
東京落語大一座

電話七八五番
壽館

電話五七八番
京城劇場
喜劇　蝶々會
東京歌劇協會一行
京城オペラハウス出演

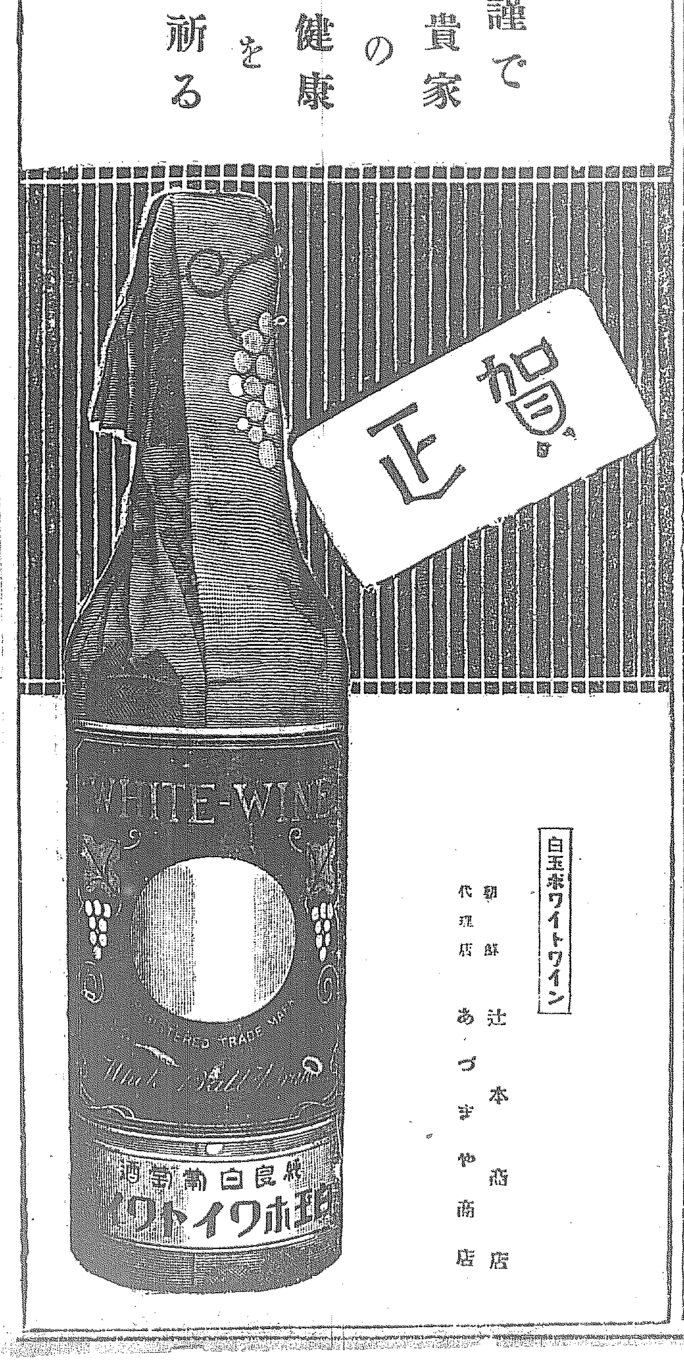
喪中ニ付年末年始缺禮
材木商　中野谷秀雄
京城黃金町三丁目　電話四二八番

謹賀新年
喜樂舘員一同
正月元旦

新年劈頭を飾る日活代表映畫
◎舊劇　高田又兵衛　五卷
◎活劇　ニコニコ餓えたる獅子　二卷
陸軍のパール　十三卷
新派悲劇　金色夜叉　六卷

賀正
大正舘
澤村源之助　外一
澤村源十郎　大一
片岡卯左衛門
舊劇　辨天小僧
空中の大活劇
航空百萬哩
新派悲劇　女の力
お正月のお遊びは
大正舘
に限ります
◎當る十八日迄晝夜開舘

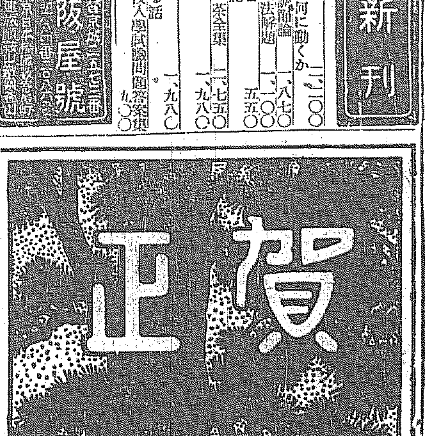
謹で貴家の健康を祈る



白玉ホワイトワイン
本舗　辻本商店
代理店　あづまや商店

賀正
菱印
窓硝子　曹達灰
東京市丸の内
旭硝子株式會社
工場
第一工場尼崎・第三工場鶴見・第五工場尼崎
第二工場戸畑・第四工場牧方・第四工場鶴見

最新刊
世界の經濟は如何に動くか　二、二〇〇
奥役貞　滿見訓譯論　一、八七〇
曉道文譯著　民法解題　一、〇〇
エリセーエフ著　赤露の人質日記　五五〇
勝峰晋風編　一茶全集　二、七五〇
岡本一平著　泣虫寺の夜話　一、九八〇
原田三夫著　子供に聞かせる話　一、九八〇
朝鮮各中等學校入學試驗問題答案集　九〇〇
京城　大阪屋號



廣告代理業
株式會社
萬年社
東京　大阪　京都

京城證券信託株式會社

謹賀新禧

朝鮮京城府本町四丁目一五
土木建築請負業 靜岡勝呂組京城支店
本店 靜岡縣庵原郡高部村 長電話二五四〇番
支店 靜岡市江川町 長電話八九一番

本支店出張所 東京、大阪、京城、奉天、天津、上海
京城南大門通二丁目
株式會社 大倉洋紙店 京城出張所 電話四九〇番

朝鮮殖產銀行

中券番
京城券番
新検番

内外興業株式會社
京城出張所
所長 内田洤
京城長谷川町 電話一八九番

朝鮮銀行

京城商事信託株式會社
京城永樂町二 電話七八四番

京城府南大門通二丁目
京城石油共同販賣組合
組合員
釘本藤次郎
梶原末太郎
共益社
前田統造
福田又京城支店
淺海助太郎
鬼頭千藏
鶴田綱太郎

高瀬合名會社京城支店

謹而迎春の御祝辭申上候
尚本年も御變らず
御贔負の程願上候
京城永樂町一丁目商品陳列館前
朝鮮活動寫眞株式會社
鮮滿直營 中央館 電話三〇一四番
◎新年勝頭を飾る映畫
一月元旦晝夜二回映寫
嵐璃德一座努力劇
宇和島騷動 全五卷
伊太利アルベチン社封切映畫
サンソネット 全五卷
(本映畫は忌憚なき御批評を乞ふ)
久保田中野一座撮影
鏡の晉 全五卷

小寺組
京城[illegible]源町二ノ一六
電話二七一九番

三井物產株式會社京城支店

東洋拓殖株式會社
京城支店

株式會社京城株式現物取引市場
附屬仲買人
(イロハ順)
井口陸造
犬島新作
方見圭煥
吉松岩吉
高津清太郎
中留孫市
權順承
有田長
金應龍
金潤秀
白井友之助
池田準太
新田耕市
川崎良太郎
田中友吉
塚野季三
古閑豐記
洪殷柱
櫻谷與三郎
三好喜六
南源兵衛

朝鮮郵船株式會社
本店 京城南大門通一丁目 電話一九五貳番 二一三一番
釜山支店 釜山佐藤町五番地 電話一八四番
元山出張所 元山海岸町壹丁目 電話一三八番
各寄港地に荷客取扱店又は代理店あり

農業開墾水利灌漑 不動產管理信託業
不二興業株式會社
朝鮮京城府黄金町一丁目

京城穀物信託株式會社
會計專用電話長八一五番 倉庫專用電話二五八一番

株式會社京城株式現物取引市場

撫順炭
南滿洲鐵道株式會社 商事部販賣課
京城出張所 京城黄金町一丁目 電話九七八、一七〇三
鞍山銑鐵
平壤出張所 平壤紅梅町 電話二六二 局内一五
京城出張所龍山貯炭場 龍山漢江通 電話龍山一〇三 局内一七八

サクラビール
營業種目
大豆、小麥、豆粕、麥粉、糖粉綿糸布、燐寸、セメント、石炭原鹽、再製鹽木材サクラビールサクラスタウト、ミヨシノサイダ、ダイヤ燒酎葉煙草、保險業、モータ變壓器、黑鉛、坩堝レール鐵材、金物、諸機關、諸機械、其他輸移出入賣買及仲立業
合名會社 鈴木商店京城支店
京城南大門通り二丁目
電話 一三四七番 一四三三番 一三九〇番 一二四番
受信略號(ケイジョウカネタツ) 發信略號(タツ)又ハ(タ)

株式會社常盤商會朝鮮營業所
京城元町一丁目百十二番地
貿易部
火災保險部
精米部
電話長七四三番 六〇九番

京城電氣株式會社

其二

改善すべき各地の施設

幾多の重大問題が横はつてゐる

仁川府尹　深川傳次郎氏談

【仁川】改善すべき仁川府の施設…斯うした問題を掲げて訪れた記者に對し仁川府尹は左の如く語つた。

府制運用の要諦

旅行して歸つて京城驛に降りると、之が自分の街であると云ふ感が起る。若し其街が立派で綺麗であつたら好い氣持ちがするに極つて居る。誰でも自分の家や庭園を奇麗にしたいとは人情で、假令其の住宅が理想的に建築を施されて居ても、一歩外に出づれば道路は泥濘市街は雜然たる不潔のものであつたら其の自分の生活の半を不快にするものである。市區の整然たるは恰も住宅の壯美なると同樣、公共的設備の完備せるは家庭內部の整頓など同樣で、此の見地よりすれば人の生活は內に家族的であると共に外に共同的事業を共にする即ち一都市は一家の延長であると云ひ得るのである。斯の如き見解を以て先づ市民に愛土心を培ひたい、愛土心の向上は軈て府政刷新都市改造の上に偉大なる効果を齎すものである。我輩は此の自分の家と云ふ觀念を擴大して自分の都市となし、都市即ち自家と云ふ徹底的觀念を一般市民に持つて貰ひたいと思ふ。之れ軈て府制運用の要諦であるまいか。

吾が仁川の將來

我輩の希望する所は一都市は自分の家屋の延長であるとの徹底的觀念である。此の觀念に立脚して將來の大仁川を建設しなければならぬ。將來の大仁川の實現に就ては解決すべき幾多の問題がある。仁川の生命は港である事勿論で、海を本として大仁川を建設せねばならぬ。築港は第一期の工事を終へて目下盛んに利用せられて居るが、既に又第二期の擴張に迫られて居る。吾々は如何にせば內外物資を最も安價に吞吐し得るかを研究せねばならぬ。此の問題の解決如何に依つて仁川にも工業が生れる譯だ。次には京仁間の距離の短縮である。現在京仁鐵路の複線も其の一であり、京仁軌道の敷設も其の一方法であるが、本問題は既に期成會も組織されて專ら之が達成に努めて居るので其將來に嘱望する。工業に就ては安き動力の供給を先決問題とするが、此點は朝鮮全土目下の處頗る遺憾の點がある。若し仁川の潮の干滿が共にホワイトコールの賜を齎すの時代が來るとすれば、仁川の爲には此上なき仕合せであるのは言ふ迄もない。一體に商工業は都市の實であり、完全なる公共設備は都市の花である。而して此花實倶に有る都市たる事が吾々市民の希望であるのである吾々は歲と共に改まつて此の大仁川の建設に邁進したいと思つて居る。

天惠の利と市民の努力に俟つ

馬山府尹　高津友保氏談

【馬山】始めて馬山に臨んだものは、鐵道工場を東に、裁判所を西に、馬山驛路に沿うて田畑連なり正に郊外の觀ある一地區に接して、新舊馬山を別個の地域と感ずるのであらう……恰も龍山と京城附近の空地を介して京城と龍山とのそれの如くに……

新舊馬山の連絡

それは種々の事情に依つて間隙を留保されてゐる鐵道用地である。即ち馬山としては此の一地區に中間連絡市街を建設しなければ都市的馬山府の完成は望まれない。其實現の暁には附近の新舊馬山の相違を減じ、互に理解し合うて協力一致する上に効を奏するに至り、土地の發展上資する處鮮からざるは言ふまでもない。此れ本府當住以來直に內情を具して當局に提出したる所以であるが、今や機運漸く熟し次年度豫算に計上の解決を見るべく信じ得る理由があることは、馬山官民の爲には一驚喜としなければならぬ。

都市計畫具體化

馬山都市計畫に就ては調査の目的の大綱を定め、市民の都市的觀念を涵養するを以て第一とする。次は技術經濟兩方面に亘り具體的研究を要するのである。而して此の具體案は今や漸く技術者側の採用を見るに至つてゐるから、此上は一氣呵成に年度內の事項を終了すると同時に、次年度以降の行事を豫定することが必要となつた所以、近く朝鮮都市計畫令の發布せらるべきを以て、大體はそれに準據し、地方的特色を加味したる根本方針を建て實行を期せんとしてゐる。

▲緊要な新施設　（イ）中央公園、部局的小公園等（ロ）市場、卸小賣雜貨、漁業、特殊陳列等（ハ）上水道、附防火設備（ニ）地方連絡道路附屬場（ホ）里洞交通路（ヘ）娛樂地（遊園）

▲市街の整理　（イ）舊馬山市街の大整理（ロ）新馬山市街の補修（ハ）下水（ニ）地方的官公署學校等の移設（ホ）海水浴場位置、保養地

▲埋立と諸施設　出願者施設以外船溜、公共荷役場、遊歩地帶等の設置

教育機關の中樞

更に教育方面に就て述べんに、氣候風土等の天惠を第一とし、土地の發展に伴ふ一般人士の努力に依り各種教育機關の中樞として馬山を生命づけるといふことは決して不當の要望でない。內地教育にありては高等女學校を設立されたけれども尚ほ完璧を期せんには幾多の施設を要する。幼稚園の設立も不必要でない。第二小學校の獨立も急務であらう。進んで中學校を設くることも決して僭望でない。更に學校組合設立開會の如きも馬山には最も關係深い事業である。[illegible]教育にありては、道立商業學校[illegible]は來年度に實現すべく、公立普通學校の大擴張も最も急務であり高等普通學校の位置として好適であることに就ても其學を大ならしめなければならぬ。其他師範學校、商船學校、水產學校、醫學校、諸般技術の傳習機關等土地に適應するもの夥しく、漸次に其實現を期すべく熱望する。

南朝鮮鐵道の實際施設、其他馬山發展の趨勢に應じて改善すべきものは多々あり、緩急按排して考究を要するものも亦尠くはないが、如上は此れを通ずる大眼目として動かすべからざる重要事項であると同時に其成否は市民の努力に俟つもの多きことを疑はない。

教育機關を是非充實せしめたい

元山府尹　石原留吉氏談

【元山】元山府には改善を要すべき施設は中々多いが、今年は何を措いても教育上の新施設に全力を注ぎたい考である。

高等女學校新築

第一は前年以來懸案となつてゐる高等女學校新築問題で、目下場所の選定中であるから遠からず確定を見るであらうが、豫算の都合上何うしても國庫の補助を仰がねばなるまいと思ふ。

第二小學の新設

次は高等小學校增築問題だが、現在の校舍は二十學級、生徒總數一千百名に達し、最早此上收容する事は不可能である。尤も元山里小學校は現在在學者五十二名で收容能力を有してゐるが、一般に新市街の小學校を假設し入學を希望する者年々漸增の傾向がある。ソコデ新舊市街接地點たる停車場附近に第二小學校を新設する事に決し、敷地を選定すると共に地主との交渉も圓滿に解決したから、今春匆々新築工事に着手する豫定である。竣成の上は新に教員を招聘し學校と聯絡して教育上の刷新を圖りたいと思つてゐる。

海岡　金圭鎮氏試筆

商業校新築計畫

次は鮮人教育機關として唱道されてゐる公立商業學校の新築問題である是は昨年中府民の寄附金六千圓を以て東拓の現事務所を買收し目下修繕工事中であるが、其外設備經費一萬三千圓を要するので、之は府にて過半を負擔し、殘額は德源、安邊、高原、文川の四郡で引受、其一部分は既に纏まつてゐる。斯て完成の上は一府四郡から咸鏡南道へ寄附し道では同校經常費年額約二萬圓を地方費から支出する筈であるが生徒募集數は百五十名で普通學校六年卒業程度のものを入學せしむる事となつてゐる

普通校々舍起工

又元山里の普通學校も現在では入學希望者全部を收容するを得ず二部教授を行つてゐる狀態であるが、之では到底完全な教育を施す事が出來ぬと云ふ市民の自覺から有志者の奮起を見るに至り、最近敷地とすべき時價一萬五千圓の土地を中流階級以上の鮮人のみで寄附する事となつた。時節柄眞に稱賛すべき美擧と云はねばならぬ。ソコデ之を基本として更に五千圓以上の土地を買收し本年度內に於て校舍の起工に取掛る豫定であるが、之は大部分起債に俟つ外は無いと思ふ。

全力を傾注する

兎に角本年は萬難を排して教育上の新施設に全力を傾注する積りである其他一般施設としては海水浴場問題住宅問題等あり兎に角今年は元山として多事多忙の歲と云はねばならぬ

解決を要する當面の問題

咸興郡守　佐野林太郎氏談

【咸興】咸興に於て將來改善を要する事は幾多あることゝ思ふが、先づ當面の問題として研究されつゝあるのは茲に述べんとする四五の問題である。

市街道路の整理

第一市街道路の整理である之は新設をも含んだ問題であるが、要は舊市街地道路の內二三の整理を爲すことゝ、新市街地の道路を既定の計畫に基いて新設するの急務であることである。道路が咸興市街發展の先驅であることは申す迄もなきことであるから、成るべく速かに實現せむことを祈て居る次第である。

整理すべき市場

第二は現在の常設市場及定期開市場の整理である、之も既に問題となつて居るのであるが、財政や其他種々の關係から斷行出來兼ねて居るのである然し何れ遠からざる內には部分的になりとも實現することゝあるべしと信じて居る。

舊市街防水工事

第三は舊市街地に對する防水の工事である、城川江の氾濫は何時も其の逆流は土地低き舊市街に犯入するのであるが、其の被害は一般が激甚を受ける丈けに大きい、堤防は昨年約一萬圓の寄附に依つて大部分の修築は加へたが尚不完全の部分がある。本年之れに七千五百圓の工費を要するとのことである。之も節を擴いで解決したいと思ふて居る。又逆流の方は目下の儘雨季になれば古砂を準備して鐵道線下の通路の樋門五箇所を梗塞することに爲して居るが、之も何れ本材設備にせねばならぬと思ふて居る。

污水排除の施設

第四は污水の排除方法であるが、之は城川江の河床の高き爲め單に溝渠の流速位では目的が達せられぬ何等かの排水設備が必要である、之も問題として研究はせられて居るのである。

要するに數へ來らば幾分あることゝ思ふが我大咸興の建設に關しては官民一致其衝に當るは勿論のことであると共に、又々多少の犧牲を拂ふことはお互に覺悟せねばならぬ。

先づ基礎的施設を必要とする

春川郡守　渡邊清足氏談

【春川】春川は江原道の首腦地であつて、背後に林產、農產、水產鑛產等の資源を擁し、而も北漢江の流域を利用して水力電氣に依り優に一千馬力以上の水力電氣を得るは容易である。

京春輕鐵布設說

近時高唱せらるゝ京春輕鐵布設實現の暁に於ては、必ずや運輸、精米、製絲、製材等の事業は勃興することであるから、之に對する施設は豫め計畫すべきである。街は目下進行中なる住宅經營と共に市街の發展に順應すべき都市計畫の確立を要することは言を俟たざるところである。斯くて人口の增加に伴ひ、保健上必要なる水道並に下水溝の設備及道路は最も急を要するものがある

其他社會的施設

此外共同浴場、行路病者救護所、公設質屋、公會堂、倶樂部（圖書館附設）公園の施設及び共同墓地の整理等枚擧に遑ない狀態である。吾々は之等春川の發展を成す基礎的施設に努力し、和衷協力し以て之が速成に盡力せねばならぬ。

大都市の建設に對する覺悟

大田郡守　伊關重俊氏談

【大田】大田は蘆草の地より起り、鐵路の開通と共に市街を展開し來り市勢發展の急激なるは半島稀に見る處である。今や人口七千五百を算し目下計畫中にある面行政區域の擴張が實行せらるれば優に一萬を包容する都市となるのである。是丈けの都會を作り上る爲に既往十年間公共に盡力せられたる幾多先輩に對し市民は深甚なる感謝の意を表せねばならぬと思ふ。大田は新進の都會である從つて色々施設し又は改善を要すべき事柄が尠くないが、其の重要な問題を掲げて見るとざつと斯樣な次第である。

急要な河川改修

市街を縱貫するに大田川あり。東西より細流之に注いで居る。一朝豪雨となれば氾濫又橫溢全市を浸し慘害を狀すべからざるものがある。居住者の安定を圖る事は尤も急務であつて之が改修の計畫中であるが是非一日も早く完成せしめたい。

都市計畫の樹立

現在の主要市街は概して大田川の右岸に在るしかし既に家屋櫛比して土地に餘裕がないので、中學校高等女學校地方法院監獄の如き孰れも左岸の適地を占めて居る。將來市街の中心は此の方面に在るべき事は殆ど疑を容れぬのである。故に今日に於て新市街を包容する大都市の計畫を樹立する事必要であつて既存より區畫の整理を得て而て地區の實測中である。何れ都市計畫が出來上る頃には都市計畫委員など云ふ機關も設けられるであらう。而して道路や上水公園等の問題も具體化する事と思はる。

工業と動力問題

地位及交通の狀況に鑑みれば將來大田は工業地として發展するの外なき見當である。從つて低廉なる動力を得るは市民の希望する處なるが、幸ひに鐵里を隔つる錦江上流に發電に適すべき地點あり。東拓及土地の有志にて計畫大に進捗したれば遠からず實現を見るべき形勢にあるは喜ばしい。

公會堂が欲しい

大田に設置に決せられた慈惠病院は敷地の寄附を要する爲め今や面に於て鋭意取纏め中である。出獄人保護を目的とする行路病者救護所として經營の認可されてゐる。又最近驛[illegible]所が出來た。茲に一つ遺憾に思ふは公會堂のない事で、今や人口一萬を有せんとする都會としては是非公會堂が欲しい。此他醫院官舍の問題あり總督府に融資資金の交渉中である。大體左樣な次第であつて計畫に屬する事柄が全部出來上がつたならば大田は恐らく面目を一新し、茲に南鮮に於ける一大都市を出現する譯である。

大田市民に望む

之等の實現に對しては總督府や道廳のお世話になる事柄より多いのであるが、先づ第一として大田市民の奮鬪努力に待たねばならぬ。而して將來の大田を建設すると云ふ大目的の前には市民は宜しく區々の感情を去り熱烈なる奉仕の觀念を以て渾然融合して進まねばならぬと思ふのである云々。

旭光照波

木浦府尹　曾我章四郎

旭光照波！何と云ふ雄大な觀照であらう。私は太平洋上に於ける大日本帝國の地位から見て、そこに言ひ知れぬ愉快な感に打たるゝばかりでなく、自分が假に木浦に在つて大正十一年の初日の光りが、麟々として木浦港の千波萬波を照らす光景を眼前に描いて、光明ある木浦の前途を祝福せずにはゐられない。後に湖南の沃野を控へ、前に多島の海を擁する木浦は、山の幸海の幸いづれも豐富であるが、現在の木浦としては先づ此の多島海を根據とする經濟的發展を圖るのが急務ではあるまいか、即ち木浦港は其擁擁する島嶼の經濟的中心となり、水陸產物の集散地となり、物資の供給地となりコヽカラ內地海外へ歩足を伸ばすべきである。

新春第一日、旭光波を照らす木浦港頭に立つて、自分は益々此感を深ふする。

川柳

犬　　[illegible]三浦　黎平樂

道府會議犬と猿とが喧を張り
人間の居ぬ通れば犬が吠え
膝枕貸すは旦那と犬ばかり
角兵衞獅子犬に遠慮をして通り
ブルドック玄關番の姿勢也
犬が先づ吠えて格子のベルが鳴り
貧民窟犬でないので悲慘也
裏店の家族は犬と寢ばかり

謹賀新年

仁川海岸町二丁目　杉野榮八　電話二〇二番

仁川濱町（赤門）　料亭　菊茂登　電話四一四番

精米機械、諸機械、同附屬品其他雜品一式　鑛物各種　京仁鐵工所　電話三八番

仁川府宮町三十三番地　合資會社　吉田精米所　電話長三一七番　電略ヨシ　電話四五二番

仁川濱町　朝鮮精米株式會社　仁川支店　電話九二五番

仁川濱町　協同組　電話八二〇番

道評議員　丁致國　仁川府內里

仁川仲町二丁目　御料理仕出し　食道樂支店　電話一三四番

朝鮮仁川驛前　增井運送支店　電話長五三九番　二三〇番　振替京城二〇七九〇番

京城地方法院仁川支廳　判事　多田吉彌

仁川濱町　旭屋旅館　電話二五一番

仁川　加來榮太郎

仁川本町　八浪石炭店　電話八〇五番

仁川山根町　鏡味酒造場　電話七二二番

仁川宮町　家具裝飾物商　吉田仁右衛門商店　電話取次一二三番

富川郡廳　徐廷岳　原田寅三郎　關口武者太

新町　新瓢　田又平館　電話四二〇番

仁川警察署長　小牟田十太郎

仁川花町　朝日工產株式會社　電話九二番

仁川新町　御料理　奴亭本店　電話三三〇番

仁川濱町　高等旅館　仁川旅館　電話四三五番

仁川宮町　舶來雜貨　明治屋　電話六二四番

遞信局仁川海事出張所長　田中友太郎

仁川各宗寺院

仁川山手町　食道樂別莊　電話六番

仁川宮町　上田文次郎　電話七九番

仁川山手町　能治齒科醫院　電話三五〇番

仁川支那町　仁川水產株式會社　電話長二八六番

仁川仲町　料亭　淺岡　電話五三番

仁川水道事務所　職員一同

仁川本町二　海陸運送　合資會社　足立組　電話九一五番

仁川府尹　深川傳次郎

仁川濱町　仁川造船所　工學士　緒方久

仁川本町一丁目　回漕業　運送業　福島組　大平友吉　電話五三三番

仁川本町　安藤勝吉

仁川仲町　銃砲火藥　共榮社　電話長七五番

仁川府內里　鮮人向雜貨　赤松吉藏商店　電話長七六六番

仁川宮町　米穀肥料商　橋本禎二商店　電話長三五八番

仁川海岸町三　不二商業株式會社　仁川支店　電話長六五二番　一〇〇六番

仁川海岸町二丁目　庄野支店　山本八十次

仁川海岸町　海運業　石炭代理業　保險　合資會社　二美商店　電話六六番

仁川港町　內國通運株式會社　仁川支店　電話長三八番

仁川本町　合資會社　貸金　時計商　糸岐商店　電話三七〇番

仁川本町　鮮人向雜貨卸　井上藤吉商店　電話長八六番　長六三番

仁川本町　平山松太郎

仁川新町　松函石油組一同　電話七一五番

仁川山手町　料亭　銀水　電話一二三番

仁川仲町四丁目　別府組倶樂部　電話六六〇番

仁川精米業組合

仁川商業會議所副會頭　永見京造　電話八〇八番　仁川山手町二

仁川海岸町二丁目　玄米大豆雜穀　門畑商店　電話五二三番

內里二百九番　精米　門畑精米部　電話一六三番

日本醬油會社特約　キリンビール特約　銘酒一鶴發賣元　本莊酒店　仁川京町一丁目　電話二六番

仁川港町　深川汽船株式會社　仁川出張所　電話長七一六番

特許インキ　合資會社　川崎商店　（發賣所　仁川　京城）

仁川穀物協會　電話三三一番

仁川濱町　力武精米所　電話長七〇二番　四四〇番

仁川酒造業組合（いろは順）　吉田酒造場　鏡味酒造場　上城酒造場　吉崎酒造場……宮崎酒造場　深見酒造場　山崎酒造場　[illegible]酒造場　[illegible]酒造場

仁川松坂町　日本醬油株式會社　電話七五一番

仁川山手町　府立仁川病院　電話　事務用一六番　病室用一〇四番

仁川松坂町　京城電氣株式會社　仁川支店

仁川本町　仁川煙草元賣捌組合

仁川米豆取引所仲買人　廣澤正次郎　電話六〇、七〇一、六〇番　電略（〇〇）又（〇〇）

米穀肥料委託賣買　廣澤正次郎　仁川宮町三丁目　電話長三〇七番

仁川本町　朝鮮信託株式會社

婦人ページ

初日の光に照し出された 在鮮婦人の試金石

愛國婦人會朝鮮本部の新事業

愛婦朝鮮本部長 水野政務總監夫人の談

内には和氣藹々たる團欒の春を迎へ外には又愛婦の新事業を實現し期とふ輝かしい年を迎へられた水野總監夫人は滿面に此の喜色をたゝへて頭に晴々しい流石に口調で其の抱負を斯う語られました

殊に此の大正十一年は私に取つて特て見ない程の大きな希望に滿ちた年であります、尤も昨年に致しましても總裁宮殿下の御臨臺と總督總監閣下の努力によりまして第四回の總會や下田會長一行の御來鮮など可なり多事な年でありました、そして皆様のお骨折りあつただけに朝鮮愛婦の名は大分發揚され、又これと同時に此の後の會の行動については朝鮮のみならず、内地に於ても大いに注目されてゐる有様であります從つて愛婦の一事業として今春開設の豫定であります處の幼稚園こそは一面に於て非常に興味深い者でありますと共に私共婦人の力が本當に試さるゝのでありますから、その成否の影響する處は非常に大きいものであらうと思ひます、宜しければ一つの模範となつて愛婦は益々盛になる譯でありますから私は此大正十一年と云ふ年に多くの期待をもつて居りますと共に又大きな責任を感じて居るのであります、どうか此の事業が皆様の昨年に倍した御努力によつて立派に成功し眞に在鮮婦人の使命を恥かしむる事のない様に……と唯そればかりを新年の劈頭に於て念じて居る次第であります

朝鮮に於ける女子教育に就て 特に感じた事

二校長の意見

高等科の設置が必要

京城高等女學校長 坪内孝氏

内地の女子教育の状態を見ますと近時一般に女學生の向學心が勃興して居ることは非常なものであります、これは一般の婦女子が時代に覺醒したと同時に、女學生も賢母良妻といふ意味を理解し、時代に適應した婦人として他日社會に立つて行きたいといふ自覺から來たものと存じます。翻つて朝鮮、と申しまして其の一部分である京城の女學生はどうかと申しますと、内地殊に東京の影響を受ることに最も早い京城の地に居る女學生も、矢張り内地と同じやうな傾向を持つて居りまして、近時の女學生に向學心の振興された事は内地に比して遜色はないかと存じます。

から云ふ状態でありますから、内地では或は四年程度の女學校を五年に延長するとか、或は専攻科、高等科を設置して時代の要求に應じて居るやうであります、で六大都市あたりでは大概五年制度として更に二年の専攻科、又は高等科を設置して居りますが、専攻科又は高等科を設置しない都市でも五年に延長して居る處が多いのであります。本年度に高等科を設置して居りますのは、東京、京都、仙臺ですが、十二年度には大阪では専攻科を高等科に改める學校が二つあります、その他長野とか福岡などにも高等科が設けられると云ふことです、かういふ工合ですから朝鮮でも一日も早くこれらの設備が必要ではないかと存じます。それならば京城の女子教育では五年延長がよいか、専攻科を置いたがよいか、又は高等科にすべきかと申ますと、京城の現今から見まして、女學校は四年として置きまして、その上に三年の高等科を一學級設けまして、生徒は全鮮から募集することが適當ではないかと思ひます。學科は一學年では内地の五年程度のものを課し、二年以上になりまして、眞の高等科の性質を持たせてはと思ひます。二年以上の生徒の數が多少ピラミッド式になりはすまいかと云ふ憂ひもありますが、それは大した問題ではあるまいと存じます。更に角現今のやうに向學心の旺盛な時代に、高等科か少くとも専攻科の設置は焦眉の急務ではなからうかと存じます。

急務は普及を圖る事

女子高等普通學校長 長田富作氏

私は朝鮮婦人の文化の程度が社會の文化の水平線に比して著しく差のあると云ふ事が現在の女子教育上最も緊要な問題であらうと思ひます此事は既に世の識者の夙く認めて居る處でありますが然らば如何にして之を接近させるか、私は先づ此の文化と云ふものを『共覺』と『共値』の二方面から觀察して其後に於ては『女子教育の普及』を主眼とせねばならぬと思ふ、今日の朝鮮の教育方針に對して非難を下す士も女子教育の普及が婦人文化の水平線を昂めると云ふ一語に對しては何人も否定する事は出來ないでせう。腐敗な婦人文化の向上は一個人の文化に萌芽し家庭にあつては主婦の教養の有無が家庭文化の興廢に與つて力ある事は言を俟たない又其智の方面も如何様とも考へられるが私は其中『趣味の生活』を呼ぶものである、婦人の趣味の生活は個性の向上に伴ひ家庭より社會の全婦人の向上を促す所以であつて個性の趣味の擴張によつて個性の『生く可き世界』はどの様にでも開拓せられるものである、たとへば色は普通七色とせられてあるが畫家は更に多くの色を見科學の力は是を百六十種に別ち其明暗の差は六百六十に分け得られる如く藝術家は人爲で開く樂器の外に萬籟の運動に伴ふリズムを大自然が奏でる音樂だと云ふ趣味の向上せる者は其一生を高尚に終る事が出來るのである、又趣味を精神界に求めんか物質界に死んで唯神論に當て初めて最も有意義であるも他の精神界の光明を認め得る如く、故に私は女子教育の普及は個性の趣味を涵養し其量の多く高い見地から現在の朝鮮女子教育を一日も早く隆盛の方へ進めて普及せしめると云ふ事が焦眉の急務であると思ふのです

新年の齋藤總督邸

(中央)總督(右)春子夫人(左)令嗣齋氏

この寫眞は去年の正月元日記念の爲め撮影されたものです、尚本欄には春子夫人の談話を掲載する筈でしたが生憎丁度御東上中だつたので其の意を得なかつたのは殘念でした

内地を知らぬ 在鮮の女學生

大阪高等女學校で最近調査した處によると全校三百五十名の中で内地で生れた者は二百六十一名朝鮮で生れた者は八十九名で更に内地を知らない者が百名もある此處に朝鮮の教育者は今後を換へて云へば國民性の涵養には特別の考慮を要する所だと同校長の話

家庭婦人の使命

物價騰貴に處する途

山田わか

家庭婦人は新國民を生み育て學校へ送る準備をし夫の心身の更新を計る仕事の外に消費者として及び使用價値の創造として産業界を支配しなければならないものです、夫が交換價値の創造者であり妻は使用價値の創造者であるのです、處で唯物主義に傾き過ぎてゐる現代は直接金錢に換算することの出來ない家庭婦人の使用價値を無視して直接金錢に換算出來る交換價値を誇張してゐます。けれども、實は婦人が家庭内に於て創造する使用價値が實際の價値であるのです

『家庭を捨てよ、家庭の繼續から脱することが婦人の開放である』と宣言する女權主義は人類を不幸のどん底に突き落さうとする俗惡な個人主義、乃至、唯物主義の化身であります。

消費者としての家庭婦人は家族の健康のために、毎日臺所へ取り入れられる食料品の品質を吟味しなければなりません。正當な價格を承知してゐなければなりません殊に物價の高い此節收入が充分でない場合などには最少限度の費用で最大限度の滋養分を家族のものに與へる工夫をしなければなりませんですから。一家を不都合なく切りもりすることは男子が大規模の商業商工業に於て手腕を要するのと同じ手腕を要するのです、もし又收入の多い家庭の主婦であつても一定の原料をもつて最善の結果を現はす工夫が必要です、衣服に於ても實質に於ても被服に付ても先づ普通の家庭の主婦は原料に對する智

とをピタリ止めるのですさうすると織物商は商賣をせずには居られないのですからいやでも應でも主婦達が滿足する程度に値節を下げずには居りません『肉が高い』と云ふ聲が擧がつたなら肉を買ふことを止めるのです肉屋は困るから、値を下げずには居られません

けれども、共通の利益と云ふ處を見得ない我が國の多くの家庭婦人は他人の家庭の状態などを顧みやうとはせず自分には金があるのでどんなに高くても苦痛を感じない處から、どんなに高くなつても平氣で買ひます。ですから婦人の經濟は一面から云ふと共通の共同生活に對する自覺のない氣持ちが許して居るのであります、そして。收入のとぼしい一般家庭を苦しめて居るのです

婦人の自覺と云ふことは婦人の生活として當然である處の此の家庭生活の位置を、人類的に國家的に社會的に解放とは家庭の仕事を捨てに除つて苦しまぎれに家庭の仕事よりも一層苦しい屋外勞働に賃銀と云ふ絆に繋がれるのでなく家庭内の仕事を易々と仕終せる能力手腕を造ると同時に收支を相償はせる手腕を養ひ自分の家庭を根據として家庭に及ぼす政治界産業界の變動にも絶へず心を配つて、文字通りの家庭の女王になることであります

お正月の室内遊戯

新しい考案

お正月のお閑みにもと新しい室内遊戯を御紹介いたします歌留多のあとなどでやつて御覽なさい

文句合せ

是は天狗俳諧に似た言葉の組合はせの可笑しみを遊戯にしたもので先づ五人なり十人なり其席に居合はせた者の各自に三枚づゝの紙札を渡しますと、受取つた人は各自第一の札に『武田が』とか『山田が』『花子が』といつた具合に自分の名前を書いてそれを自分の席の前へ出して一まとめとして置き第二の札には『御座敷で』とか『はゞかりで』とか『屋根裏で』といふ風に場所を書き第三の札には『喧嘩した』とか『結婚した』とか『火傷した』とか云つた風に何か奇拔な事を書いて凡て別々に一まとめにして置いて其内の三人を讀み手として名前、場所、行爲の順で讀み上げて行くと『誰々が屋根裏で結婚した』といふ樣な思ひ掛けない組合はせが出來て讀み上げられた人が恥しがつて赤くなる處に云ひ知れぬ面白味があるので罪のない遊びです

茶椀廻し

是も皆んな車座に並んで各自の前に湯吞茶椀を一つ宛伏せて置き其幾つかの茶椀の中の一つのいとぞこを墨で黒く塗つて置き凡て上向けにして鬼の合圖をキッカケに皆な歌を唄つて次に廻れて順次茶椀を右隣の人に廻して行きます其時の歌は『廻よ〳〵』でも『ポンポン』でも宜しい、鬼よく〳〵ポン!と歌の一句毎に手を一つ拍つて下の茶椀を取りあげて隣の前に移していく〳〵廻して居ると頃合ひを見計つて鬼が『止れ』と號令をかけます、其時け皆と同時に一同自分の握つた茶椀を自分の前にポンと伏せます、其時に自分の前に黒い底の茶椀が伏せられてあれば其人が鬼をやるか罰をしほられる仕組で時に依つてはこんな遊びが一層賑々しくなるもの『毛が生えた』などの言葉を入れるかと句の終ひに『禿頭』とです例へば『もし〳〵亀よ亀さん』で『ピヨン〳〵禿頭』といつた具合で子供などはことに喜びつけた歌を滅茶〳〵にしてしまふとを喜ぶものです

珍妙な狆の顔

▲狆が嬌した顏と云ふ事を云ひますが、狆の顏は成るたけ丸く、鼻は低くて凹んでゐて頭が短く、眼玉は大きくてパッチリとした、體は最も小形で、毛の長いものほど上等なのです。

▲日本特有の愛玩動物で、支那の狆を改良したものです、色は黒白茶のブチで、その斑の工合は時々の流行で變ります

▲現今では歐米の婦人間に持て囃されて年々日本から十萬匹近くも輸出されます、名古屋を最も優等とし續いて京都岡山などの産も海外に知られて居ります(寫眞は鮎貝房之進氏の愛狆)

健康第一

顔は其次

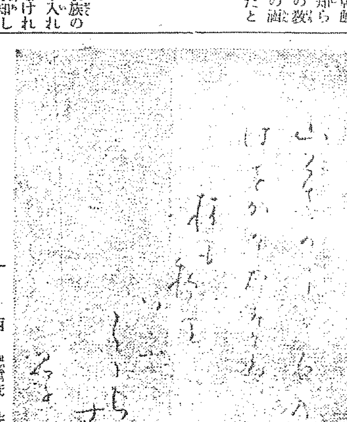
『貴方達は結婚なさいますか、それとも財産ある人を選びますか、又は身體の丈夫な人を選びますか』教室に集まつた若い學生に對し紐育大學の社會學教授ピンダー博士は恁うした奇拔な質問を發しました美容か、財産か、健康かと此三大問題は同大學の男女を非常に惱ました結局集まつた答案を見ますと、女學生の分は夫の健康を第一とするもの四十八人美容を第一とするもの十五人、財産を第一とするもの十二人、男學生の分は妻の健康を第一とするもの七十九人美容を第一とするもの廿六人で即ち男女共に健康を第一とするものが一番多くありましたが男學生に於ては美容を第一とするものが健康第一と同數に近いのが面白いと思ひます、女學生の答案中には『美人は何處に於ても歡迎されざる處なし』とゲーテの言葉を引用したり又は健康な人は働けるのが財産で又『美容である』ですか、何故ならば健康でない人の美容は皮膚だけの淺薄なものですから』とエマーソンの喜びさうな事を書いたものもありました

○東京市内及び隣接町村に於ける寄宿工女は一日の食費三十錢限一人一ヶ年の割合である(東京市社會局調査)

新年雑題

與謝野晶子女史

…識揺りでなく、無駄のないやうに工夫し、古いものも繕つて利用しやうとする熟練と忍耐は内か外で稼ぐにも決して劣るものではありません。一家庭の消費は主婦の手のうちにあるのであり、各家庭の主婦の手のうちにあるのでありますから、一國の消費は先づ家庭婦人の手のうちにあると云つて差支へないものです、ですから家庭婦人が自己の位置を自覺するならば彼女達が産業界を支配するのは易々たる仕事であるのです。綿物が馬鹿に高い、綿物商が暴利を貪つてゐると云ふ事實があがつたならば各家庭の主婦が綿物を買ふこ



舌判断

西洋人の迷信

西洋人は舌の形や働きによつて此人がドンな性質の人であるとか如何なる運命を持つ人とかを判斷してゐますが決して誤るやうなことはないと申します御參考までに左に記しておきますから試して御覽なさいお正月のよいお慰みです

長舌の人は快活然も勇氣に富む▲短舌の人は内氣にして僞善の性を有す▲廣舌の人は多辯▲狹舌の人は利己主義若くは排他主義▲長廣舌の人は物事に倦み易く大事を成さず▲短廣舌の人は虚言を弄し大言壯語を好む

謹賀新年

株式會社 仁川米豆取引所仲買人組合

イ 仲買店 電話長三三七番三六八番
ト 仲買店 電話長三六七番三六九番
マ 仲買店 電話長七〇番六五番
囙 仲買店 電話長九〇五番長四四番九〇〇番
否 仲買店 電話長九二六番二〇三番
太 仲買店 電話長二二〇番長四〇四番
う 仲買店 電話長六一五番六三二番
福 仲買店 電話長一五八番一五九番七二〇番
カ 仲買店 電話長三三五番二四五番長六九番
仝 仲買店 電話長三二四番二四九番
糸 仲買店 電話長三三五番長二六四番
川 仲買店 電話長一四一番長六五〇番三五三番
㋕ 仲買店 電話長一七番長三七五番一八一番
吉 仲買店 電話長八三番長八五番
ヨ 仲買店 電話長九〇二番長九〇三番七五六番
㊀ 仲買店 電話長三三一番七六三番
北 仲買店 電話長三一八番三六六番
名 仲買店 電話長五五九番長一三七番
㊂ 仲買店 電話長六三〇番長六二八番
〇 仲買店 電話長三九番
一 仲買店 電話長一〇〇番長二九番
ノ 仲買店 電話長九一二番長三〇九番
容 仲買店 電話長四二一番五二一番
合 仲買店 電話長六〇二番五三六番
金 仲買店 電話三三七番
ト 仲買店 電話一四五番
い 仲買店 電話八五六番

仁川本町一丁目 朝鮮銀行仁川支店 電話(三一二番)
仁川本町四丁目 朝鮮殖産銀行仁川支店 電話(六二四番九〇番)
仁川本町二丁目 百三十銀行仁川支店 電話(一五〇八番)
仁川本町二丁目 十八銀行仁川支店 電話(九四一八番)
仁川本町三丁目 朝鮮商業銀行仁川支店 電話(四九八番)
仁川海岸町 朝鮮實業銀行仁川支店 電話(三二二番)

仁川運送業組合(イロハ順)
一心組運送店
原田運送店
川井田運送店
華興公司
大和組運送店
福島組運送店
後藤組運送店
手島運送店
共信商會運送店
宮成運送店
三榮組運送店
瑞興運輸組
順發公司

仁川醫師會

株式會社 仁川米豆取引所
仁川海岸町 電話一四番 一八三番

仁川船具金物商組合(いろは順)
仁川本町 徳本商店 (電話二七番)
仁川海岸町 加來榮太郎商店 (電話七番)
仁川本町 村谷吉藏商店 (電話五六番)
仁川本町 村谷勘一商店 (電話一二〇番)
仁川新町 美濃谷榮次郎 (電話一一六番)
仁川本町 白神洋行 (電話一一八番)

仁川回漕業組合(イロハ順)
堀回漕部 電話長一〇番
高杉回漕部 電話長五九一番二〇九番
浦崎回漕部 電話長一〇五〇 七三〇八
野口商會 電話長一七三番二四番
野村商會 電話長八四
慶田組荷捌部 電話七二
協同組
木村組 電話長五二番八二〇 電話三一

水野政務總監の家庭

（右より）萬壽子夫人、三女康子さん（十三）、水野總監、三男亮さん（六）、長男政直さん（十七）、長女萬龜子さん（十七）です

（一）はね子孃が賑宴會に行くと云ふので、盛んにお化粧をして居ます。

（二）べた〳〵とお白粉をつけたので、顔が眞白になりました。

（三）『まあ綺麗になつたわ』と一生懸命、自分で自分の顔に見惚れて居ると

（四）何んだか顔がムヅ〳〵して來ました。……

（五）『オヤ變だわ』と思つてゐる中に、顔がだん〳〵大きくなつて

（六）トウ〳〵立派な達磨になりました。

（七）そこへ鼠が澤山出て來て頭を囓つたので思はず『キヤッ』と叫んだら

（八）それは夢でした、これがはね子孃の初夢……。

金鈴のひゞき
新らしい心の底に湧き出た奥樣方の希望や感想

新らしい年を迎へて新しい心の底に湧き出づる奥樣方の希望感想と云つたやうなものを伺つて見ましたゆたかにさし昇る初日の影に祝福せられて、愉快に充ち滿ちた奥樣方のお言葉は丁度燦たる金鈴の響の波打するがの〳〵しい響のやうなものでした。尚この外にもあらゆる階級の奥樣方を網羅する筈でしたけれど、折角お訪ねしてもお留守だつたり、或は又お差支があつたりして、當初の計劃に齟齬を來しました事は甚だ遺憾に堪えませぬ。配列はイロハ順によりました。

輝かしい總監邸の新年
三ケ日は本膳でお祝ひ

大和町の水野政務總監邸では今年三度目の春を迎へられましたが、獨關東都に御遊學中の萬龜子さん、政直さん、康子さんの二令孃一令息がわざ〳〵年迎への爲めとて冬期休暇を利用して來城されましたので、愈、ある限りのお子樣は此の一家に打集はれそれこそ、本當に一家團欒の歡びの膨滿つる中に輝かしい樣な新年を迎へられました。

邸内新年の模樣の大要を伺ふと、兎角斯うした俗禮は年と共に段々變つて來るのが常ですが總監邸ではお子樣方の教育徳上和の美風を涵養する爲に能ふ限り家に傳統してる風習は略さない樣に、すべて家風に準じて取り行はるゝ方針で、先づ三日間の膳部は出來るだけを略にして内容は矢張り正式の本膳だけのものを取られてゐます、ですから假令お正月に御旅行なさいますやうな事があつても元旦の祝ひの膳だけはすべて一家打揃つて頂かれる事になつて居ます。

新年の遊び事にはお子樣の爲めに羽子つき、トランプ其他は又遊戯歌留多も催される樣子ですが官の歌留多で夜を更かす事や又謡歌留多會などは衛生上、風俗上から絶對に避けられてゐるさうです。

懐しい江戸情調
法務局長夫人　千代子の君

平素が極めて舊式思想の方ですのに、主人が又至つて家庭本位の人で、何時も夜になると子供の對手になつて遊んでやるといふ工合で、一家中目標にしてゐますのが、たゞ〳〵家庭の平和といふのですから感想など、申してもどうせ平凡なものです、朝鮮では今度で二度目のお正月を迎へました、結婚から申ましたら可なりの年を迎へ、今二三年で銀婚式といふ處ですから、其長い間には嬉しかつた事悲しかつた事などいろ〳〵なくてはなりませんが、何しろ是まで樂に暮らく生活致しました外といふものはずつと東京ばかりで過しお蔭で變化といふものに乏しかつた爲か格別是ぞと申す印象もありません尤も朝鮮に參りましてから比較的お正月氣分に接して見ますと、昨年よりも今年と云ふ風に年を追ふて思ひ出草になりますのは過ぎし日のお江戸の春ですね門松と萬歳の節面白いうたひ唄ひや、獅子の舞樂など今更の樣に彷彿として眼の底に浮び流行に流された新年の氣分の晴やかさやと人情の美と云つたやうなものを感じて何となく甘い情調を戀られます。

良き母親になる修養
吉松府尹夫人　靜子の君

私共は全然家庭の人であり、而も四人の子持ちときてゐますから、別段抱負など申す程のものもない樣ですが強て申しますれば唯子供の爲に少しなりとも良い母になり度いと思つてゐる位のものでしやうですから抱負などいつた風で、若い時代の遊戯やかな、大きな室内的なのに反しどこまでも着實で小さいものですが、私の平素の持論から致しますと母親が子供を教育してまいります上にはせめて中學二三年程度の學問に就て一通り子供の質問に答へ得るだけの智識は備へておきたいと思つてゐます一年はおろか、一日〳〵とのびて行きます子供の爲めに此心懸けは是非必要だと思ひますので私は豫て一般の學識は無論語學なども勉強して居りますが今年は猶一層我慢心に鞭打つて假んばドンなに忙しからうと子供の爲の修養を怠るまいと思ひます。

社交的に活動
前田司令官夫人　銈子の君

私共の樣な年代になりますとつとめても若やぐ事を年々第一に考へさせられますが、何分にも先年十三年振りといふ思ひ掛けもない子供を得ましたので外へ出て新しいお話など伺ふ機會もすつかりそがれてしまひ此近年は殆ど赤ん坊の方へ手をとられては毎日何と云ふ事もなく押し移つて參りました、然し漸く今年からは子供も大分手が離れる樣になりましたので、少しは他處樣にもお訪ねしてお若い方々のお話を伺つたり、又昨年の著しい活動をなされてゐます愛國婦人會の方へも、多少づゝは手傳ひが出來るかと思つてゐます、亦子供さんお持ちの方はたとへお手傳ひをとお思ひになつても、なか〳〵思ふ樣になりませんから、それに引きくらべ手離しの出來る樣になりました私共がお手傳ひ申上げる事は當然であります又一面私共は年一年時代から遠ざけられて行く譯でありますので共鐵の調和と云ふ意味からも少し外の方へ顔を出たいと思つてゐます。

幸福に暮す事
赤池局長夫人　五百枝の君

今年は先づ昨年の方々樣のお陰りにりかへ、お倅の皆樣ともお揃ひ御機嫌よく、又宅の方でも家内中至つて、壯健に、此の平和な年を迎へました事が何よりも喜ばしい譯に結構な事だと存じてゐます、新年の抱負ですつて？それは事々物々に觸れて丸きり思想しない事もありませんが元來が身體の健康と申す外これといつて能のない方ですから、偶々思考します事も、半分も果し得ないで終るといふ有樣ですから家庭外の働きなど全く零です、總體の方も職部長なんか隨分大きな看板で、而かも天晴れ活動人の樣ですが、全く名が實に過ぎて恐入つてゐるのです、大體主人も私も極く地味な極く質式な方で、矢張り女は全然家庭にあつて子供を育て、其他家人の健康などに注意して、主人をして其の憂ひなく職に勉しく日々の職務に携はらしめる樣にするのが務だらうと思つて之を平素の方針に致してゐます、私には又之と云ふ上手を延ばず事は出來ませんので、外の事はなるべく避け加減にして何よりも先づ第一に家庭を整しく保つ爲常々家人の健康に心を致してゐます、希望に滿ちた年の初めに當つて此の一年を最も幸福に暮したいとの念願から家人の健康を祈る心は可なりに大きく且つ力強いのでございます。

日常生活に心を配る
淨法寺師團長夫人　比呂子の君

今年の抱負など申しても私などの樣に、始終家庭の人で過つてゐますと、いつも考へますのは子供の事やら衣食の上の事です、斯うした事の改新は大抵其の刹那々々の感じによつて誰方もされてゐるものですから殊更に年を區劃して新しくされるものでもありませんが、兎に角新年と申しますと四圍の樣子から自然心までも華らしくなり、平素は何でもなく過されました事が區劃され同時に行く先々の事にも微な思ひが走せられまして、何となく感じを深うさせられます、要するに家庭内の日常生活の細事に心を用ひてまいります事が私共主婦の今昔共に變らない、不斷の務めですから此から一層心を茲に置き同時に平素の主婦から致しましてどこまでも服裝の華を戒め軍人の妻としての精神を失はない樣に致し度いと思つて居ます。

我が子の爲に盡したひ
柴田學務局長夫人　伊代子の君

お正月と申しますと私共にとつては老路への一里塚にも等しいものでありますが、一つの習慣から致しまして、假令年は重ねましても又氣候はお寒くとも心には何となく長閑な春の訪れがあり晴々とした氣分でゐますので、一年の思ひを致しますのに至極でありますが、兎角新年あれもこれもといつては押し移り勝ちで今年とて別に新しいものもありません、しかし今年は平素鄕里の女學校に在學中の長女が卒業しますので新年を一層喜ばしく迎へる譯です。併しまだ十七ですし、一方本人も頻りと上級學校への志望を申越しますので茲一二年間東京で學業に就かせたいと思つて居ます、就ては學校の選定入學の事、隨て年頃の娘を東京に出す事とて其評する處なども種々に案じられますこれ等を何う云ふ風にしたらば好いかと云ふ事が此の年初めの最も大きな惱ひでございます。

趣味の生活へ
工藤知事夫人　三重子の君

私共の趣味なんて、それこそお話にもなりません和歌など折々の心に浮せてたゞに文字を列べるだけのものです、又筆の方も女の嗜みといふ樣な一つの古い習慣からして幼少の頃少し教はりました位ですから、之と云つて何と申す程の事もありませんが、唯折角教はりましたものですから忘れないやうにと思ひますし、又一方には平素子供のない生活ですから、家々之によつて情緒の多少もうるほされましようかと思ひまして折々同好の奥樣方とお寄り合ひして折々お復習を致してゐるやうな始末であります當地などでは左程の事もありませんが時として地方住まひの寂しい折などは斯うした趣味によつて慰めらるゝ事が多うございますので、今年は少し餘裕を見出して之等を少しなりとも進めて行きたいと云ふ願ひを持つてゐます。

昔の新しい婦人
所謂『鹿鳴館時代』の思ひ出

世の中は生きて居るから動くのだ動くのは變化である事を忘れてはならぬ若し進化の伴はぬ變化のみであつたならば衰亡の徴だ恐るべきである今の若い婦人方はヨモ御存じあるまい今から四十餘年も前のことだ時の外務大臣井上馨氏（今の侯爵井上勝之助氏の先代）等が例の猪物打破の經綸事業として『歐化主義』といふ急激的な歐化主義を唱へ出して旺に歐米の容貌を國内へ吹き込まうとして努力したことがある無論條約改正の政略上から出た新しい試みであるからなんでも新氣分を日本全國に漂はすには上流社會の婦人方を『家の外』へ引ッ張り出して盛におハネをやらせるに限るとの考へから男女混淆の盛大なる夜會を開いたのである此の政略の大機紐となつたのが有名なる鹿鳴館の假裝會でこれが抑も日本の婦人方が晴れて一堂に會した初めである當夜の舞蹈臺に踊れた花形は皇后宮御用掛下田歌子女史を頭に外相令孃井上末子（今の井上侯夫人）伯爵令孃伊東迂子（今の末松子爵未亡人）今の吉田子爵母堂貞子岩倉公の姫君極子（舊大垣藩主今の戸田子爵夫人）と云つた風で上流社會の婦人令孃が男子と打ち交つて破天荒の催しをやつたのだから當時の世間だから忽ち上を下への大騷ぎを初め（日本の滅亡近きにあり）なんかと高唱る輩も出て來は『ナショナリズム』を國粹保存と翻譯して旺に此の歐化主義に反對するものも現れ自然『男女交際論』を唱へるものが無くなつたゝめ流石の歐化主義も全く其影を潜めるやうになつた。けれども所謂ハタ臭い黄色の唄や紅色の空氣は甲所乙所に起る反感と嘲笑とに襲ひつゝ今の鍋島侯未亡人が音頭取りて『西洋料理の食方研究會』と云ふ珍妙な男女混淆の會合が出來たかと思ふと舞蹈研究會が出來るついでに束髮研究會と云つた風に速成的歐風の婦人會が旺に現はれ出したそれがだん〳〵地方に傳染して『婦人同伴會』『束髮遊娛會』さては『洋服奨勵會』など京都大阪九州方面へ宣傳さるゝやうになつた陸奥宗光氏が紀州和歌山で男女同權の演說をして天下の物議を釀したのも丁度このころ（明治十九年）で弱いながらも歐化主義の勢力は日本の上下に其の光芒を傳へたが餘り急激だつた其の反動として社會一般が總て保守的となり舞蹈亡國論さへ唱へられ所謂社交なるものも漸次下火となつたのである

その面影

（右上より）前田法務局長夫人　吉松京城府尹夫人　工藤京畿知事夫人　前田憲兵司令官夫人

（左上より）赤池警務局長夫人　淨法寺師團長夫人　柴田學務局長夫人

（珍）（聞）（奇）（談）

綺蛇を産む
成鏡北道雄基の敵と云ふ勞働者の妻は二尺餘りの綺蛇を出産した其地方の人は夢に白蛇と契つたのだと噂して居るが何にしても珍らしい話ではないか。

七尺三分の男
福岡九大の近藤博士が奉天の醫學會へ講演材料として連れて行つた山仲府と云ふ男は身長七尺三分、足の裏の長さ一尺あつた。

日本の原始村
岩手縣二戸郡小鳥谷村から田能へ行く山中に原始的な二戸の家がある、人は總て赤裸々で腰に纖維を纏んで居るだけで言語は不通、恐らく日本中唯一の原始生活だらう。

▲咽喉に餠の詰つた時
これは時節柄よくあることだ。この場合はいきなり指を口中に突き込んで吐き出させるのが簡單だ。それでも出なかつたら、うつぶせにさせて背中を打つてやるがよい。大概は吐き出すものだ。これでもまだ駄目だつたら箸の先に綿をまるめて結びつけそれに食油をつけて咽喉へ入れ、思ひ切つて奥へ押込んでやれば餠は必ず食道の方へ無事に進入する。

初笑ひ
一婦人の最も好きなものを約一千名について調べたところによると、芝居好きが七百二十人、貯金三十人、食事百五十人、着物九百八十人、と云ふ結果を現はした▲着物は婦人として有勝の事であるが芝居と食ふ事は矢張好きと見える▲贈答の方では現金が第一、商品切手が第二で結局女は着物と金が一番好きといふ事になります。

謹賀新年

朝日 麗晨 特約店 其他酒類醬油味噌 卸小賣 京城南大門通二ノ二七 豐國屋商店 電話二六三八番

京城府明治町一丁目五四番地 有價證券仲立金融信託 陸三商會 山本士朗 加藤健二 中吉睦哉

京城黃金町一ノ九一 石炭薪炭商 近藤謙助 電話長八三五番

大和與次郎 京城府漢江通一三 電話長一五番

朝鮮運輸聯合會

京城自動車講習所

朝鮮自動車商會 瀧川靜江 京城明治町二丁目 電話三〇二番 振替口座京城六三八番

京城府壽松洞八二番地 三十本山聯合事務所 電話二二九六番

朝鮮産業鐵道株式會社
京城黃金町二丁目百九十五番地
社長 岡村左右松　常務取締役 伊藤利三郎　同 中西鍊次郎
電話三三三一番 三三三二番

京城生命保險業會
日本生命保險株式會社京城支店長 大庭讓太郎
日清生命保險株式會社朝鮮支社長 吉田淨一郎
日本徵兵保險株式會社京城支社長 熊谷菊麿
日華生命保險株式會社朝鮮支部長 兵藤俊一郎
蓬萊生命保險相互會社朝鮮支部長 飯潤重太郎
東洋生命保險株式會社京城支店長 矢澤近次郎
東海生命保險相互會社朝鮮出張所長 西尾光治
朝鮮生命保險株式會社 社長 閔丙奭
徵兵保險株式會社京城支部長 吉岡英
福壽生命保險株式會社朝鮮支部長 根本泰作
太陽生命保險株式會社京城支部長 樋木秀一
大同生命保險株式會社京城支店長 高根元俊
第一生命保險相互會社朝鮮地方部長 堀田巍
太平生命保險株式會社京城支部長 宮崎要造
太正生命保險株式會社京城支部長 分部又次郎
八千代生命保險株式會社京城支部長 宮本高之助
福德生命出張所長 石黑健夫
富士生命保險株式會社朝鮮部長 三須吉
帝國生命保險株式會社京城支店長 磯田勝三
愛國生命保險株式會社朝鮮支部長 前川利作
共濟生命保險株式會社京城出張所長 一色龍太郎
共保生命保險株式會社京城出張所長 佐藤不二男
有隣生命保險株式會社朝鮮支部長 山路右近
明治生命保險株式會社京城出張所長 藤崎致文
國際生命保險株式會社朝鮮出張所長 海老塚龜太郎

石川物產商會 京城本町二丁目 電話長一八八四番 振替口座京城二六〇番

京城本町電車終點前 三好野支店

京城明治町 蒲鉾 魚仲買業 松本繁藏 電話四十四番

京城府南大門通三ノ二八 雜貨 火藥銃砲 洋家具製作 藤本支店 電話一五六七番 五八三番

龍山驛前 太陽館本店 電話長一六番

鐵道運送貨物 陸運取扱 諸荷物引越 保管託送 丸江運送組 龍山元町二丁目 電話二四五九番 水運部 電話五二八番

京城南山町二丁目 西洋料理 御會席御料理 福住 電話一三三九番

京城旭町一丁目 御料理 壽美家 電話二三四三番

京城旭町二ノ三 諸官衙會社御用達 澤井菓子舖 電話二六六九番

米穀 雜穀 肥料 輸入 松浦齊生商店 京城西小門町七十二番地 電話二六五〇番

京城本町三ノ二 表具師 石川辰次郎 電話一一八七番

京城元町一 兼古禮藏 電話一四一番

福田家 明治町二丁目 電話三二〇番

北海道江別村 家具用材 木取 本明雜貨店

南滿洲鐵道株式會社 安東電燈營業所 電話二五五番

木材商 合資會社 石崎商店

輸出入貿易 鈴木商店 安東出張所 電話三七八番 四〇三番 五四二番

原木製材 製函販賣 南滿洲製材公司 安東縣八道溝 電話八四番

滿鮮染料工業株式會社 支社 安東縣六道溝 電話六六〇番

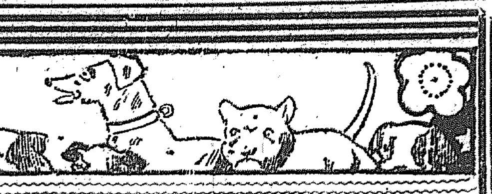
滿鮮坑木株式會社 南滿洲安東縣六道溝 電話一三〇番

鴨綠江製材無限公司 南滿洲安東縣六道溝 電話四五〇番 四五一番 支店分工場 吉林、奉天、大連、京城

安東縣旅館組合 松屋旅館 元寶旅館 富久壽旅館 小林旅館 新陽旅館 日の出旅館本店 日の出旅館支店

朝鮮銀行安東支店 滿洲商業銀行 協成銀行 鞍山銀行安東支店 東洋拓殖株式會社安東支店 安東縣出張員詰所

原木製材販賣 安東挽材株式會社 本店 南滿洲安東縣



謹賀新年

齋藤酒造合名會社
平壤貨金町
長電話一二二番

平壤
內田百花園
長電話三二六番

平壤大和町
飯田履物店
電話七一〇番 七一七番

平壤府泉町（瑞氣通）
渡邊商會
◎奥活石鹸 朝鮮一手販賣元
◎印洗石鹸 石鹸製造販賣
各種化粧石鹸、本邦香油原料香水
萬絲類、カタン糸、レース糸
髮洗粉、長崎洗粉、朝子原料

平壤府諸町
品川製米所
長電話八一六番

大正十一年一月元旦
平壤府諸町
三根旅館
長電二五六番
長四三〇番

平壤
朝鮮燒酎株式會社

鎭南浦
橋本豐太郎

平壤質商組合

平壤醫師會

鎭南浦三和町
南藤馬
長電話四三〇番

平安南道
龍岡警察署
職員一同

平安南道
龍岡郡廳
職員一同

平安南道
江西郡廳
職員一同

平安南道
江西警察署
職員一同

鎭南浦
釜瀨富太

麻生鑛業株式會社
朝鮮鐵山株式會社
京城南山町一丁目十三番地
麻生音波

謹んで新年の賀辭を申上候
大正十一年一月元旦
平壤慈惠醫院職員一同

土木建築請負業
大同社
平壤泉町 松尾宗一 電話五二九番
平壤諸町 中川鶴三郎 電話五二八番
平壤商町 古下藤一 電話六四三番
平壤南門町 山崎龜一 電話六八二番

平壤
北陸土木株式會社
大同江出張所

鎭南浦
西崎鑛業所

京義線安州
吉田豐

安州殖産銀行支店
三村梅雄

鎭南浦
倉庫株式會社
電話一七番

平壤八千代町（イ川ノ四）
法覺山 池田旭壽
同諸町 織田旭操
同諸町 矢次旭幸
同泉町 矢野旭堤

平壤府若松町一番地
安川松本商店
長電話六一六番
長電話二六四番

和洋雜貨、煙草、スタンダード
石油各國新聞販賣
平安南道勝湖里
岸田書店

平壤
株式會社魚市場

東洋拓殖株式會社
沙里院支店

京義線沙里院
井上醫院
電話一三番

平南大同警察署
職員一同

平壤監獄署
職員一同

平壤憲兵隊本部
小川市之烝
上田甚三郎
平壤憲兵分隊
高橋常太郎

平壤
平松商店
長電一六一番
電七六〇番

平壤幸町三十一番地（玄武門跡）
平壤典禮株式會社
電話八四一番

平壤八千代町
西鮮造林會社
電話七四五番

平壤賑町
美人樓
同
美人樓支店

平壤大和町
片倉殖産株式會社
平壤營業部
鎭南浦三和町
同鎭南浦出張所
平壤府大和町
株式會社平南自動車商會
平壤府濱町
平壤製材所

平安南道廳
高等官一同

平壤承認
運送店組合
內國通運株式會社
平壤支店
協同組平壤支店
小林運送店
大和組運送店
荒金運送店
南浦組
西鮮運輸組
永盛運送部

高崎製ペンキ式金庫販賣
浪花屋商會
京城明治町二ノ八二
電話六七九番

京城太平通二丁目八
金川組
電話二一八四番

京城本町二丁目
各種時計 貴金屬 寶石類 製作販賣
直輸入
富士屋
長電話八七六番
振替京城三九〇六番

朝鮮天然氷
株式會社

朝鮮火藥
株式會社

京城黃金町二丁目
時計卸商
喜多金光堂
貴金屬製作卸
電話一〇一五番
振替七八二番

◎資本金 壹百萬圓
◎有價證券ノ擔保貸付
京城黃金町一丁目壹百四十三番地
株式會社
ソーウル社
電話二三〇二番

京城本町二丁目
壽館
電話七八五番

京城本町二丁目
貴金屬時計
岩本商店
電話一一七四番

京城旭町一丁目九四
西洋料理 カフェ玉水
電話二四五一番

京城本町二丁目
向井鞄店
電話二四八四番

旅行用大鞄及手提鞄各種製造販賣
高木鞄店
京城本町一丁目三六番地
電話二五四番 二三四番
振替京城三四番

直輸入商
合資會社 中島商店
京城長谷川町二一
電話二四九六番 二〇八九番
振替京城一四二〇番

獨逸國ユールデンゲル市ウアイオーテルメーア化學品製造會社染料朝鮮一手販賣所
德國顏料廠
朝鮮京城府
横橋守雄
電長一三三番

特約販賣
撫順炭
日本炭
平壤煉炭
井上商店
京城府太平通り二丁目
電話一六一九番

日の丸旅館
京城明治町二丁目一五
電話一九八四番

大正十一年一月元旦
日本製糖株式會社
平壤支店
長電話六三番
長電話二〇三番
長電話八〇〇番

平壤府銀行團

平安南道
龍岡金融組合
理事 松山和太郎

平安南道江西郡
無烟炭坑株式會社
江西支店

小野田セメント製造株式會社
平壤支社
平壤府外勝湖里

京義線新安州
木谷工業所

京義線新安州
赤松活版所

平安南道价川
株式會社日本製鋼所
价川鐵山事務所

其三

犬の種類

獵犬と番犬　其の「馴らし方」の秘傳

大日本獵犬協會幹事　田中浅六氏談

獵犬

「犬なくて何のおのれが狩獵かな」と云はれる程獵犬は狩獵に取つて缺くべからざるものになつたのは英國人の力であります。犬の爲に幾億の財を投げ改良に改良を加へて現今の如き優良なる獵犬種を作り出したのは英國人であります。獵犬には猛獸用と鳥類や兎獵の犬と三種に區別されて居ります。

獸類用（即ち熊、猪、虎、河獺のやう）な狩に用ひる犬はフオツクスハウンド種、スタツグハウンド種、ハリヤ種、オツターハウンド種、アイリツシュウルウンド種、デイヤーハウンド種、ダツクスフンド種の如き種類のものを選んで訓練するのですが既に先天的に能力を有し其修得は容易であります。日本では未だ紳士社會に猛獸用の狩が行はれませんので是等の歐洲用獵犬が英國から輸入されず、雉子山鳥狩や鶉狩ケ鴫狩で鹿や猪狩の御獵がありましても總て日本の地犬を用ひて居る様であります。

鳥類用の方は日本でも普通から洋犬が輸入されて現今では兎犬も澤山に見られる様になつて居ります。ポインター、セツター、スパニール、レドリーブアーなどは世界各國何れの國でも鳥獵用の獵犬として使用されて居るものです。ポインター種は主に雉子、山鶉、鶉獵に使はれ獲物を捜索することが上手で若し獲物が居る場所を嗅ぎ出しますと直にこれを追出さず獵師が出て主人が出してもよろしいと命じますと之を追出します。此狙ひの上手な爲にポインター種も之の名を與へられたのであります。セツター種の方はポインター種の様に毛が短くありませんから水地用に適し、まず雉ち鴫、鶉、鴨等を主とした鳥獵に用ひられます。スパニール種はポインター種やセツター種に比較して嗅覺が不敏でありますから單に獲物を飛散させるだけに役に立ち其の地に射落した獲物を見つけるのは此種が適當であります。レトリーブアー種と云ふのは運搬が上手なのと捜索の上手なので或るものは歐米界の神搭種ともいはれて居るポインター、セツターの雜種にも負けないのがあります。これも毛が長い方なので水鳥に適當です。今の外鳥獵用の獵犬としては未だいろ／＼種類がありますが日本の狩獵界の様に捜索をさせる犬、運搬をさせる犬と云ふ風に習性に從つて幾つもの獵犬を飼養しませんで僅に一頭の犬で雉子にも鴨にも使ひ、捜索も運搬も總て一つの事を兼負はせるのでこれを總て萬能式の獵犬と申します。此の萬能式の獵犬には何種がよいかと申しますとポインター種又はセツター種二つの内の何れか一種を訓練するのが一般普通するのであります。

兎獵用には日本の地犬雜犬ではビーグル種、ハリヤ種、ダツクスフンド種、バセツトハウンド種、カガルーハウンド種、フオツクステリヤ種等があります。兎獵の上手な犬と申しますのは兎を徐々に追つてあまり遠くの山へ追ひ走らしめず短時間の内に主人の傍へ兎を追ひ返して來る事であります。そして兎の逃げた跡を追從しながら時々鳴き聲を發します。これを追鳴きと申します。主人は此の追鳴きによつて獵犬が兎を何處の邊まで追つて居るかを推知する事が出來ます。兎獵は犬が上手なら主人は木の根に腰をおろし小鳥でも聽んで待つて居る位です。序に鳥獵用の獵犬の訓練即ち馴らし方に就て述べて見ますが、此の訓練と云ふ事は若し夫れが系統の正しいポインター種やセツター種であつたならば英國人が苦心して先天的に其能力を植込んであるから仕して訓練にも骨を折る必要は無く獵犬として從ひ行く事の回數を重ぬるに伴れ其の能力を發揮するものであります。然し此處に最も注意すべき事は行儀であります。人間で申せば作法とでも申しませうか、放任して置いても獵犬にはなつても自分勝手な行動を犬にされては困る場合があります。ですから主命にはいつも柔順でこれを遵守する習慣をつけねばなりません。これをむつかしく云へば訓練と云ふ事になるのであります。實獵に使つて射落した獲物を運搬させる豫備演習として物を投げて啣へさす事を數へますがこれは單に投げたものを啣へて運搬して來る事だけを數へたのではいけません。物を何れへか隱して置いて主人が『モツテコイ』と命の續く限りは必ず何れかに物品が隱れてあるから捜索を續けてこれを嗅ぎ出して主人の手許へ啣へて來ると云ふ習慣をつけて置かねばなりません。これは實獵に使用した場合獲物を射落した場合犬はこれを知らざるも主人が『モツテコイ』の一言で平素の習慣上何れかに獲物が落ちて居ると云ふ事を了解しそれを探して啣へて來るのです。ところが平素此の習慣をつけて置かないと犬自身獲物の落ちた場所を知らない場合如何にこれを探させ様と試みても無駄に終る。之が獵犬訓練に就ての秘傳とも申すべきであります。

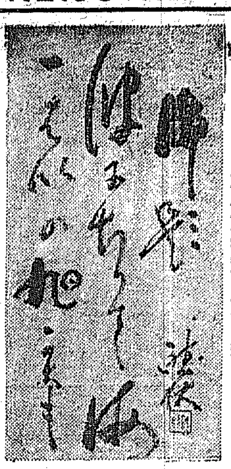
番犬

家番用　番犬にはセントバーナード、マステイフ、ブルドツク、ブルテリヤ、エヤーデールテリヤ、ウエリツシュテリヤ、アイリツシュテリヤ、フオツクステリヤ種等の種類があるけれども歐米の番犬と日本の番犬とは其家屋の構造上の關係から歐米の番犬は盜賊等の闖入した場合如何に吠えても家屋内に住居して居る主人の耳には達しない。其處で犬は自ら盜賊に咬みついて追ひ拂ふのであります。日本の番犬は木造の家屋内に居る家人に盜賊の來るを報ずる爲に吠えれば夫れで番犬の用務は足りるのでありますこれが歐米の番犬の樣に咬みついたら早速狂犬視されて仕舞ますでありますから日本の番犬は吠えればよいので種類なども獵犬種ポインター、又はセツター、其他何種の雜種でも差支へはないのです。

愛翫用としてはベドリントンテリヤ、トイテリヤ、ホワイトイングリツシュテリヤ、ブラツクタンテリヤ、スカイテリヤ、クライデスデールテリヤ、トーイブルテリヤ、プードル、ポメラニアン、パツグ、キングチヤーレスパニール、ルビースパニール、ジヤパニーススパニール（狆）ヨークシヤーテリヤ、ブラツシエルグリフオン、トーイブルドツグ、イタリアングレイハウンド、チヤウ／＼、ペキンニース、セールハムテリヤ種など枚擧に遑まあらざる程に趣味の犬は多い。英、佛、獨などでは主として婦人社界から愛用されて居ります。

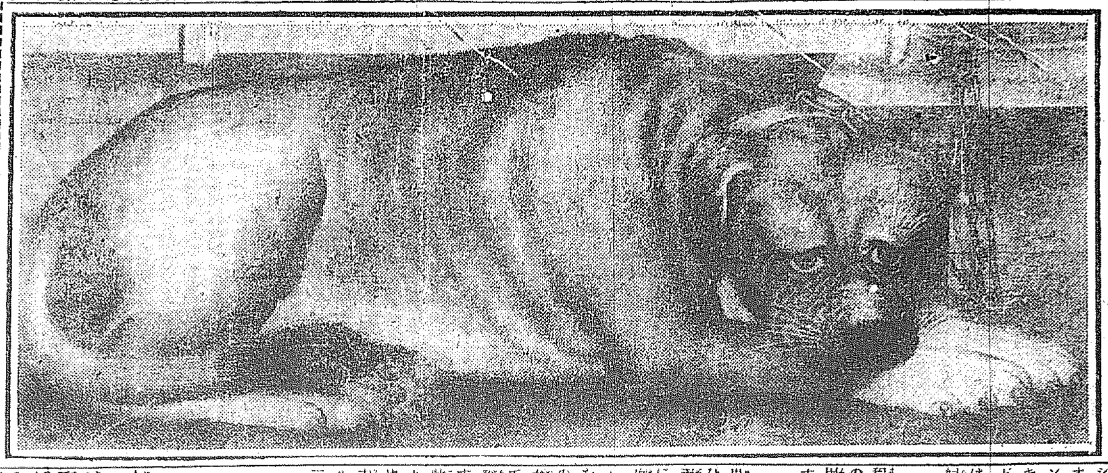
軍用犬も米獨英の軍隊では好成績を示す程各國の軍隊に飼養されて居ないが歐洲の戰爭では斥候用、輸送用、赤十字用等に重用されて居たそうであります。

護羊犬　これは歐米ばかりでなく日本でも三里塚御料牧場北海道の新冠牧場で用ひられて好成績を擧げて居ります。羊を羊舍から運動に出すと散り／＼になつて仕舞ふのだが、これを一頭乃至二頭の犬で羊群の周圍を馳せつゝ纏り群を離るゝ羊あらば之に鬪備を與へ一群を纏め牧場に出して他の羊を襲ふ猛獸の番をつとめ夕暮に至れば羊舍へ向つて羊群を引き連れて歸る此の何千頭と云ふ一群の羊を護る事は二十人か三十人の人手を要するそうだが、僅一頭か二頭の犬が此の三十人の代理を完全につとむるとしたならば實に賞すべき事でありませう。此の用に使はれて先天的に能力を有する種類は、コリー種、とオールドイングリツシュシープドツグ種の二種が最も著名であります。



十一世　花木聽秋氏試筆

闘犬　檀園　金弘道筆



金弘道、字士能、檀園は其號である。正祖朝（百五十餘年前）の人で王室畫員であつた。山水、人物、花卉、翎毛等悉く描かざるものはない。其の筆力の自在なる李朝畫家中の錚々たるものとされてゐる。本圖は例のブルドツクで其の畫法亦平素描く所と異つてゐる。或は歐洲畫風を模倣せるものではあるまいか。蓋し檀園の筆としては頗る珍奇であり而も傑作である。

皇族中の軍星

―戌年のお二方―

山階宮武彦王

吾が飛行界の一異彩

皇族殿下の唯一の飛行家として我が皇族界に光彩を添へさせられたる山階宮故海軍少將武彦王殿下は、故菊麿王の第一王子にまします。明治三十一年二月十三日を以て御誕生あらせられた。學習院の御卒業の後、海軍兵學校に御入學遊ばされたが、昨年同校を優等の御成績にて御卒業あり、直に大正十二月一日より霞ヶ浦航空隊附を命ぜられさせ給ひ、目下第六期生として御少壯時より飛行機に多大の御趣味を有せられ、航空の御智識に就ては御造詣深く、御學業の御暇には自ら飛行機を御研究遊ばし、常に外國より飛行機に關する雜誌及新聞雜誌等をお取寄せに相成り、機體發動機は素より本邦飛行界に於て未だ完成に到達せざる飛行機等に就ても改良に御苦心遊ばされ、また御自分飛行機を御研究遊ばさるゝ程の御熱心である。斯くの如き御嗜味深く御熱心の殿下にして、進んで飛行界に御挺身遊ばさるゝに至つては、他日の御大成は寔に大に期待し奉る次第であると共に、また我航空界進歩の爲に慶賀すべき事と云はねばならぬ。

梨本宮守正王

陸軍中將軍事參議官

陸軍中將大勳位功四級にて、現に軍事參議官の職に立たせらるゝ梨本宮守正王殿下は、朝彦親王の第四王子にまします。明治七年三月を以て御誕生あらせられた。明治十八年勅して梨本宮を繼承あらせらる。朝彦親王の御遺嗣と在らせ給ふた殿下は、夙に陸軍幼年學校を御卒業ありて直に士官學校に御入學あらせられ、同校御卒業の後、第五師團、第九旅團、歩兵第十一聯隊に御入隊に相成り、普通一般の者と同様の軍曹として隊内御生活あらせられ、御演習等の場合にも一般將卒の者と同様に服させ給ふたのである。後大尉に昇進あり、次いで陸軍士官の位を帶びさせられ、三十七年大勳位菊花大綬章を賜はり少佐に進まれ、翌卅九年の五月歐洲へ御留學あり、四十一年中佐に御陞任、次いで陸軍中將に進ませられた。現に軍事參議官として軍事參議院に列し給ふ。妃殿下は伊都子と申し侯爵鍋島直大氏の第二女、明治十五年の御誕生である。兩殿下の御中には規子女王と申す本年十六歳の姫君がある。規子女王の御姉君は方子女王と申し、最近朝鮮李王世子垠殿下の妃殿下とならせられたるは人の知る所である。

犬の傳説

愛犬の手柄

桓武天皇延喜村に鷹狩された日

人皇第五十代桓武天皇は光仁天皇第一の皇子で、我國の佛教を弘めるに大に力を盡された御方であります。延暦の三年に天皇は傳教大師、弘法大師の二人に命を下して唐へ渡らして佛教を研究させました。また武勇を以て有名な田村將軍も此の時代の人でありました。即ち此時分に東夷が叛亂を起しましたので、天皇は田村將軍をその地方に御遣はしになつて之を平定されたのであります。天皇は非常に鷹狩を好まれたのであります。この鷹狩は今はないことでありますが、德川末期に至る迄盛んに行はれたのであります。これは小鳥を捕る事に慣された鷹を放つてその鷹に小鳥を捕らせるのであります。天皇はそれに使ふ鷹を愛され御親ら餌をやつたり嘴や爪等の世話をせられることも度々でありました。或時天皇は延喜野といふ所に鷹狩に行幸せられましたが、その時どうしたはづみか天皇の御腰にさげて居られた御鈴の石附が落ちてなくなつて居りました。この鈴は天皇が古くから愛用して居られたもので、古い者を惜しいことをしたと御嘆きになつたのであります。石附と申しますものは鈴の鞘の先の方に附いて居る金屬製のもので、形は小さいものでありますから、御附の人達もこれを探し出すには非常に佐歎を仕たのでありました。天皇はこの時一匹の愛犬を伴れて居られましたが、いつともなくその犬の姿が見えなくなりました。それから天皇はその野にあつた高い塚の上に登られてあたりを見廻して居られると、この時天皇の御愛犬は何物かを咬へて野の若草を分けて塚の方へやつて來るのが見えました。その時犬の咬へて居たのが、先きに天皇の御落しになつた御鈴の石附であつたのです。斯くて天皇の御惜みになつた石附は無事に帝の御手に歸つたのであります。

忠義な白狗

其靈は今猶神として祀つてある

成羽藏古郡糀村と笹山村との間に昔犬飼村といふ部落がありました。此の部落の鎭守様は大歳神社と云つて白狗の靈を祀つてあると云はれて居ります。毎年十一月中の戌の日を卜して徹夜中に村人が神社に集まつて盛かな祭典を行ひ徹夜の酒宴を張つて東雲の空が赤くなる頃まで騷き通します。此の徹夜中の祭典の起つた由來は何年前のことか判明しませんが今に村人が傳ふる處に依ると犬飼村は其昔村の端をさゝやかな溪川が流れて極めて平和な部落でした。が何時しか不安な恐しい噂が飛來しました。之は毎年彌生月の初になると村中で一番美しい處女を神様に供へることです。處が此村に黄金千枚と謳はれた上田の持主といふ長者が居りました。其家には美しい娘がありました。或る年の彌生月の初め長者の家の棟に怪しい幣束が立てられました。此の幣束の立つた家が其年の犠牲者を出す家です。長者の家の嘆き娘の悲しみを村人はなぐさめる言葉もありません。長者の家では泣く／＼可愛い娘に一と七日の齋戒沐浴をさせて白木の唐櫃に收めて上から注連を張り闇夜中村人に擔がれて川向の山崎の祭の森の上へ運んで行きました。娘が家を出る時、日頃可愛がつてゐた一匹の白狗が唐櫃の後から跟いて行きましたが村人は神樣の咎を恐れて追ひ返しました。犬はスゴ／＼と歸る振りをしてソツト先廻りをして牛の背後を越えて岩陰に身をひそめましたが、誰も知る者はありませんでした。村人は唐櫃を置いた上へ唐櫃を置いて逃げる樣に散つてしまひました。やがて待つ程もなく居待の方角から生臭い山風が吹下してきて淋しさを交へた森林が木々の葉を打鳴らして物凄い響を立て、荒れ狂つてゐる内に突然烈しい嚙合ひが始まりました。一時程過つてから物凄い吠聲も止み東雲の空が美しく見えると共に村人は多數馳せつけました。見ると數千年を經た古猿が嚙み殺されて其傍に娘の愛犬（白狗）が血まみれになつて斃れて死んで居ます。唐櫃を開いて見ますと娘は氣を失つてゐましたが、間もなく息を吹きかへして長者に伴はれ歸りました。此の忠義な白狗は村人の手で後世に傳へる爲め岩の上へ神社を建て、厚く祀つたのです」と山崎の舞や居待は今でも有名な地です。

京城本町二丁目　時計 貴金屬 眼鏡 裝身具　三浦天龍堂　店主 三浦覺馬　電話 三〇二番　振替 三〇四番

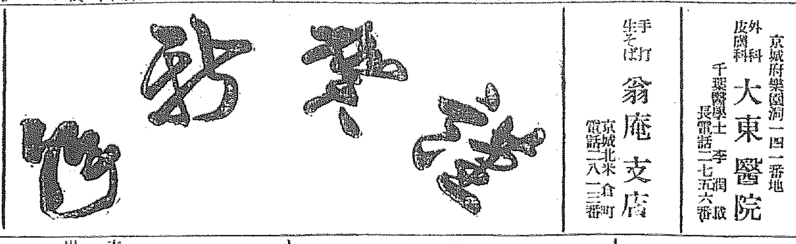
諸雜貨卸商　合資會社 丸二商店　小川完二　京城南大門通三丁目　電話長二九六〇番

京城府南大門通三丁目　各種時計 美術寶石 貴金屬 眼鏡 蓄音機 自轉車 呉服 衣類　株式會社 明時堂　電話二二九番　振替京城四八八九番

京城府西小門町　石炭商 篠崎商會　電話二四〇番 三四二七番

京城府樂園洞一四一番地　外科 皮膚科　大東醫院　千葉醫學士 李潤　長電話二七五六番

手打生そば　翁庵支店　京城北米倉町　電話二八三番



京城府明治町二丁目六八番地　薪炭、石炭、醬油、販賣業　紀の國屋 鎌田支店　電話三一六八番

東亞牧場　電話五二番

京城南山町三ノ三　洋食 球突　巴州亭　電話六三八番

京城太平通二丁目　貿易商 駿府商會　電話長二一六一番 二二六二番

呉服 あらいはり、ゆのし、しみぬき、一式 京染諸營所、御紋上繪　京都印物出張一式販賣　京屋呉服京染店　山三角地　電話七五二番

京城本町一丁目　ちよ凌　電一七六番

總督府許官御用達商　芳賀商會　京城府永樂町二丁目七十七番地　電話長一四〇一番

京龍左官業組合

和洋金物商　佐藤牛次郎　京城本町三丁目　長電話二四三番

京城精米組合（いろは順）　今村精米所　常盤精米所　朝鮮精米株式會社　朝日精米所　京城支店

松本豐作（服部商會）　材木商 店主　本店 朝鮮京城古市町十四番地 電話長一八二一番　朝鮮新義州 振替口座京城一三八五番　出張店 朝鮮新義州常盤町一二番地 電話一二番

日本簡易火災保險株式會社　本店大阪市北區堂島濱通三丁目　支部京城府南山町二丁目四二番地　取締役社長 平賀敏　專務取締役 鈴木大郎　常務取締役 大賀雄次郎　主事 井上幸治郎　鮮滿支部長 渡邊省一郎

朝鮮龍山漢江通十三番地　株式會社 福壽洋行　電話龍山長六四六番 一〇三八番　出張所 京城大平通り二丁目　電話京城一三四六番

京城明治町二ノ八五　京城魚市場　電話長一四七八番　電略（〇キ）又ハ（キ）

京城南大門通一丁目一一六　株式會社 海東銀行　電話二三〇〇番

京仁羅紗附屬品商組合　組合員一同

銅鐵雜鑛問屋　福田又京城支店　京城南大門通三丁目　電話長二三二番 六三番　振替口座京城二九三一番

京城府古市町四拾參番地　東亞商工株式會社　電話長九四一、七二七、一六九　大邱出張所 電話長三四二番

京城新町遊廓組合

京城酒商組合（イロハ順）　本莊酒店　千鳥正宗支店　大塚京城支店　田中支店　山本商店　山邑京城支店　前田合名會社　增田屋京城支店　河野酒店　佐藤牧酒店　首藤京城支店

彌生町貸座敷業組合

南滿洲安東驛前　北華運輸株式會社　電話長五二三〇三番

資金貸付 諸積金 一般信託　安東信託合資會社　安東縣四番通六丁目　電話四五三番

平安北道廳　飯尾藤次郎　磯野千太郎　劉鎭淳　石黒英彦　中島覺之　洪應觀　山内圭一郎　佐野高藏　木居貫一郎　前田善次　桑原桑造　李聖根　樋口律太郎

貿易店　安東縣市場通　合名會社 竹本商會　電話一七三番

安東縣四番通　安東商事信託株式會社　電話四五八番 三三四番 六三七番

安東株式商品取引所　所屬仲買人組合（次第不順）　原田市松商店　安東貿易株式會社　島盛仲買　中村德仲買商店　藤進之進商店　木岡商店　作田仲買商店　吉銀店　順順號　仲買店　公司　政號　帝仲買店　仲仲買號　仲太郎商店　保正仲買店　盛仲買商會　鮮肥料株式會社　井仲買店　森仲買店

安東縣市場通六丁目　安東晝夜金融株式會社　電話一一六番　振替口京城南四四一〇二番

荒木式ペチカ並に煉炭販賣　安東縣市場通　荒木組出張所

謹賀新年

起死回生
仁丹
發賣本舗　日本大阪　森下博大藥房

仁丹は今や
海の内外に擴充し

日貨排斥、財界の萎微に拘はらず猶昨一ケ年の賣上總額復た五百五十萬圓を超ゆ是偏に江湖の賚として感謝する所、弊舗は改暦と共に益々

仁丹は原藥の精選を生命とし
廣告に依る薫化益世を使命とす

の信條に向て商程の大躍進を實現せん事を期す冀くば倍舊の御寵眷を賜らん事を

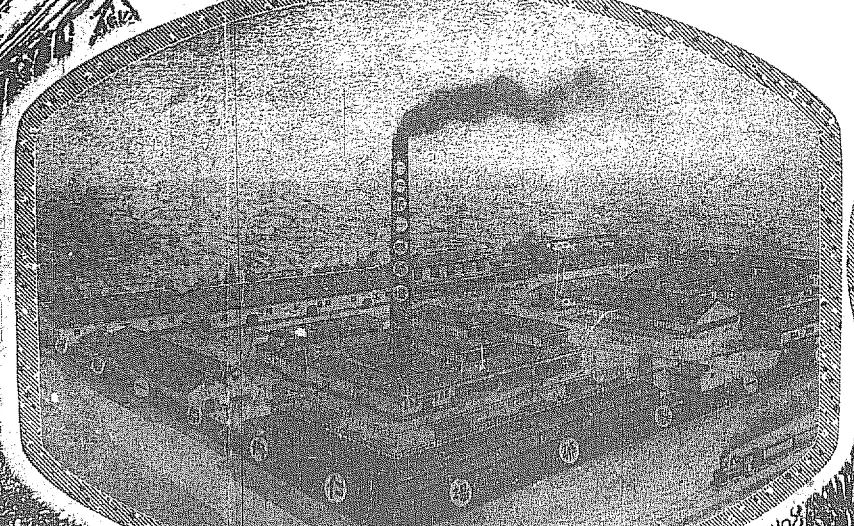
大正十一年一月吉辰

森下博　敬白

光榮

賜　大正三年十一月　大正八年十一月　御嘉納之榮
賜　大正三年十一月　御買上之榮
賜　大正八年十一月　御召拜謁之榮
大正九年十二月　勅定綠綬褒章

〔森下製藥場第一工場〕



〔仁丹本舗森下營業所〕

小說 金波乃光

渡邊霞亭

（一）

加納由子が、これまで度々その友人間の噂に上つた時、たつた一人、櫻井君子といふ友人だけが、その噂を一つ〳〵揉み消してゐたので、友人仲間では反つて噂から噂を生み出して騷いでゐた。

その噂と云ふのは、由子がお茶の水の高等女學校の五年に在學中に起つたので、聊も奇怪千萬な、生理的不具者であると云ふ噂であつた。今年の三月を迎へる頃になると、何處でも同じではあるが、友人間の話は大概卒業後結婚の事だつた。そして互に若い麗やかな空想を逞しくしたり、創まるべき家庭上の抱負などを得々と語り合ふのであつたが、いつ誰の口から出たともなく、加納さんはお氣の毒だ、人間として、女性として、殊に母性としての不具者だと云ふ事が洩れると、それが全級の生徒の、恐ろしい病のやうな口から口へと傳はつて行つた。

斯うした噂が櫻木君子の耳へ入つた時には、君子は美しい眉を顰めて憤慨した。

『一體誰方がそんな失禮な事を云ひ出したのでせう』

『さあそれは知りませんけれども、隨分變なものなんですつて』

『然し、そんな事はなるべく有仰らないやうになさいよ、加納さんだつて今が一番女として大切な時期なんですもの、もしも加納さんのお耳にこんな噂が入つて御覽なさい、ほんとにどんな心配なさるでせう、あの方はあんな性質の方だから心配なさるよりは悲觀なさるわ、それを打消すといふよりも、噂そのものに驚いて卒倒なさるかも知れませんわ、あたし加納さんに同情するわ、そんな馬鹿なことがあるもんですか、あたしが證據人になつてもいゝわ』

君子は、殆どその噂をする一人〳〵に對して、同じやうな口吻で揉消して歩いた。

『櫻木さんは又なんだつてあんなに同情なさるんでせう、この噂を否認するだけの事實を持つてゐらつしやるのつて訊いたら、肯定する事實のない噂をするのが惡いと云つて、否定なさる事實に就いては何にも有仰らないのよ。もしかしたら、櫻木さんが一番詳くこの噂の眞相を識つてゐる方なのかもしれませんわねえ』

加納由子と云ふのは、本郷弓町に住む、世間には可なり有名な陸軍中將の令孃で、更に有名なのはその美貌で、同校で一二を爭ふ位であつた。そして學校の成績も、常に五番以下に落ちたことはなかつた。だから或る時は、先生が特に優遇するとか、或人の方は何かにつけて損はないとか、そんな噂の立つた事もあつた。だが、さうした噂は、假し本人の耳に入つた所で、どの學校にもある事なので、さして氣にもなるまいし、無論時機から出た噂と云ふ事がすぐに解るからよいが、今度の噂だけは大分念の入つた、卒業間際には最も不快な噂だつた。

（二）

加納中將の麾下に室戸敏雄といふ新進有爲の中尉がゐる事は、由子でも誰知らぬ者もなかつた。出身は中央幼年校出で、騎兵科になつてからも、その英敏な頭腦は群を拔いて光つてゐた。加納中將が現職の師團長になつた時、室戸のゐる聯隊から室戸を見出したのは、戰術に就ての頭腦が際立つて良いのが先づ中將の眼に止まつた。無論聯隊長も室戸を有つてゐるのを一つの誇りとしてゐたので昇級問題なども取沙汰されてゐる位だつた。

その室戸が加納家へ出入するやうになつたのは、つひ去年の夏頃からで、由子の從弟に當る馬場總三と云ふのが、室戸と同じ中隊にゐる關係から、總三が室戸を伴れて加納家へ來たのが始まりだつた。

總三が室戸を加納家へ伴れて來る時、室戸に云つた言葉は『僕の從姉を見せやう』といふ一語であつた。室戸は由子を紹介された時、なる程總三君は美人を持つてゐると思つた。そして其後も度々出入してゐたが、總三の愛人由子孃として交際してゐた。

『君は來るべき日には愛人を迎へるのかね、僕は大に祝福したいのだが唯變に思ふのは血族と云ふ關係だよ』

『あはゝゝ、友誼を以て鳴る君として頗る迂遠なことを云ふぢやないか』

『何故』

『何故つて君、愛人とは必ず結婚しなければならない筈はないぢやないか』

『すると、つまりどういふ……どうも君のいふ事は新し過ぎてわからん』

『結婚すれば血族結婚になる。だから結婚はしない、しやうとも思つてゐない、由子だつてまさか僕の妻君になるつもりぢやないよ、寧ろ僕の伯父は君に眼をつけてゐるらしいぜ。おい天下の色男。どうだい』

『おい〳〵、ばかなことを云つちやいかんよ、そんな事が隊の連中にでも知れて見ろ、しまひには閣下のお耳に入るやうな事にならんとも限らん、滅多な事を云ふもんぢやない』

室戸は平素の謹落にも似ず、嬉しくかたくなつて打消さうとした。總三は面白がつて揶揄したが、室戸は何故かそんな噂を立てられるのを非常に怖しいと云つてゐた。

櫻木君子も平素に加納家へ遊びに行つてゐるところから、或る日曜、由子から室戸を紹介された。由子は以前から室戸を非常な秀才だと稱へてゐたが、君子を室戸に紹介する時には、君子を非常な閨秀と稱へて紹介した。

（三）

由子が卒業の成績は惜くも二番目ではあつたが、でも上流家庭に育つた子女としては珍しく成績が良いと云ふので、教師間でも話題に上つた位だつた。そして友人間にあつた噂は卒業と共に消滅して了つた。

室戸中尉は、馬場から聞いて由子の事に就て『伯父は君に眼をつけてゐる』と云ふ言葉を聞いた時から、殊に加納家へ出入するのが億劫になつた。と同時に、頭に由子のことがこびりついて離れなかつた。

馬場はあんな奥底のない男だから、その時の出拍子で何を云ふかわかるものか。爾う考へると、ほんの一時の出任せらしくも思つた。そして、やつぱり馬場が未來の良人になるのだとも思へた。が、然し或は馬場の云ふのが口から出任せではなく、馬場が考へた通りの感情を率直に云つたやうにも思へる。奥底のない男だけに宜い加減なことや、其場の作りごとなどは決して云はぬ男だとも思へた。爾うなると馬場の云つた言葉が、もしや現實に……といふやうなことも考へられた。

室戸は斯んな風に、打消しては考へ、考へては打消してゐた。

小金井の櫻の記事などが新聞に見えてゐたと思ふ間に、いつか五月になつてゐた。室戸は霞町に住んでゐたが、毎夕隊から歸つて來ると、晩飯を了へて和服に着替へ、大通りをぶら〳〵散歩するのが常例になつてゐた。その晩も例の通りぶら〳〵歩いてゐると、向ふから見なれた太い洋杖を突いて大股に歩つて來る馬場に出會つた。馬場の家はつひ近くの龍尾にあつた。

『恰度いゝ所で會つたね。實はこれから君の所へ行かうと思つて出て來たのさ』

二人は伴れ立つて室戸の家に入つた。隊では所屬が違ふので、偶に將校集會所で會ふ位なものだつたから親しく話をするのはお互の家を訪れた時か、さもなくば加納中將の家へ二人で行つた時位だつた。

『この前の日曜は君來なかつたね』

『さう〳〵、君が來て呉れたさうだが、生憎四谷の親戚の家へ行つたもんだから失敬した』

『なにね。あの日は加納さんの所へ遊びに行かうと思つて君を誘つたのさ。君近頃ちつとも行かんさうだね』

『うむ、久しく御無沙汰をしてゐるよ。閣下が何とか有仰つてゐたかね』

『否、別に何も云ひはしないさ。だが時々は訪問したまへ。由ちやんも君の顏が見えないので心配してゐたぜ』

『戲談ぢやない』

室戸は痛い所へでも觸られたやうに、ハッとした。

『ほんとうだよ君』

『さうか。どうか宜しく云つてくれたまへ。由子さんももう卒業なすつたんだらうね』

『二番の成績で卒業したさうだ。君は幸福なんだよ』

『えッ』

『いや、實はね。今夜わざ〳〵來たのはその話で來たのさ』

室戸は、爾う云ふ馬場の顏をまじ〳〵と見つめた。然し馬場は案外に眞面目な、幾分緊張した態にも見えた。

馬場の口からは、實に意外な言が云ひ出された。話と云ふのは、由子の良人として選ばれたのだつた。閣下からと云へば、門頭から話が改まりすぎるので、中將夫人から馬場を通じて室戸の內意を訊いて貰ひたいと云ふのであつた。勿論由子の意志は豫め夫人から確めて置いたと云ふのだ。

『唯一つ加納家で苦慮してゐるのは君の性質としてだね。先方の社會的階級が君よりは上なので、その點で君は否定しはすまいかと云ふのだ。だが、僕から云はしめれば、君はそんな些少な人間ではないと信じてゐる。それは伯母さんに云つたんだよ。あの男は軍隊でこそ軍律に依つてゐるが、家庭の人としては階級なんて事は考慮の中に置いてゐませんつて、僕は爾う云つたんだ。實際君だつて爾うだらう』

『無論爾うだ。爾うなんだが、然し君、そりや眞實の話かい。いや、こりや失敬、僕には事があまり突然なので、事實とは思はれないのだ。だがね馬場君。僕は今君が云つた通り階級云々と云ふのは度外視しても、尚且師團長閣下に對して、僕のやうな弱小な一中尉に、自分の大切な孃を與へやうといふ御心に對して感謝するよ。僕としては光榮の至りとも云へやうさ。唯僕が自分の身を顧て、自分が閣下の恩に報ひるだけの資格があるかどうか、それが一番疑はしいのだ。僕は自分に對してかなり臆病だよ』

『そんな徒らな謙讓は此際よしたまへ、君自身が君をどう卑下して考へやうとも、社會の人は君を俊才として見てゐるのだもの』

『おい〳〵。君までそんな事を云つて飜弄しちやいかんよ』

『いや、今夜は重大な使命を背負つて來てるんだ。今すぐに返事をしてとは云はんから、一つ考へておいてくれないか』

『有難う。だが君、僕にはまだ兩親もゐるし、親戚の連中もゐるし、殊に親戚連中にはかなり沒分漢もゐるから、僕一存では返事も能きかねるといふもんさ』

『勿論さ、ぢやよく考へてみてくれ』

馬場中尉は殆ど前途を祝福して了つたやうな氣持ちで歸つて行つた。室戸はその晩生れて初めて興奮を覺えた。二時を聞いてもまだ眠られなかつた。

で、いろ〳〵考へた結果、こんな話は兩親へ話した上、適當な人に渡して了ひ、自分は無關心でゐる方がよいと思つたので、翌晩、室戸は早速概略の事を兩親に話した。兩親は先方が先方だけに、歡ぶといふよりは驚いた方が多かつた。親戚の重だつた者は室戸家とても先祖代々武家ではあり、中尉の父親は今でこそ老朽で閑日を送つてゐるが、つひ四五年前までは大藏省に勤めて建築關係の方に奉職してゐた位だから、決して恥かしくも、さして劣りもしないと云ふやうな理窟を作へ上げて、この結婚に贊同の意を表した。そこで親戚の一人に、しば〳〵婚事に就て經驗を持つてゐる池田といふ男がゐるので、それに萬事を任せることにした。

（四）

話が進行するに伴れて、加納家の方でも馬場では軍人と云ふ職業上そんな噂もないし、年齡も適當でない所から、これも婚事に贊同してゐる所から、親戚の一人がすべてを行る事になつた。從つて話はずん〳〵進んで、十二月には結納を取交し、一月匆々結婚と云ふやうな所まで行つた。

ところが、圖らずも一大事が湧き起つた。室戸の方の當事者である池田は、その老朽な經驗からして、まづ加納家の血統や、當人たる由子の健康、學業成績などを、誇らしげにも精細に調べ出した。そして遂に一大暗礁に打突つて了つた。

それは由子が精神上の佳人であつて、肉體上の不具者であると云ふ噂を、何處からか聞出して來たことだつた。

中尉の兩親に、その話をもたらせて來た池田は、鬼の首でも取つたやうな勢で自分の經驗上の効果を誇示した。自分は中將といふ光輝ある職名にまどはされず、疑ひながら經來りた方法に依つて探つた結果、危くも先方の網に罹らずに濟んだと云つて、半分は自分の手柄を徒に誇り半分は事を未然に防いだのに氣持ちをよくしてゐた。

兩親は我子にこの事を早く話したものか、或は今少し云はずに置かうかと思ひ惑つた。それは他目にも中尉の浮々と調子づいて來たのが見えたからでもあつた。

加納家の當事者からは、其後二三度池田の家へ足を運んだが、留守だと云つて會はれなかつた。そして二三箇月は過ぎて小春の頃になつた。十二月を目前に控へて來たので、加納家からは池田家へ數度足を運ばせた。けれども遂に會へなかつた。

十一月に入ると、加納家からの人は池田家を頻々として訪れた。けれども會つてくれぬばかりでなく、どうも狀態が異に思はれたので、遂に馬場中尉が直接室戸の家へやつて來た。

室戸中尉は最初なんと云つたものか、と考へたが自分は知らぬと逃げを張るのは、あまり軍人として人間としても卑怯であると思つたので、實は斯々の話を兩親から聞いたが、其後の交渉がどんなふうに進行してゐるのか些つとも知らなかつた。もとより自分は、たしかめたのでもないから、そんな噂は噂として氣にもかけなかつた。それに內容がそんなのだから、君に訊くのも異な話だし、厄介な事になつたとは思つたが、話が中止されてゐるなどとは夢にも知らなかつたと辯解した。

馬場は到頭これを加納夫人の耳に入れた。その結果いよ〳〵事件が擴大され、池田と交渉を重ねる事になつた。一方馬場は室戸を訪れて、決してそんな事はない、醫師の證明を得よと云へばいつでも得るが、それは最後の話であつて、名譽上このまゝにはすまされぬといふ騷ぎになつたと告げた。

室戸は恐縮するより仕樣がなかつた。そこで熟考の結果、池田の方へ實據を明かにさせるべく、その噂の出所を調べさせ、自分は馬場と一緒に加納家を訪れ、自分の立場をあきらかにしやうと決心した。

馬場はまづ伯父伯母に室戸を會はせる前に由子に直接會はせて、當人同志の了解を求め合ひ、然る後に閣下夫妻に會はせると云ふ段取がよいと考へた。そこで十二月の始め、寒い風が東京市中を吹きまくる日だつた、室戸を伴れて加納家を訪れた馬場は、すぐに由子の室へ行つた。恰度室には仲よしの櫻木君子がゐた。馬場も室戸も何氣ない態に挨拶をすませてから、少し用談があるから次の間で待つてゐて欲しいと君子に云つた。君子は素直に室を出て行つた。由子はそんな騷動が湧き起つてゐるなどとは夢にも知らず、未來の良人たるべき室戸が突然の來訪に、氣もそゞろに待遇した。

さてどう云ひ出したものかと、馬場は話の機鋒を考へながら、小一時間も無駄話に時を過してゐると、急に閣下からお召といふ女中の報せがあつた。

『室戸君が來てゐるのを伯父さんは知つてゐられるのかい』

『はい、室戸樣もお孃さまも、それからあなたさまも御一緒にお出で下さいましと仰有つてゞございます』

『誰か來てゐるの』

『あの室戸樣の御親戚の方とかうお見えになつて居ります』

さア事は破滅だと馬場は思つた。室戸は始終一貫自分の意志の潔白である事を表示する決心をした。そして三人は中將の居間へ行つた。そこにはいつのまにか、池田が怖えたやうな態で控へてゐた。

『室戸君、よく來て呉れた。まアズッと火鉢の方へ寄りたまへ。今日は大分冷えるね』

中將は相變らずの温容で斯う云つた。

『早速だが、今此所に居られる池田さんのお話に依つて、例の奇怪な噂の出所も略判りましたわい』

中將が續いて何か云はうとした時、障子の外から、『御免下さいまし』と、聲を掛た者がゐた。

一同の眼は、障子を開けて入つて來た、尼姿の櫻木君子に注がれた。

事の次第は明瞭になつた。君子の自白に依ると、彼は由子の仲よしでもなんでもなく、寧ろ由子を呪ひ續けてゐた怨靈であつた。彼は第一に由子の美貌を呪つてゐた。第二に由子の學力を呪つてゐた。そして在學時代、例の噂を自分で拵へ、自分は常に由子の味方としてその噂を打消すことに努めてゐるやうに見せかけ、その實は反對に傳播させる事に努めてゐた。そこへ室戸中尉との婚談が持上つたので、いよ〳〵呪はしくなつて來た。

彼は舊友の家を訪れて、室戸家からの探求に備へ、池田が彼の家を訪れた時には、あらゆる表現を以て破滅に導かうとしたのであつた。そして事が此處に及んだのを見ると、急に自分の惡魔的行爲が怖ろしくなり、悔恨の情は切々と彼に迫つた。彼は家へ歸ると、すぐに剃髮して此處に驅けつけたのだつた。

………………

事が片附くと急轉して一月匆々の婚式が年內押詰つて行はれた。そして披露會を終ると、すぐに東京停車場から伊勢の旅へ發つた。

二見の初日を拜むべく、渚邊に立つたは、偉大な體軀を持つた室戸敏雄と、新夫人由子であつた。

『由子さん、僕はあの一件が起つた時の氣持ちを想ふと、今斯うして靜かにある旭光の金波を眼のあたりに見るとは思ひも及ばない事でした』

『わたくしは何も知らずに居りました。いえ、只今でもほんとうのところは何んだかよく解らないのでございますわ。隨分御氣の毒でございませう』

『あなたは淸淨の心の持主です。僕は今、ほんたうに幸福を感じてゐます。あの金の波を御覽なさい。まるで僕等二人の幸福を祝福してくれてゐるやうに見えます』

『まあ綺麗でございますこと』

才子佳人は初日を一ぱいに浴びて寄添つた。（完）

賀正　宮內省諸官衙御用達　須賀商會京城支店　京城太平通二丁目大漢門前　電話長一八三五番

謹賀新年　株式會社中村組農林部　松岡直溫　京城南山町三丁目四三番地　電話長一九六〇番

謹賀新年　京城穀物商組合　京城穀物現物市場　京城府蓬萊町一丁目　電話二八四・五六一・六六一・九四三番

賀正　[illegible]

賀正　店是三則　一、利は薄く〇　地質は厚く〇　一、店は狹く〇　販路は廣く〇　一、頭は低く〇　理想は高く〇　京城本町　堀內滿輔　尙ほ本年も倍舊の御愛顧奉願候

賀正　京城南大門通五丁目　穀物問屋　齋藤又吉商店　電話三一六・二八一〇番

賀正　營業品目　自轉車　自働車　人力車　附屬品　及製作　朝鮮京城南大門通一丁目　朝鮮自轉車株式會社　電話長三三三番　振替京城八一九一番　支店　全北全州大正町　平壤本町一丁目　大邱元町二丁目　忠北淸州　京城南大門　咸南咸興　江原道春川邑內　全北南原邑內　全北金堤邑內

年末年始ノ禮ヲ缺ク　藤野富次郎　京城府南山町三丁目　電話長二五二番

謹賀新年　京城南大門市場　食料品問屋　辻本商店　（電略ツ）電話長七五番・三六四一番　振替京城三八番

賀正　土木建築請負　京城南大門通四丁目五十番地　小杉謹八　京釜線餅店驛前　小杉組製材所

謹賀新年　アイゼル高麗人蔘本舖　宜壽堂井上藥品部　京城

賀正　京城黃金町二丁目　各種木材　板類朝日本材　座敷用材並竹　青竹晒竹類　材木店　電話一一四八番

謹賀新年　東京火災保險株式會社　京城出張所　京城南大門通三丁目　電話一〇六〇番

謹賀新年　京城府岡崎町　朝日石鹼株式會社　電話二五六四番　振替京城四〇〇番　電略（ア）又（アサヒ）

賀正　陣內茂吉　龍山漢江通一　長電話一四七番

賀正　石原磯次郎　電話龍山八〇〇

賀正　子爵　趙大鎬

謹賀新年　寫眞材料　米國イーストマンコダック會社特約店　島田誠昌堂　京城明治町二丁目　電話一九二九番

謹賀新年　京城本町一丁目　和洋紙　帳簿類　文房具　諸印刷　北內商店　電話一一五二番　振替京城一五九番

賀正　京城府本町五丁目五十二番地　愛知產業株式會社　京城支店　電話長三三七六番

賀正　朝鮮京城府義州通二丁目廿七番地ノ壹　東洋畜產興業株式會社　電話長一六六七・一七三五・五四番　振替口座京城五八六七番

賀正　永登浦　朝鮮皮革株式會社　電話二五番・二六番　京城南大門通　朝鮮皮革株式會社販賣店　電話一〇八二番

謹賀新年　京城煉瓦共同販賣所　朝鮮窯業株式會社　京城窯業株式會社　京城南大門通ファミリーホテル內　電話三六一番

賀正　町田新聞舖　本店　京城本町貳丁目　電話長一七五番　振替口座九九番　支店　京城水標町　電話一四一番　龍山漢江通　電話五二一番　仁川本町　電話長四五番

賀正　京城若草町四〇　田中半四郎　電話一一四二番

賀正　京城本町二丁目六十番地　錦糸布商　矢宮林泰次商店　電話長二六〇三番・四九五番

賀正　京城長谷川町二一　京城食堂　電話長二二六番

賀正　京城大漢門前　朝鮮總督府官報並新聞賣捌　合名會社盛文堂　電話四二六番　龍山驛前　盛文堂支店　電話四一一番

謹賀新年

京城本町一丁目
株式會社 大澤商會京城支店
時計部 長電話一六二番
寫眞部 電話三三九番
自動車部 長電話四三八〇番
振替 二三番
社長 大澤德太郎
京城支店長 植木仙次郎

京城承認運送店組合
電話一一四九〇番

平壤電氣株式會社
長電話五六番
電話六三七番

京城印刷業組合

理化學器械及用品類、生理標本模型類、御
生理衛生掛圖類、會用二印模型類、教育地圖掛圖類、机腰掛
各種校具類、不用二印刷習帳類、各種圖類
諸具類、兒童用品、學用品、各種教育圖書
出版賣捌、度量衡器入用販賣、教育活動寫眞部
內務省帝國大學御用工場 朝鮮總代理店
山越工作所
株式會社花之家樂具製造所
日本鉛筆製造株式會社
家庭的御娯樂にも御申込に應じ出張映寫致候
中田普成社
京城府長谷川町一〇五番地
電話一九四八番
振替京城四六二七番

營業品目
堀井謄寫版 鐵筆版 手筆版 輪轉機
エヂソン輪轉謄寫機 サイクロスタイル輪轉謄寫機 最新事務用品 文房具 各種石版 活版インキ各種
堀井謄寫堂
京城出張所
京城南大門通二
電話四〇二番

京城醫師會

三井合名會社
山林課
京城長谷川町
電話四一五番

京城材木商組合
組合員一同

舊年中は格別の御引立を蒙り誠に難有厚く御禮申上候尚本年も倍舊御愛顧を賜り度偏に御願申上候
京城府太平通二丁目
株式會社 大海堂
電話長一〇三七六番
振替口座京城二二〇番

京城本町一ノ四八番地
電氣機械販賣
電話電燈工事
請負電氣諸材料
コシダ電氣商會
電話一四三〇番
振替京城六五六七番

京城水標町五十三番地
砂糖 麥粉 雜穀
直輸入商
德永商店
電話長二二七三番
二四四七番

京城本町二丁目五十八番地
釘本藤次郎本店
電話長二七七番 四五四番
振替貯金口座京城二五六番
龍南浦三和町
釘本藤次郎支店
電話長六八四番
振替貯金口座京城七六三番
京城本町三丁目
釘本樂器部
電話二一八二番
振替口座京城六八四番
京城本町二丁目
釘本自轉車部
電話二七七四番
京城西界洞
釘本鑄物鐵工場
京城本町二丁目
釘本バケツ工場
釘本金網工場
電話二七七四番
大阪南區關町通三
釘本大阪出張所

中央廉賣所
花園町廉賣所

資本金壹千萬圓
拂込濟資本金參百萬圓
振替京城七六八
電話一六二七 二三五九 三三二九
朝鮮ニ於ケル鐵道運輸並ニ拓殖上必要ナル諸種ノ事業ヲ營ム
西鮮殖産鐵道株式會社
社長 山本條二郎
常務取締役 賀田直治
同 西島新藏

御料理
京城本町二丁目
花月
電話五七
三三〇番

御料理
京城旭町一丁目
千代本
電話長三三五番
二七五番

京城土木建築請業負者
間組 荒井組
服部組 阿川組
西本組 秋山組
北陸土木合資會社 宮川組
堀內組 志岐組
鹿島組 合資會社清水組
松本組 盛陽社

京城府南大門通?
御料理
京城東四軒町
南山莊
電話一五一三番

新玉
旗亭
新玉支店
京城元町三丁目
電話三八番
京城漢江通
電話六二〇三番

京城府黄金町二丁目百九拾九番地
株式會社京城現物取引市場
㋮ 中津留株式仲買店
電話長一九〇七番
電話一七八五番
電話一七三八番
振替京城六八四一番
發電略（〇マ）又ハ（〇マ）
受電登録ケイゼウ〇マ
京城府南米倉町貳百七十七番地ノ貳
朝鮮大豆問屋 ㋮ 中津留採市商店
電話三六一六番
振替京城六八四一番
電略（〇マ）又ハ（〇マ）

京城質屋組合

京城現物取引信託株式會社